

# 図面編集編

## 目次

**1 図面編集の起動** **3**

|              |   |
|--------------|---|
| サンプル物件の読み込み  | 3 |
| 図面マネージャからの起動 | 4 |
| 図面マネージャの起動   | 4 |
| 選択図面編集       | 5 |
| 図面編集の単独起動    | 6 |
| 図面編集の画面構成    | 6 |

**2 トレーニング：地図** **7**

|                   |    |
|-------------------|----|
| 作図環境を設定する         | 8  |
| 矩形で道路を描く          | 9  |
| 交わり部分を包絡で編集       | 10 |
| 道路の端を丸める          | 11 |
| 単線で他の道路を描く        | 12 |
| ダブル線で川を描く         | 13 |
| 連続線で橋を描く          | 13 |
| 中抜きで橋と交わった余分な線を消去 | 14 |
| 面取りで道路を斜めにカット     | 15 |
| 円で建物を入力           | 16 |
| 文字を入力             | 17 |
| 文字設定              | 17 |
| 注釈                | 17 |
| 文字入力              | 18 |
| 文字再編集             | 19 |
| 図面登録              | 20 |

**3 トレーニング：敷地配置図** **21**

|              |    |
|--------------|----|
| 作図環境を設定する    | 22 |
| 敷地を描く        | 23 |
| 単線           | 23 |
| 補助レイヤ        | 24 |
| 固定長円弧        | 24 |
| 補助レイヤを解除     | 26 |
| 連続線          | 26 |
| 道路を描く        | 27 |
| 伸縮           | 27 |
| 平行線          | 27 |
| 属性変更         | 28 |
| 建物を描く        | 29 |
| 補助レイヤ        | 29 |
| 寸法指定矩形       | 30 |
| 補助レイヤを解除     | 31 |
| 連続線（塗り有り）    | 31 |
| 玄関マーク        | 32 |
| 最適表示         | 32 |
| 円内接多角形（塗り有り） | 32 |
| 車            | 33 |
| 寸法指定矩形       | 33 |
| 連続線          | 33 |
| 樹木           | 34 |
| 半径入力円        | 34 |
| ズーム          | 34 |
| 閉曲線          | 35 |
| 円を削除         | 35 |
| 部品登録         | 36 |

|           |    |
|-----------|----|
| 最適表示      | 36 |
| 部品読込      | 37 |
| 開曲線       | 38 |
| 寸法線       | 39 |
| レイヤ変更     | 39 |
| 寸法設定      | 40 |
| 連続寸法線—その1 | 41 |
| 寸法設定の変更   | 42 |
| 連続寸法線—その2 | 42 |
| 文字移動      | 43 |
| 画面表示調整    | 43 |
| 引出線有      | 44 |
| 文字        | 45 |
| 図面のタイトル   | 45 |
| 対角指定矩形    | 45 |
| その他の文字    | 46 |
| 真北マーク     | 47 |
| 半径入力円     | 47 |
| ズーム       | 47 |
| 連続線（塗り有り） | 48 |
| 文字入力      | 48 |
| 任意移動      | 49 |
| 最適表示      | 49 |
| 図面登録      | 50 |

# 1 図面編集の起動

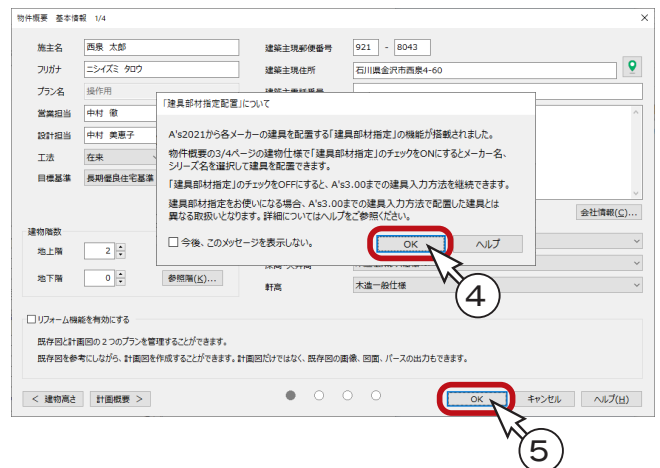
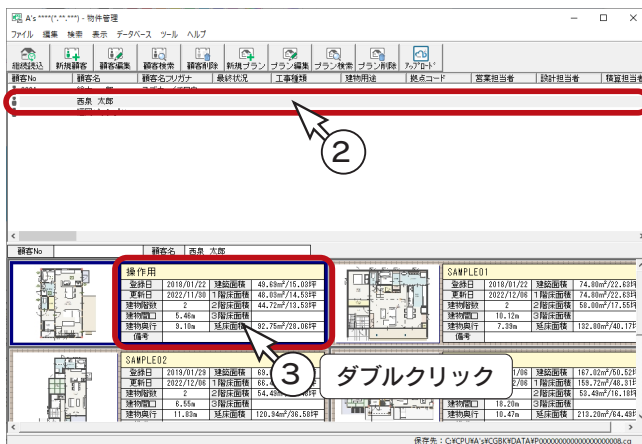
本書は、A's (エース) を初めてお使いになる方のための、図面編集編のトレーニングマニュアルです。  
 図面編集では、平面図・立面図・矩計図などの各種図面データを読み込み、加筆・修正したり、プリンタ出力したりします。  
 編集や作図に関しては、汎用2次元CADの機能を搭載していますので、自由自在に編集・作図することができます。

## サンプル物件の読み込み

サンプル物件のコピーを読み込んで、図面編集を操作してみましょう。

「プレゼン編」では、サンプル物件はそのまま残して、プランをコピーして機能確認をしています。  
 本書でも、同様にコピーしたプランを使用して、機能確認をしましょう。  
 プランをまだコピーしていない場合は、【プレゼン編-5】を参照してください。

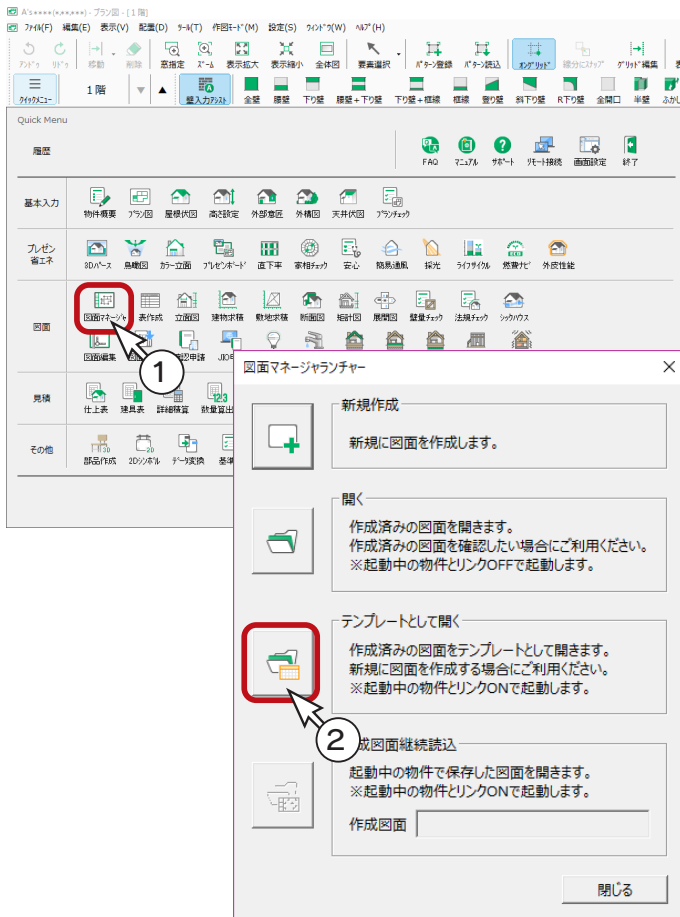
- ① A's (エース) を起動し、物件管理の画面を表示する
- ② サンプル物件の顧客「西泉太郎」をクリック
- ③ コピーしたプランをダブルクリック
  - \*この例では、プラン名を「操作用」に変更したものを選択しています。
- ④ 「建具部材指定配置」についてメッセージが表示された場合は、内容をご確認の上「OK」をクリック
- ⑤ 物件概要が表示されるので、「OK」をクリック




## 図面マネージャからの起動

A's (エース) では、図面マネージャにて、各種図面の管理、編集、印刷などを行います。  
図面マネージャで図面を確認し、加筆や修正が必要になった場合は、図面編集を起動します。


### 図面マネージャの起動



① クリックメニュー、またはメインメニューの

 (図面マネージャ) をクリック

\* メインメニューでは、「意匠設計」「実施設計」「構造設計」タブにあります。

②  (テンプレートとして開く) をクリック

③ 「図面一式雛型」を選択し、「開く」をクリック

\* 取り込み図面選択画面になります。

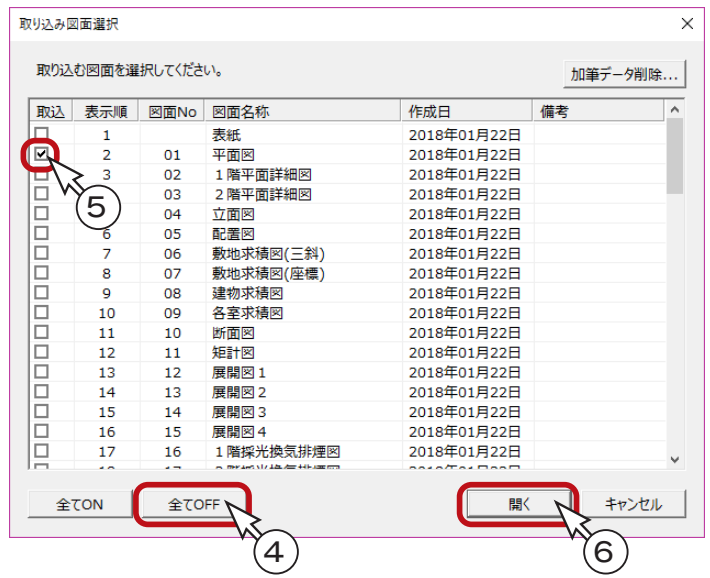
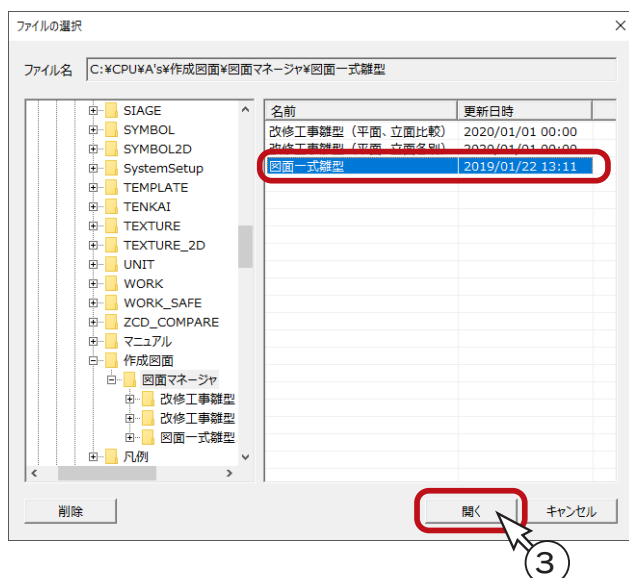
④ 「全てOFF」をクリック

⑤ 必要な図面にチェックを入れる

\* ここでは、「平面図」にチェックを入れます。


⑥ 「開く」をクリック

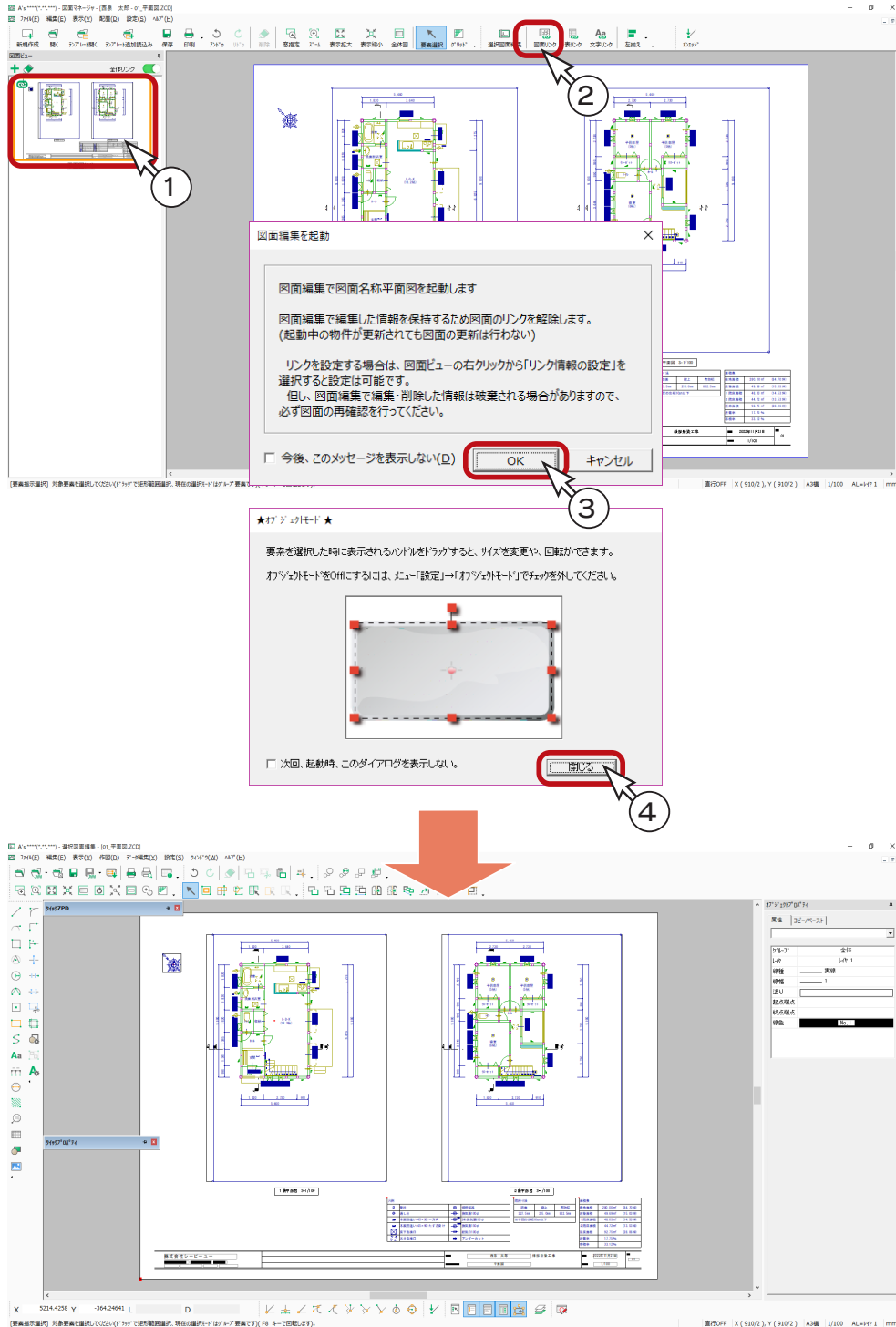
\* 図面マネージャの画面が表示されます。



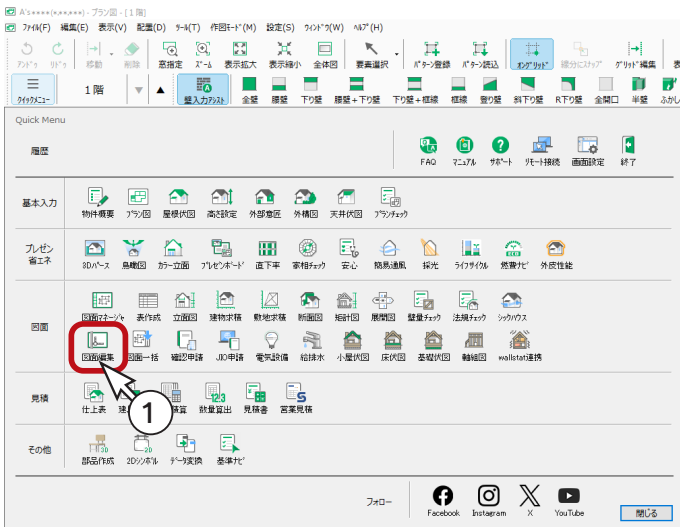


## 選択図面編集

- ① 図面ビューのサムネイルをクリック  
\* 図面がレイアウト領域に表示されます。
- ②  (選択図面編集) をクリック
- ③ 図面編集を起動のメッセージが表示された場合は、内容をご確認の上、「OK」をクリック
- ④ オブジェクトモードの説明が表示された場合は、内容をご確認の上、「閉じる」をクリック  
\* 図面編集が起動します。



# 図面編集の単独起動



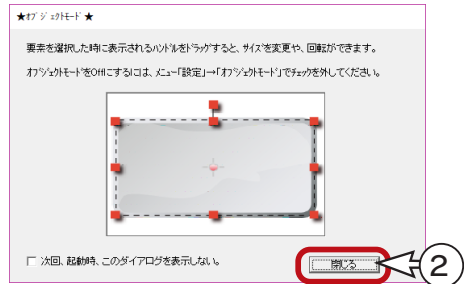
①クイックメニュー、またはメインメニューの



(図面編集)をクリック  
\*メインメニューでは、「意匠設計」「実施設計」「構造設計」タブにあります。

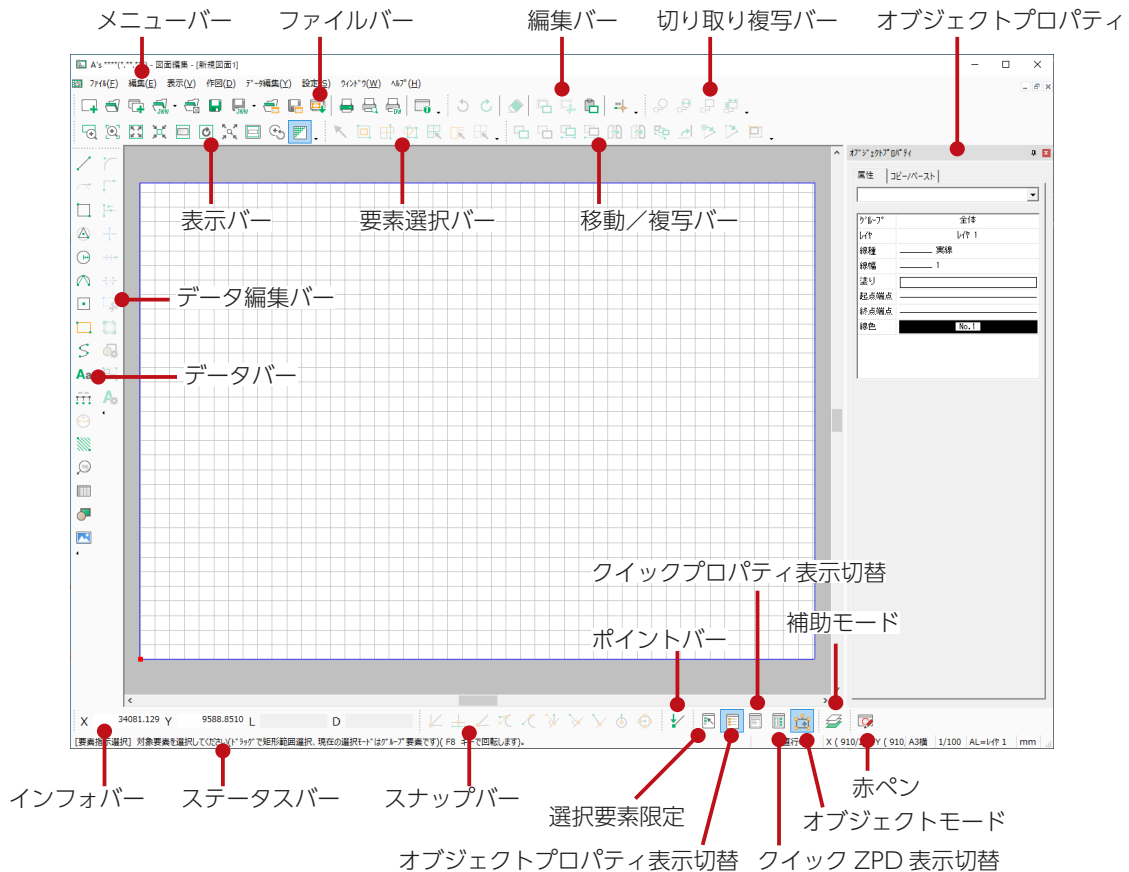
②オブジェクトモードの説明が表示された場合は、内容をご確認の上、「閉じる」をクリック

\*図面編集が起動します。

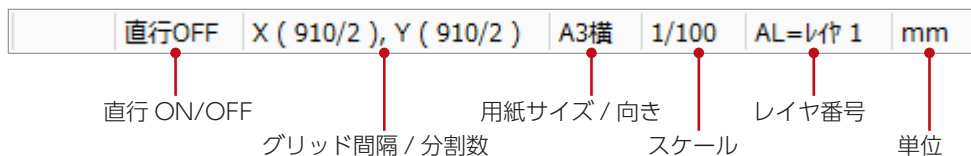


# 図面編集の画面構成

図面編集の画面は、以下のような構成になっています。



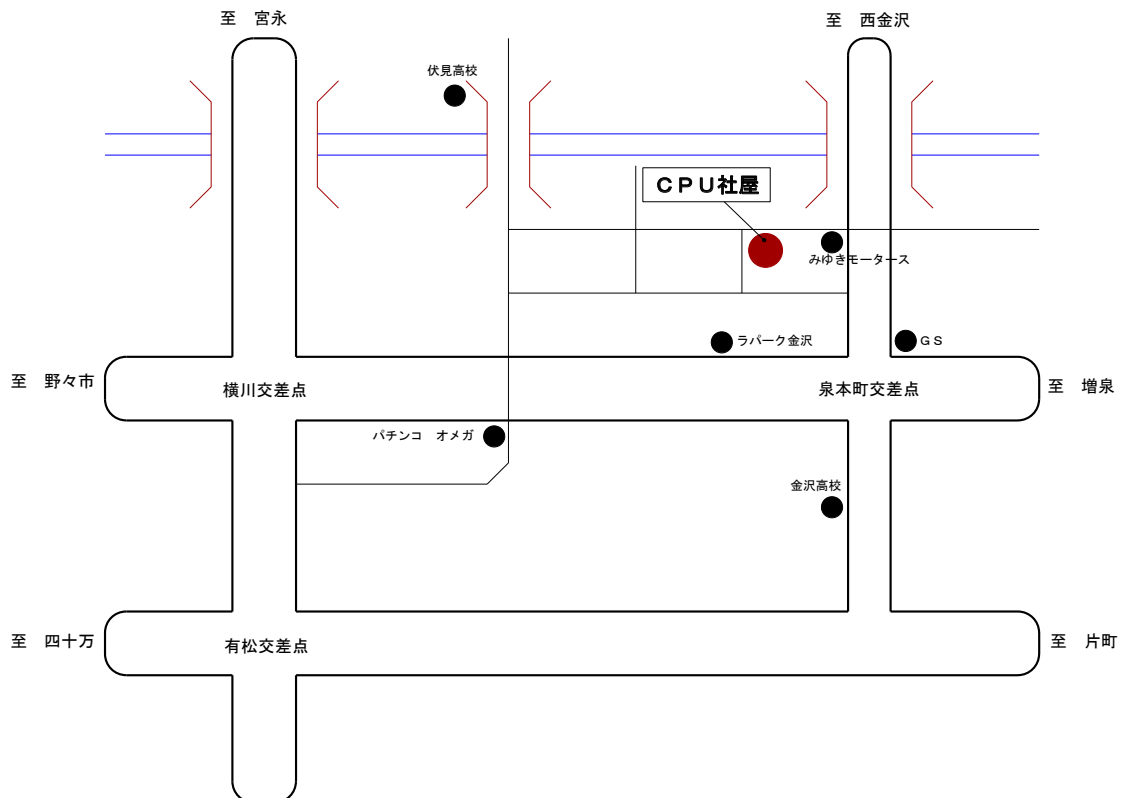
## 画面右下



## 2


## トレーニング：地図

以下のような地図を作成してみましょう。



### アンドゥ、リドゥの利用

アンドゥは直前の操作を取り消すこと、リドゥは取り消した操作を再び実行することです。作図や編集結果が思わぬ状態になった場合は、アンドゥで元に戻ります。

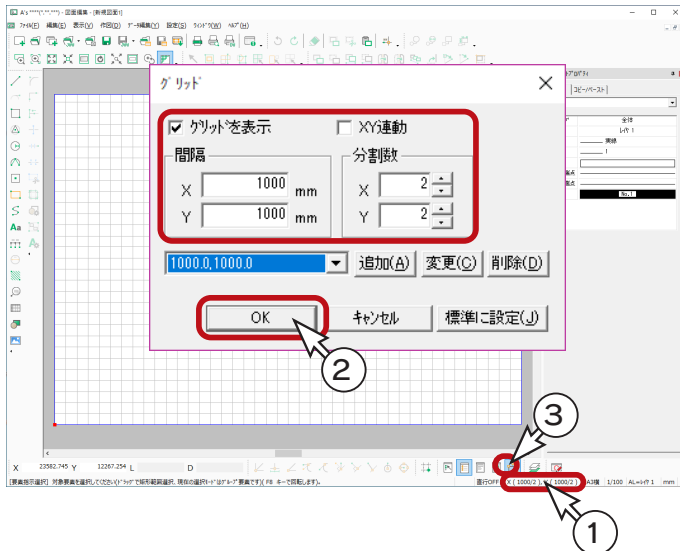
 (アンドゥ) をクリック、もしくは [Ctrl] キーを押しながら [Z] キーを押します。「編集 (E)」メニュー、及び右クリックメニューにも「アンドゥ (U)」があります。


また、 (アンドゥ) をクリック後  (リドゥ) をクリックすると、取り消した作図や編集をやり直します。

# 作図環境を設定する

図面編集を起動後、新規図面にて、以下のように作図環境を設定しましょう。

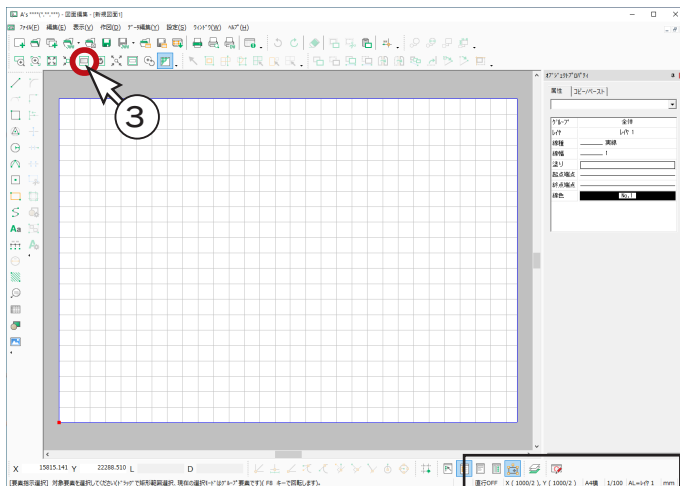
## ■ グリッド




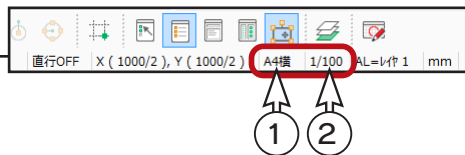
- ①画面右下のグリッドをクリック  
\* ダイアログが表示されます。
- ②以下のように設定し、「OK」をクリック  
間隔 …………… XY ともに 1000  
分割数 …………… XY ともに 2  
グリッドを表示 …… ON  
\* 間隔はリストからも選択できます。
- ③ポイントモードのアイコンをクリックし、 (オングリッド) にする  
\* 初期表示では、ポイントモードは画面の右下にあり、クリックするたびに変わります。

オングリッドでは、グリッド上と指定した分割数でグリッド間をカーソルが移動します。

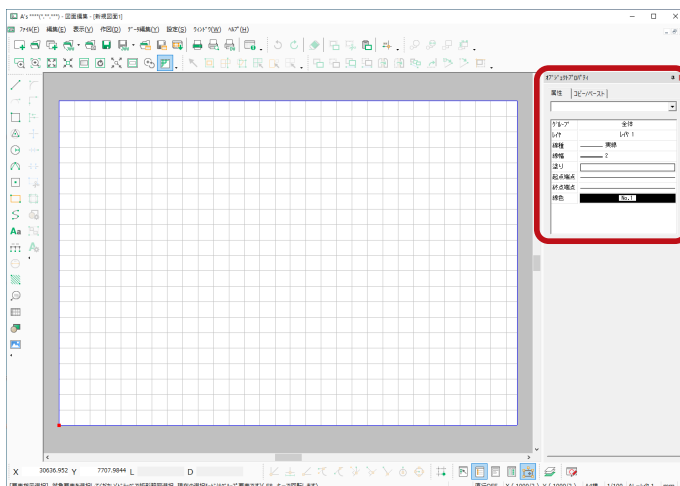
## ■ 用紙サイズ、スケール



- ①用紙サイズを「A4 横」に設定  
\* 画面右下の表示を確認し、異なる場合はクリックして変更してください。
- ②スケールを「1/100」に設定  
\* 画面右下の表示を確認し、異なる場合はクリックして変更してください。
- ③ (全体図) をクリック  
\* 用紙全体が表示されます。



## ■ 線種、線幅、線色、塗り



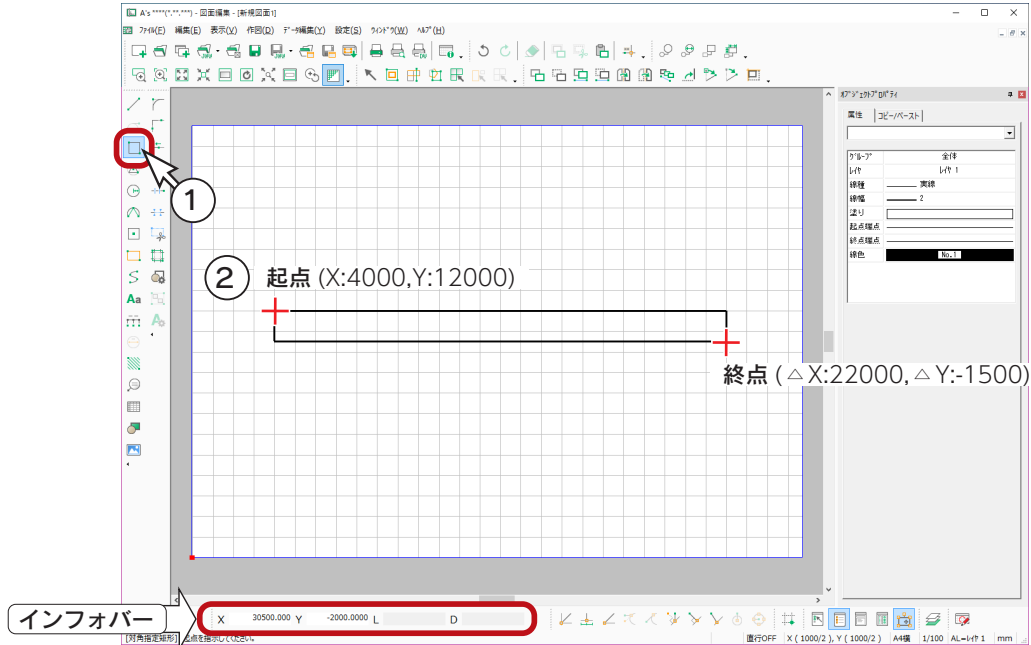
- ①オブジェクトプロパティにて、以下のように設定  
線種 …… 実線  
線幅 …… 2  
塗り …… なし  
線色 …… 黒 (No.1)

## 矩形で道路を描く

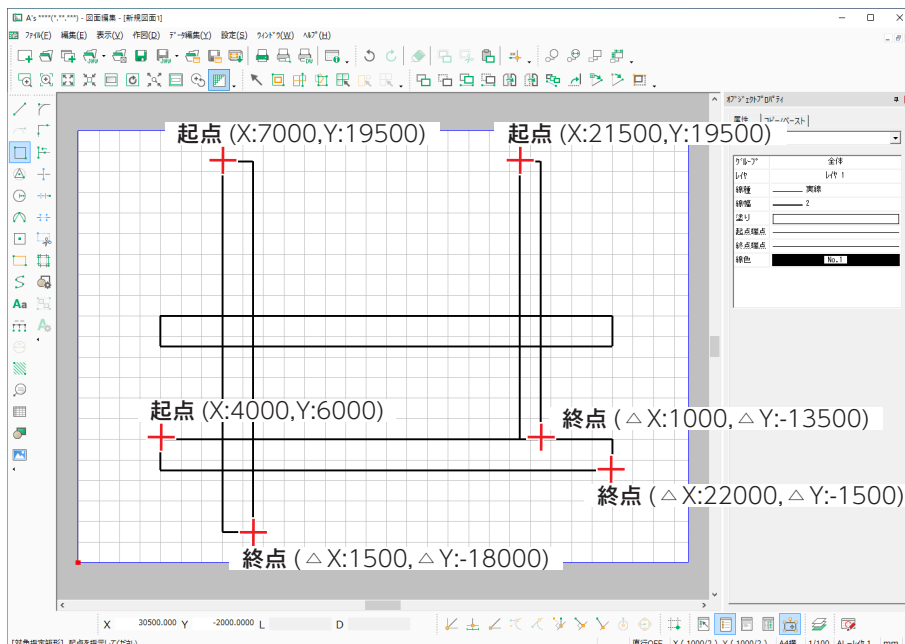
①矩形アイコンの  (対角指定矩形) を選択

②図のように、起点-終点を指示



\* () 内は、カーソルを合わせたときのインフォバーの数値です。△が付いている場合は、相対距離です。




③同様に、1500mm 幅の矩形を 2 つ、1000mm 幅の矩形を 1 つ入力

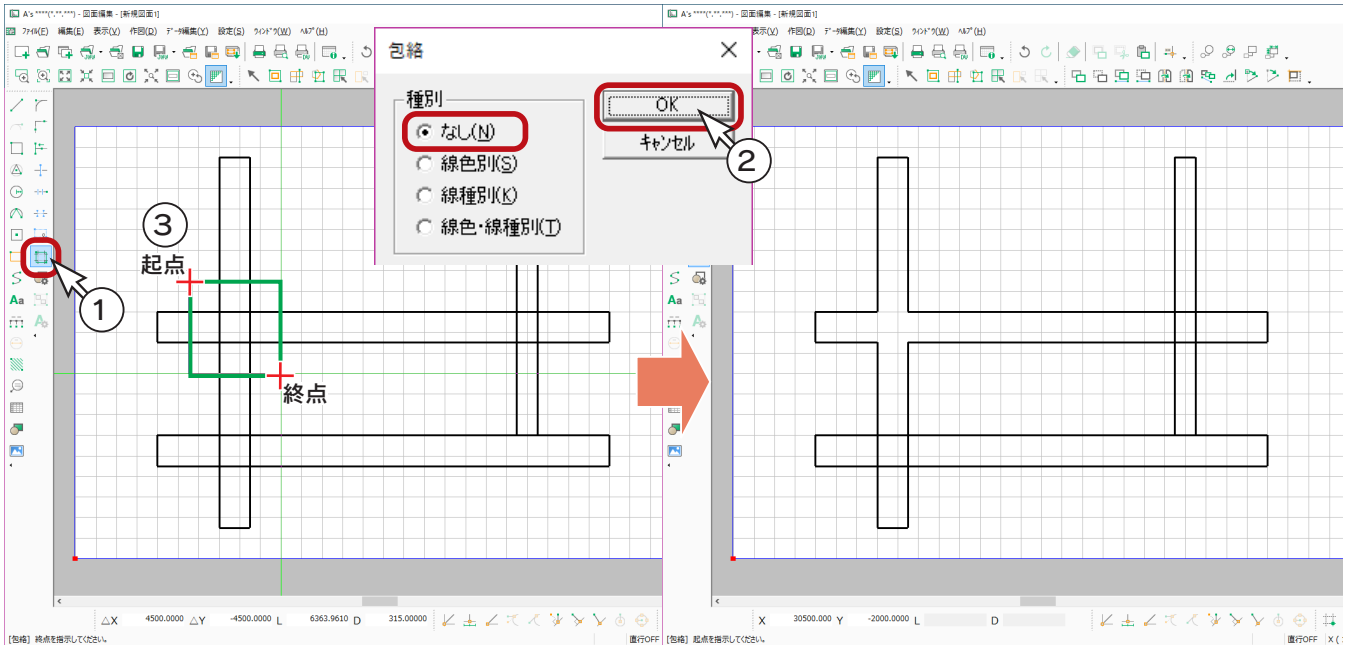


### アイコンの選択について

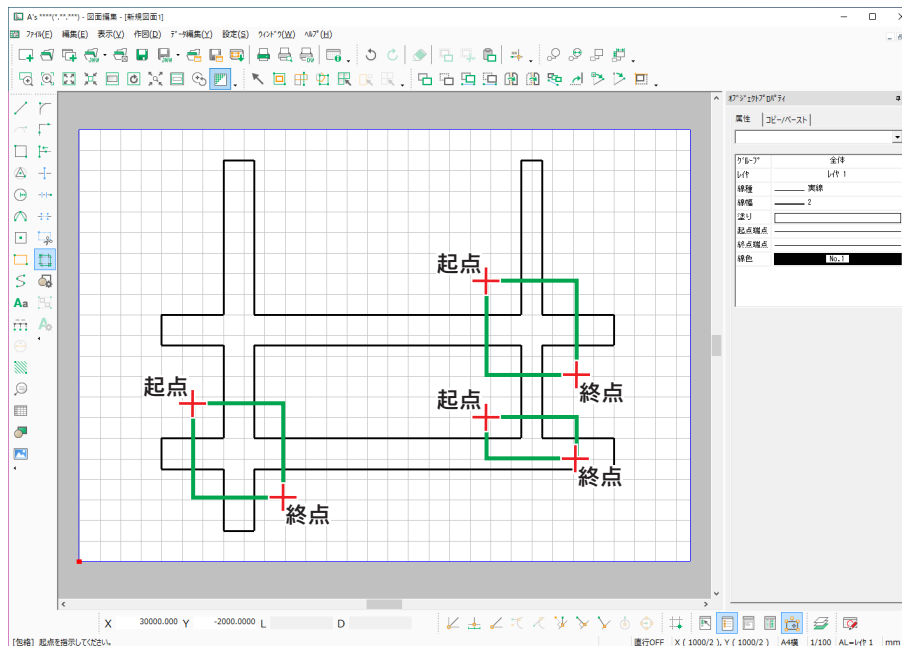
アイコンはマウスを合わせるとグループのアイコンが表示されます。例えば、矩形アイコンには、 (対角指定矩形) と  (寸法指定矩形) があります。グループ内で最後に選択したものが処理後も表示されますので、ご使用状況により、画面表示が異なる場合があります。

## 交わり部分を包絡で編集


- ①包絡アイコンの  (包絡) を選択  
\*ダイアログが表示されます。
- ②「なし(N)」を確認し、「OK」をクリック
- ③図のように、矩形で包絡範囲を設定

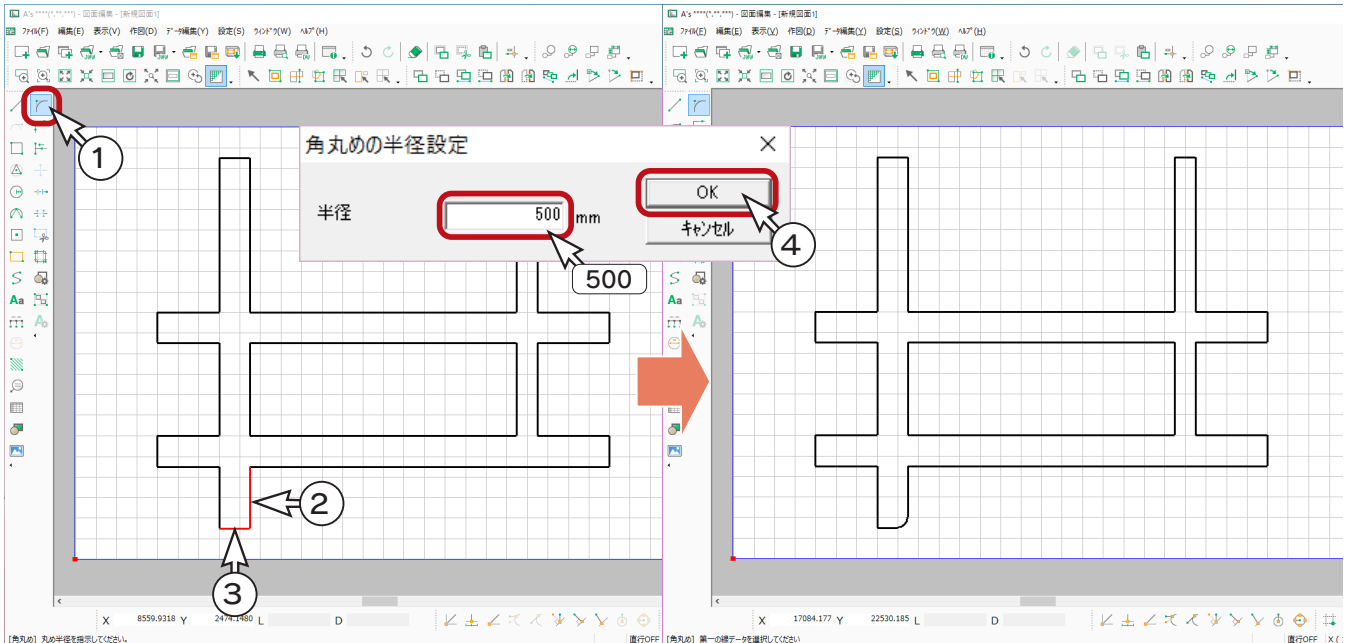


- ④同様に、図のように3ヶ所、包絡範囲を指定

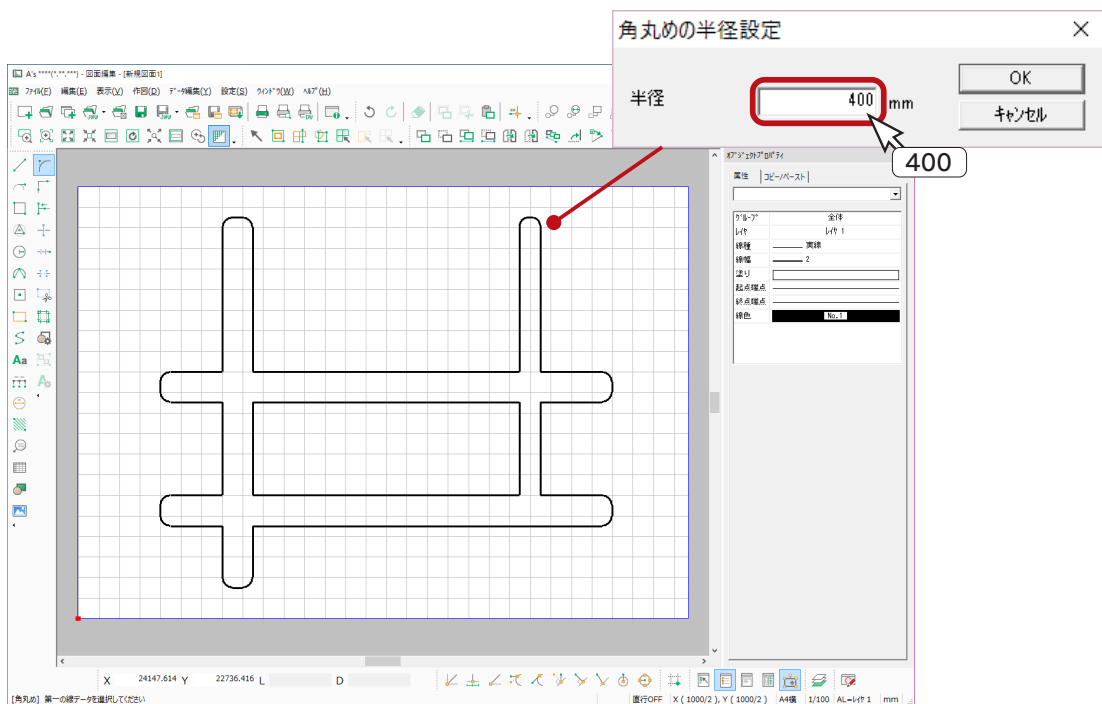


## 道路の端を丸める

- ①角丸めアイコンの (角丸め) を選択
- ②線データ 1 を指示
- ③線データ 2 を指示
  - \* 1、2は、どちらを先に指定してもかまいません。ダイアログが表示されます。
- ④半径を 500mm に設定し、「OK」をクリック



- ⑤同様に、他の道路の角も丸める
  - \* 右上の箇所は、半径を 400mm に変更して、角丸めしてください。



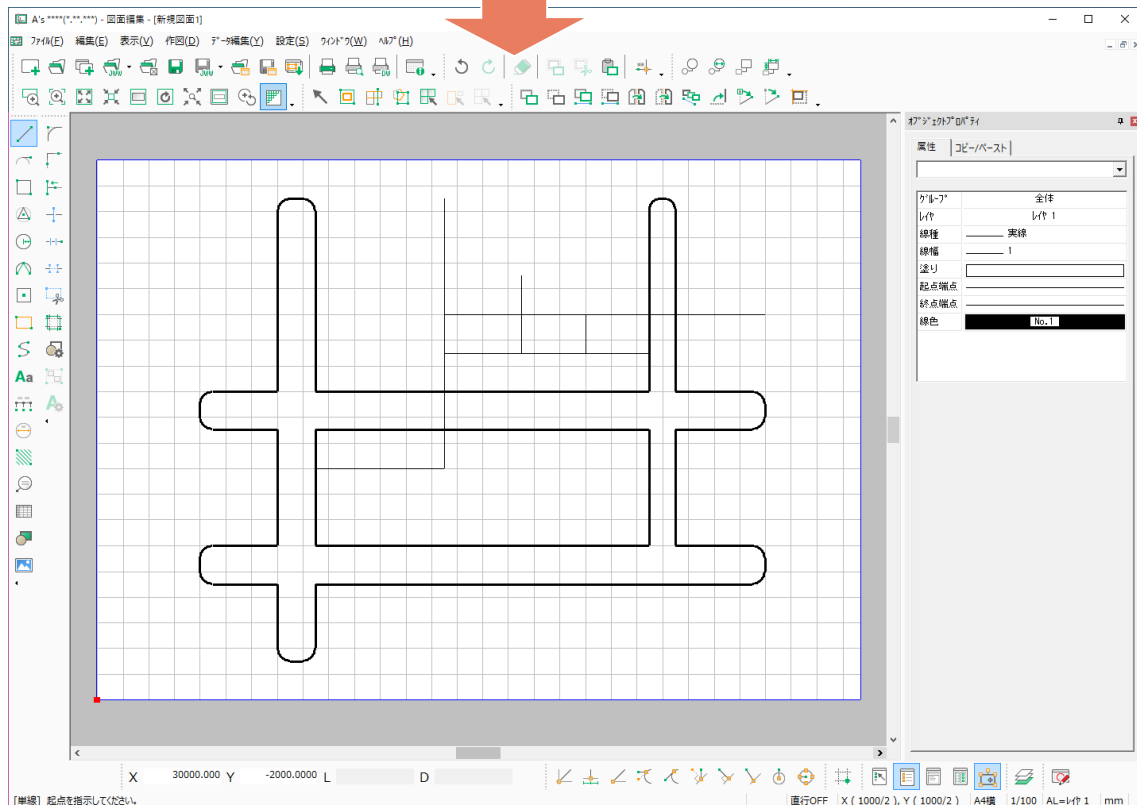
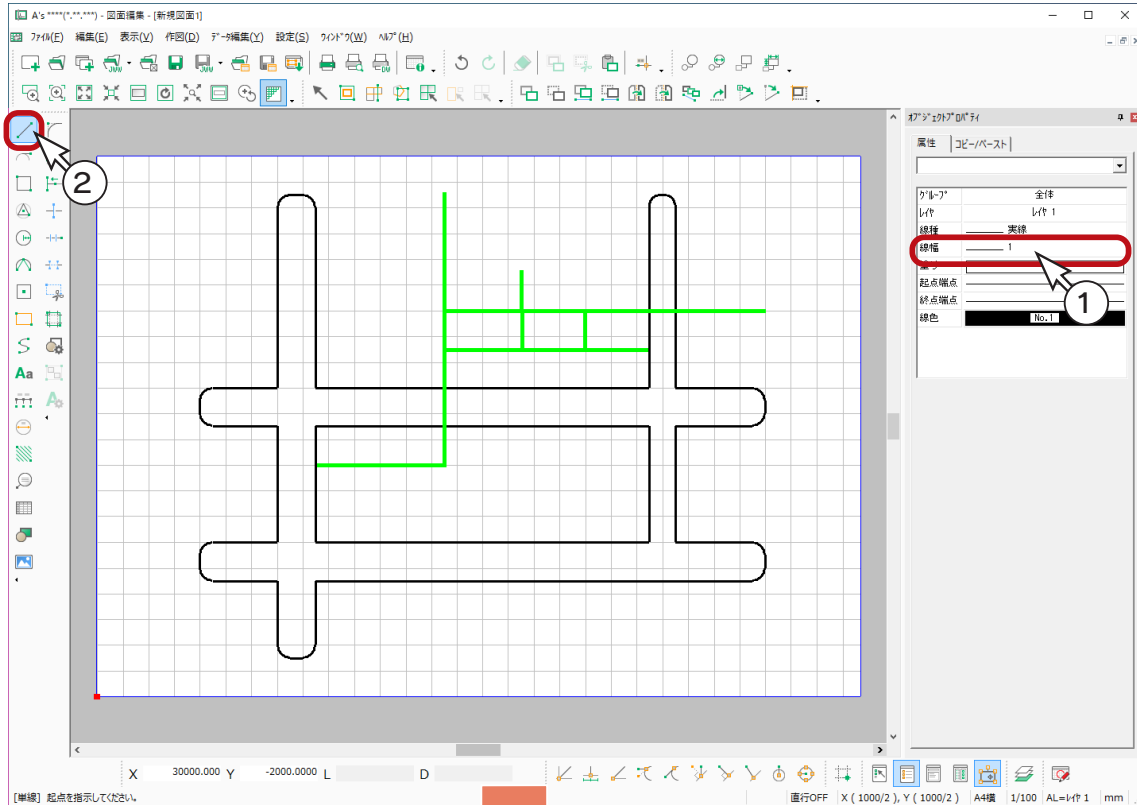
## 単線で他の道路を描く

①線幅を「1」に変更

②線アイコンの (単線) を選択



③図のように道路を入力

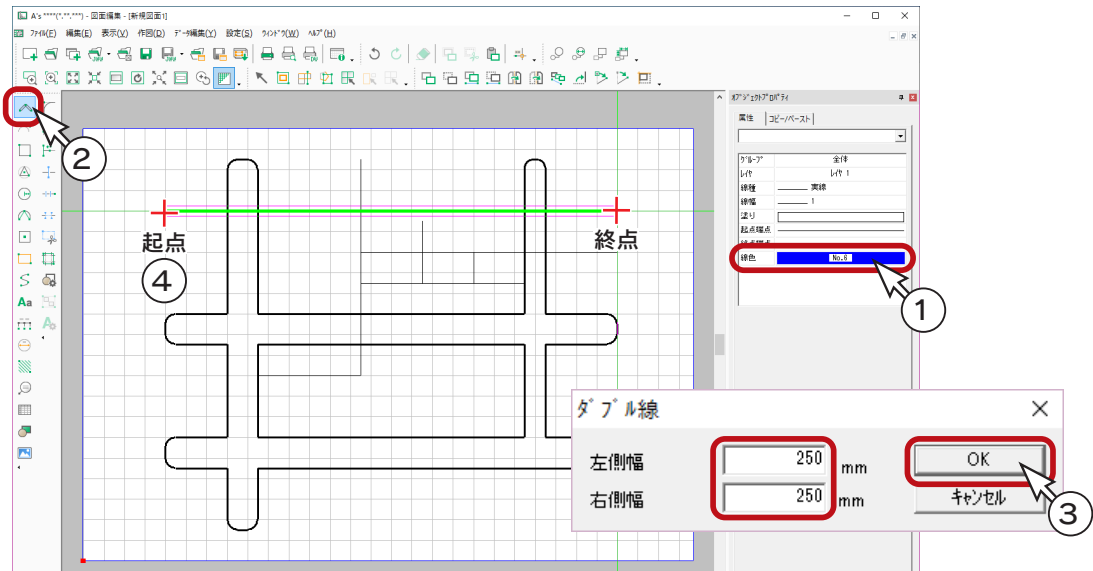
\*図では、わかりやすいように、色や太さを変えていますが、黒色の細線で入力してください。







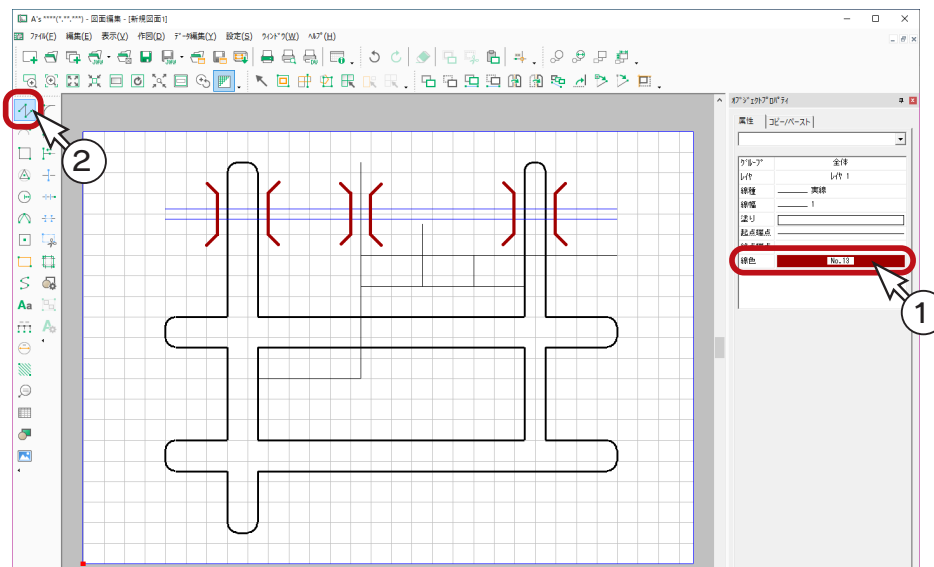
## ダブル線で川を描く

- ①線色を  (No.6) に変更
- ②線アイコンの  (ダブル線) を選択
  - \*ダイアログが表示されます。
- ③左側幅を 250mm、右側幅を 250mm に設定し、「OK」をクリック
- ④図のように、起点-終点を指示
  - \*カーソルが斜めになる場合は、[Shift] キーを押しながら指示します。
- ⑤ [スペース] キーを押す、もしくはダブルクリック



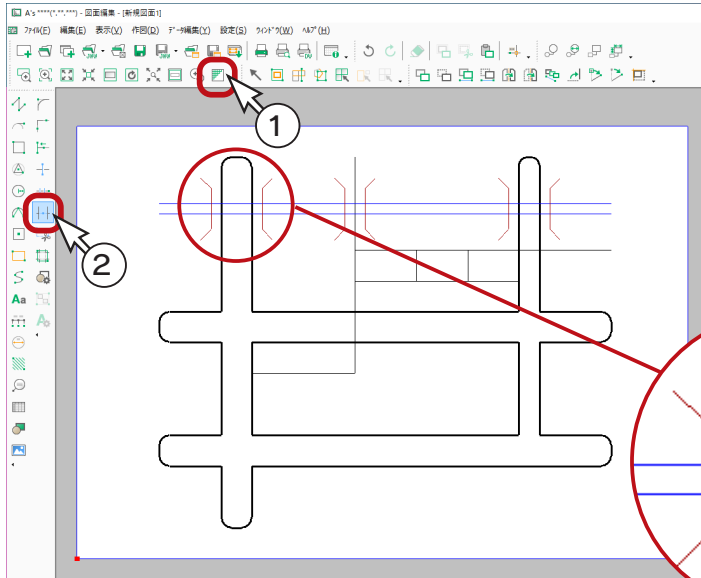
## 連続線で橋を描く

- ①線色を  (No.13) に変更
- ②線アイコンの  (連続線) を選択
- ③図のように橋を入力
  - \*連続線は、起点-中間点-中間点...-終点と、必要なだけポイントを指示後、[スペース] キー、もしくはダブルクリックで確定します。右クリックで前のポイントに戻ります。



## 中抜きで橋と交わった余分な線を消去

グリッドは表示していてもかまいませんが、見やすさを考慮し、以後は非表示にしましょう。



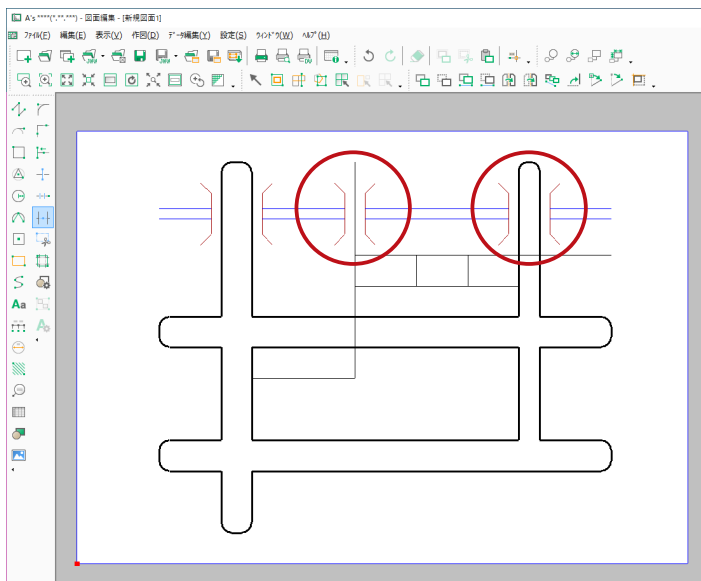
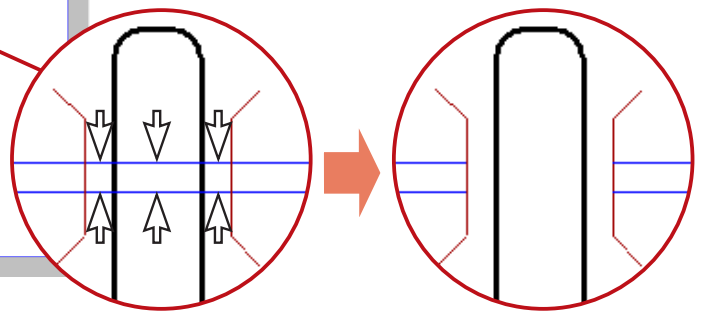
① (グリッド) をクリック

\*グリッドが非表示になります。

② 中抜きアイコンの  (自動中抜き) を選択

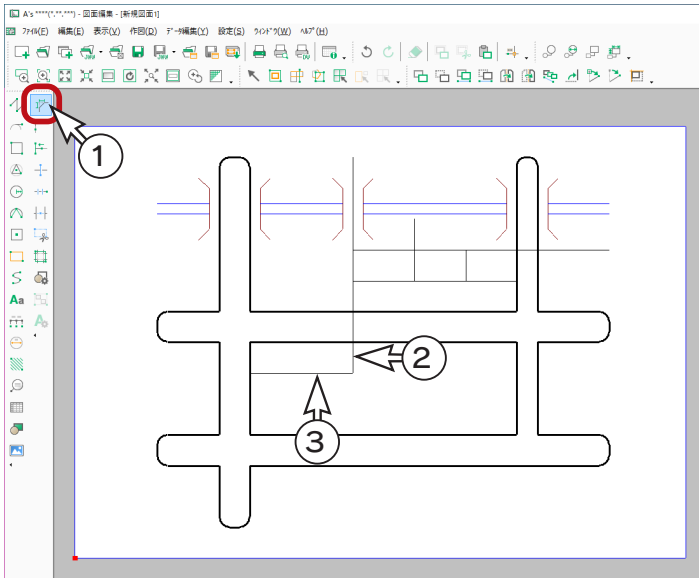
③ 消去したい線を指示


\*例えば左図の円の部分は、6ヶ所指示します。  
順番はありません。

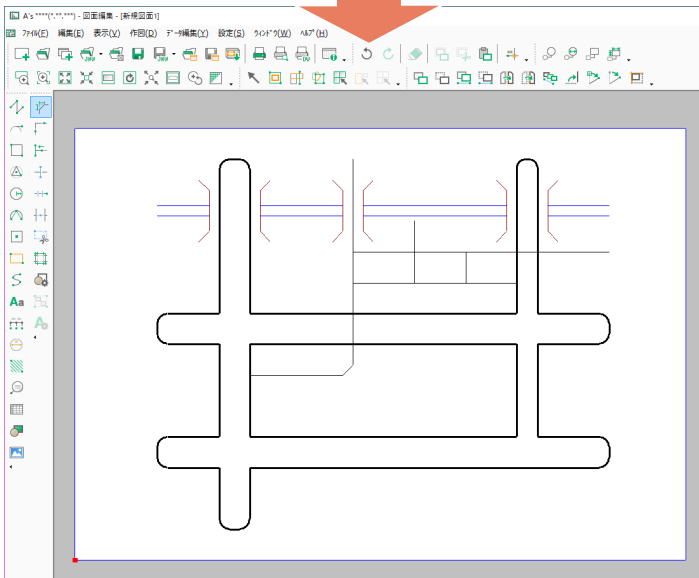
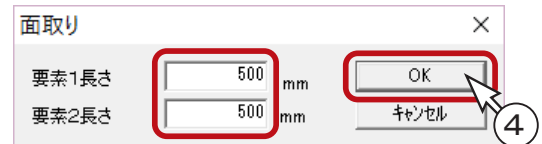


④ 同様に他の箇所も、左図のように中抜きをする




## 面取りで道路を斜めにカット



- ①角丸めアイコンの  (面取り (数値)) を選択
- ②線データ 1 を指示
- ③線データ 2 を指示
  - \* 1、2 は、どちらを先に指示してもかまいません。
  - \* ダイアログが表示されます。
- ④要素 1 長さ、要素 2 長さともに 500mm に設定し、「OK」をクリック

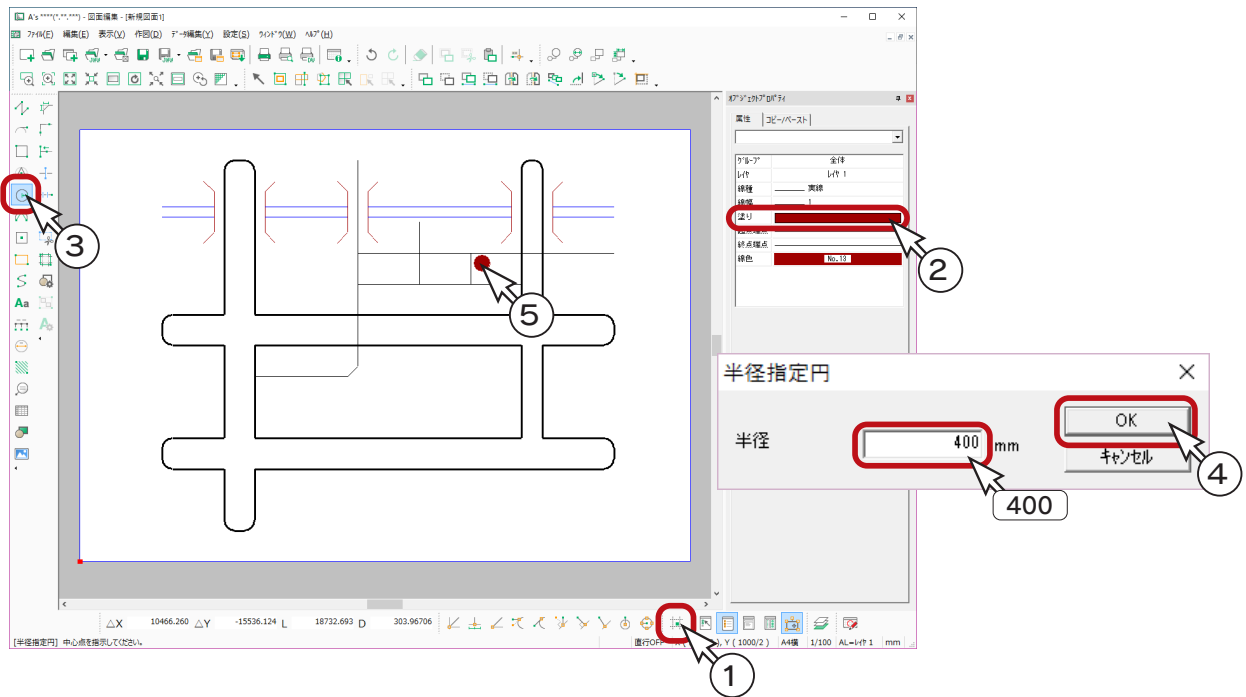



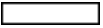
# 円で建物を入力

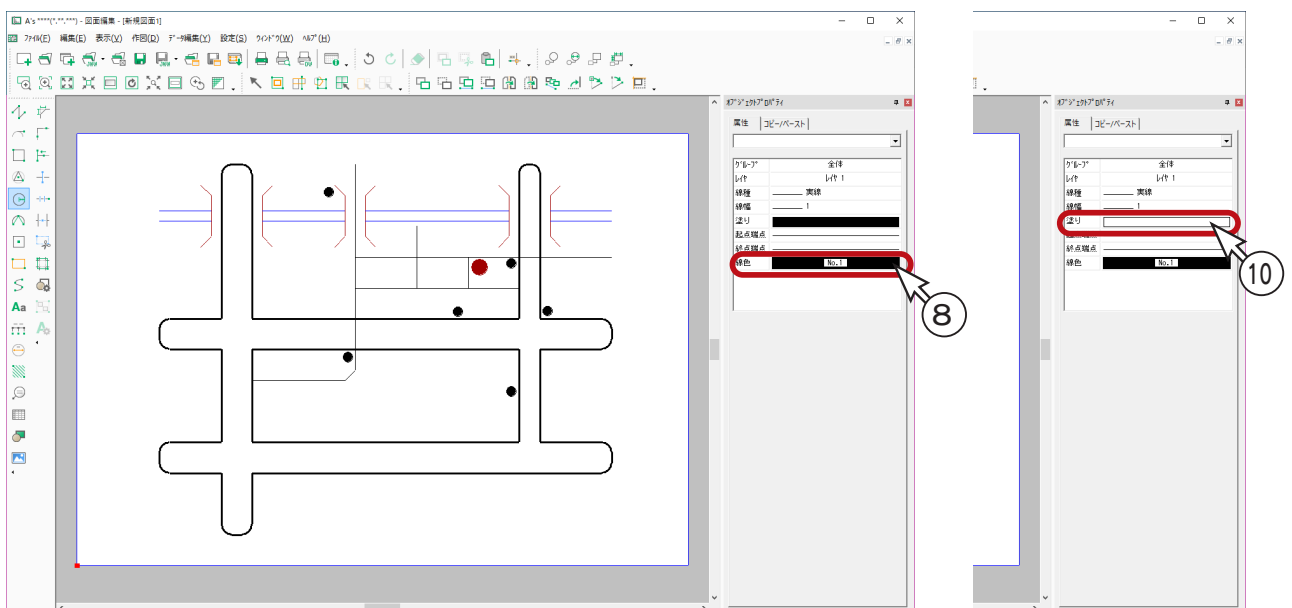
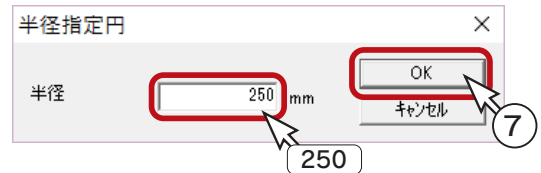
- ①ポイントモードのアイコンをクリックし、 (フリー) にする
- ②塗りをクリックし、 に設定
- ③円アイコンの (半径入力円) を選択  
\*ダイアログが表示されます。
- ④半径を 400mm に設定し、「OK」をクリック
- ⑤図のように、目的地の位置に配置

## フリーモード

フリーモードとは、カーソルが自由に動き、任意の位置にポイントをセットできるものです。  
これから入力するものは、フリーモードが便利なので、ここで変更します。



- ⑥右クリック  
\*ダイアログに戻ります。
- ⑦半径を 250mm に変更し、「OK」をクリック
- ⑧線色を (No.1) に変更
- ⑨図のように、6ヶ所に配置
- ⑩円の inputs が終わったら、塗りをクリックし、 に設定




# 文字を入力

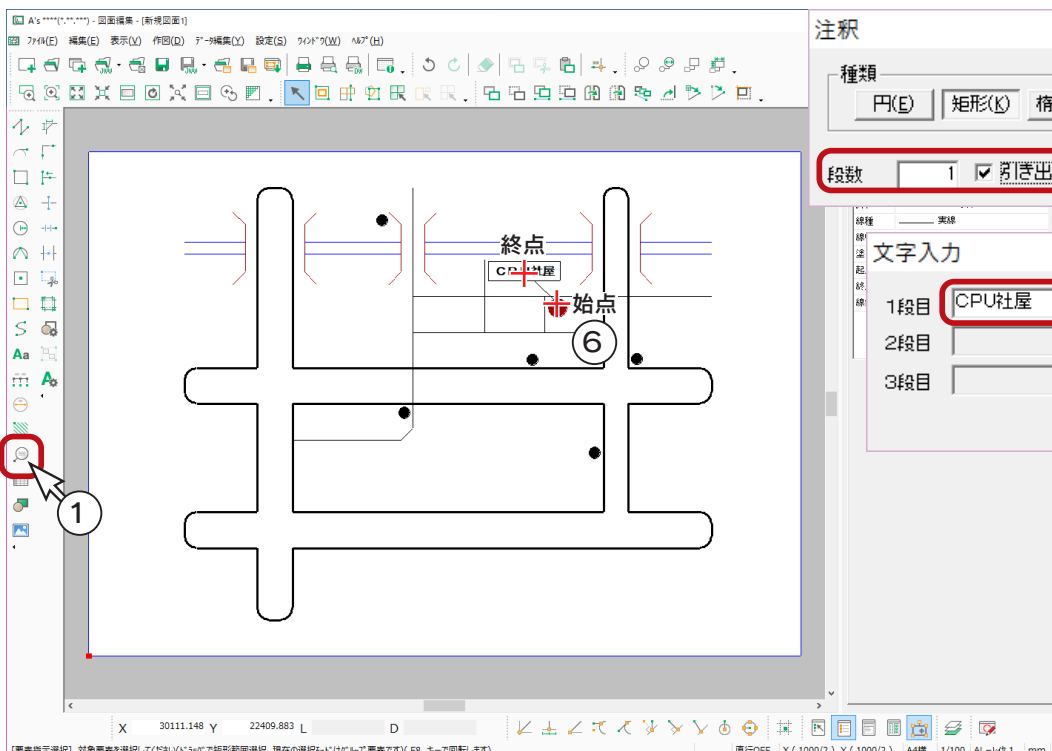
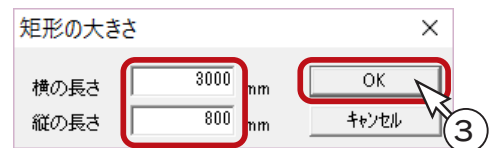
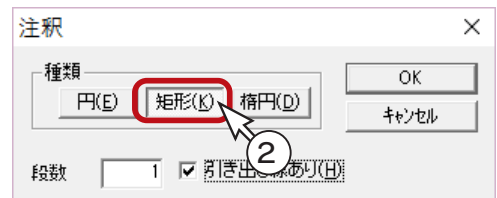
## 文字設定



- ① 「設定 (S)」 の「文字 (T)...」 を選択  
\* ダイアログが表示されます。
- ② 以下のように設定  
高さ・幅 …… 5mm  
文字間・行間 …… 0mm  
フォント名 …… MSゴシック  
配置 …… 左寄せ、上寄せ  
太字 …… ON  
方向 …… 横書き
- ③ 「OK」 をクリック

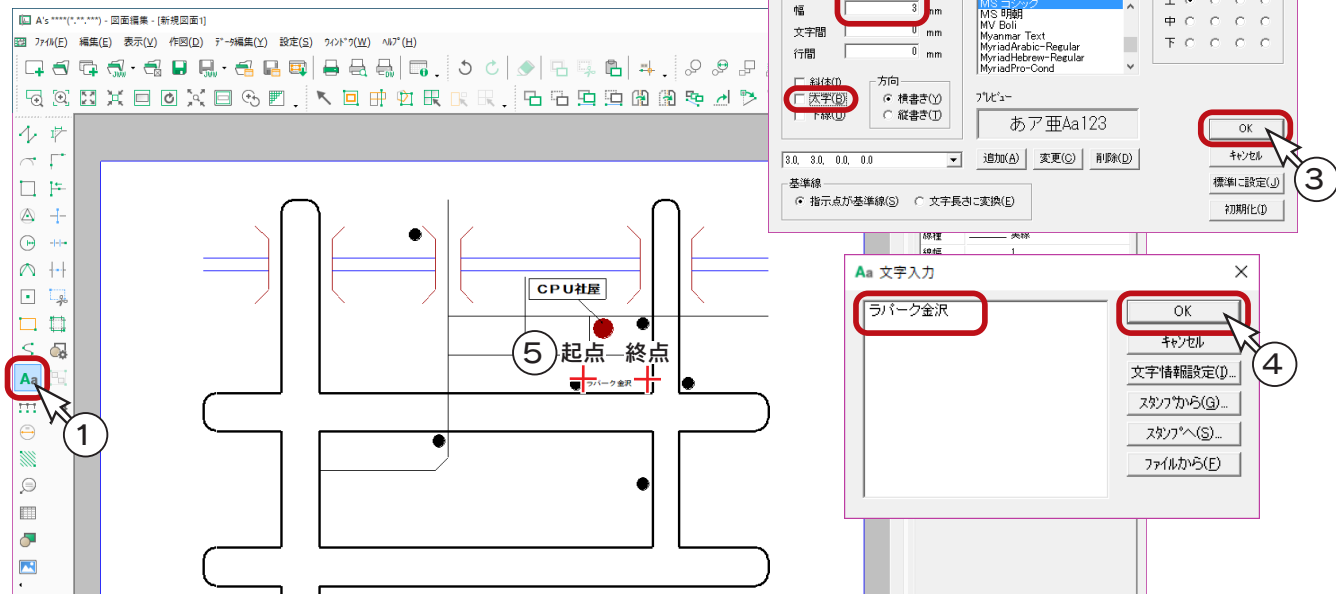
## 注釈

- ①  (注釈) をクリック  
\* ダイアログが表示されます。
- ② 「矩形 (K)」 をクリック
- ③ 横の長さを 3000mm、縦の長さを 800mm に設定し、  
「OK」 をクリック
- ④ 注釈ダイアログに戻るので、段数を 1、[引き出し線あり]  
にチェックが入っていることを確認し、「OK」 をクリック
- ⑤ 1 段目の枠に「CPU社屋」と入力し、「OK」 をクリック
- ⑥ 図のように、引き出し線の始点-終点を指示

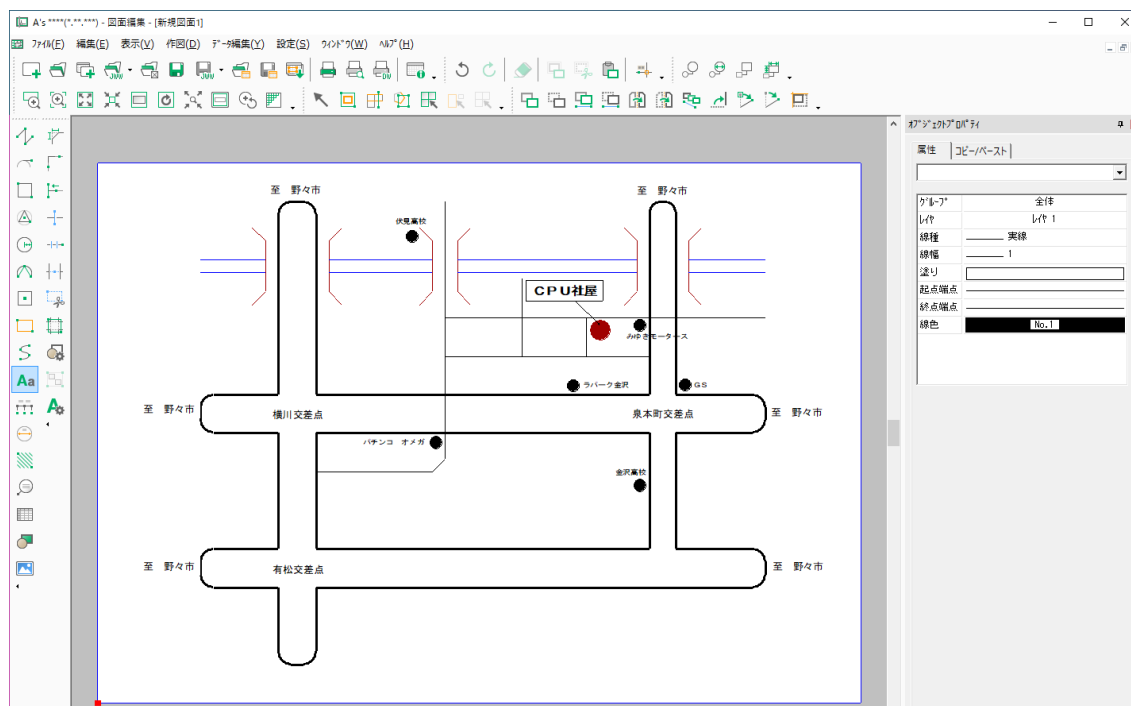


## 文字入力


- ① **Aa** (文字入力) をクリック
  - \* ダイアログが表示されます。
- ② 「文字情報設定 (I)...」 をクリック
  - \* 文字情報の設定のダイアログが表示されます。
- ③ 高さ、幅をともに 3mm に変更し、太字のチェックを取り、「OK」をクリック
  - \* 文字入力のダイアログに戻ります。
- ④ 「ラパーク金沢」と入力し、「OK」をクリック
- ⑤ 図のように、配置の起点-終点を指示

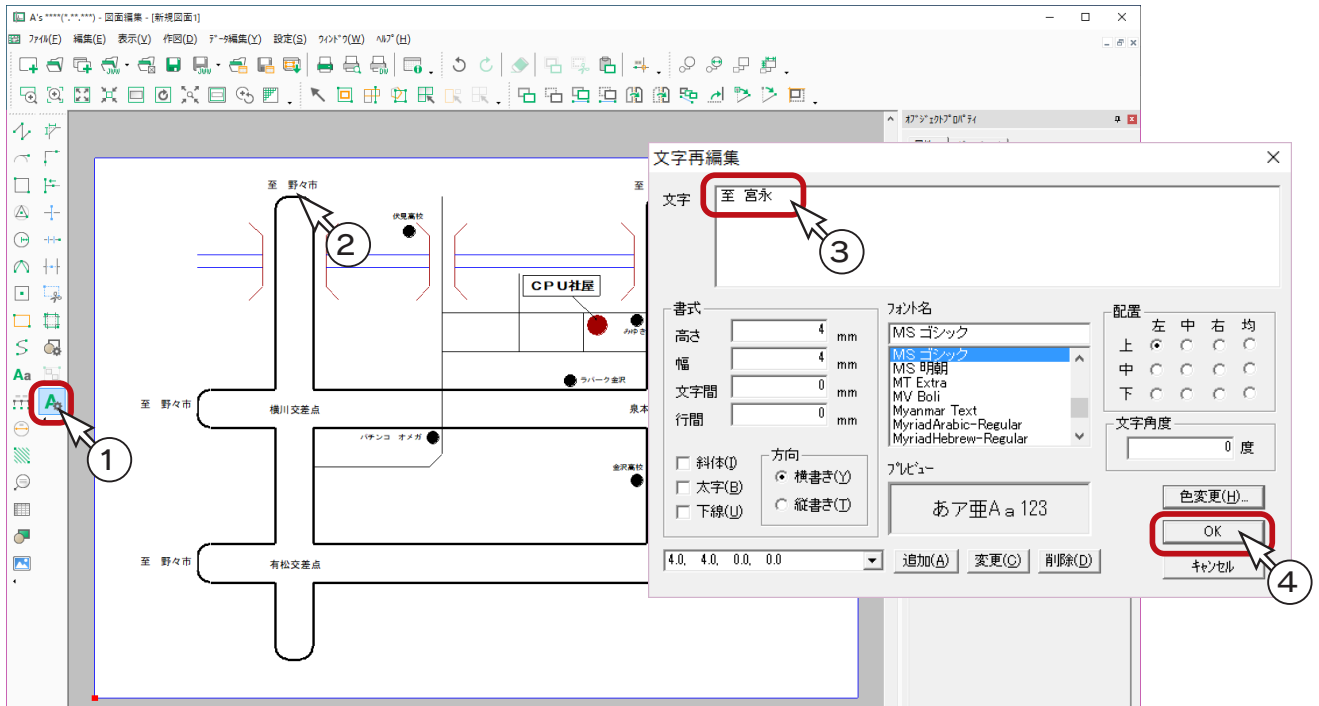


- ⑥ 同じ要領で、その他の文字も配置 (下図参照)
  - \* 交差点名と「至 野々市」は、高さ、幅を 4mm に変更して入力します。
  - \* 「至 野々市」は、「至 ○○」の箇所すべてに配置し、文字再編集で変更する例を、次ページで説明しています。

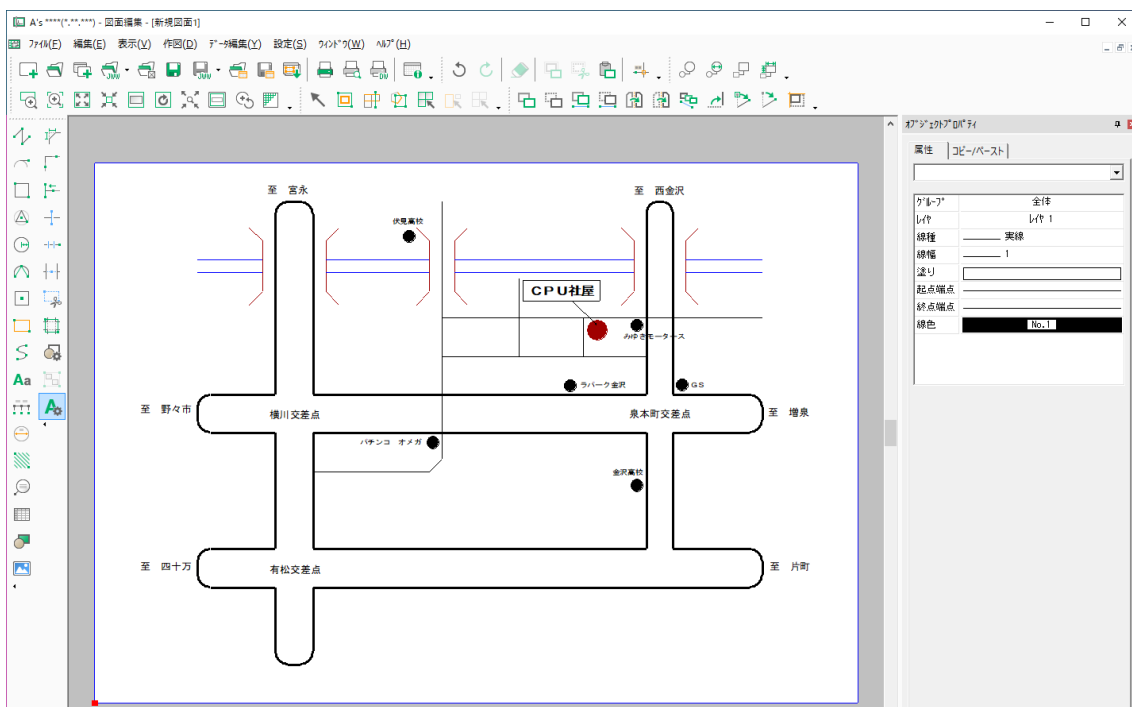


## 文字再編集


- ①文字編集アイコンの  (文字再編集) を選択
- ②修正したい文字を指示  
\*ダイアログが表示されます。
- ③文字を修正  
\*例えば、「至 宮永」に修正します。
- ④「OK」をクリック



\*続けて修正したい文字を指示し、修正します。(下図参照)



## 図面登録

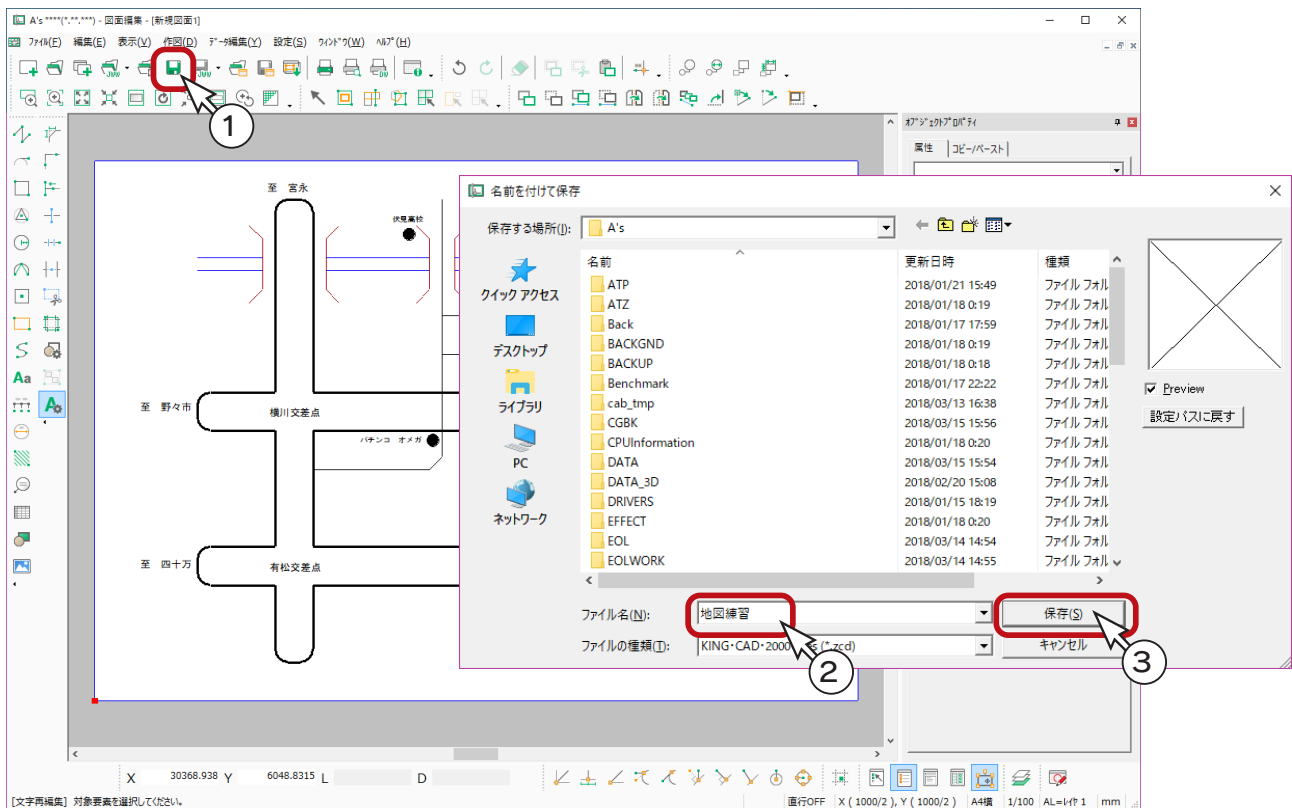
- ①  (上書き保存) をクリック

\* 新規図面で一度も保存していない場合は、名前を付けて保存の処理になります。  
\* ダイアログが表示されます。

- ② ファイル名を入力

\* 例えば、「地図練習」と入力します。

- ③ 「保存(S)」をクリック



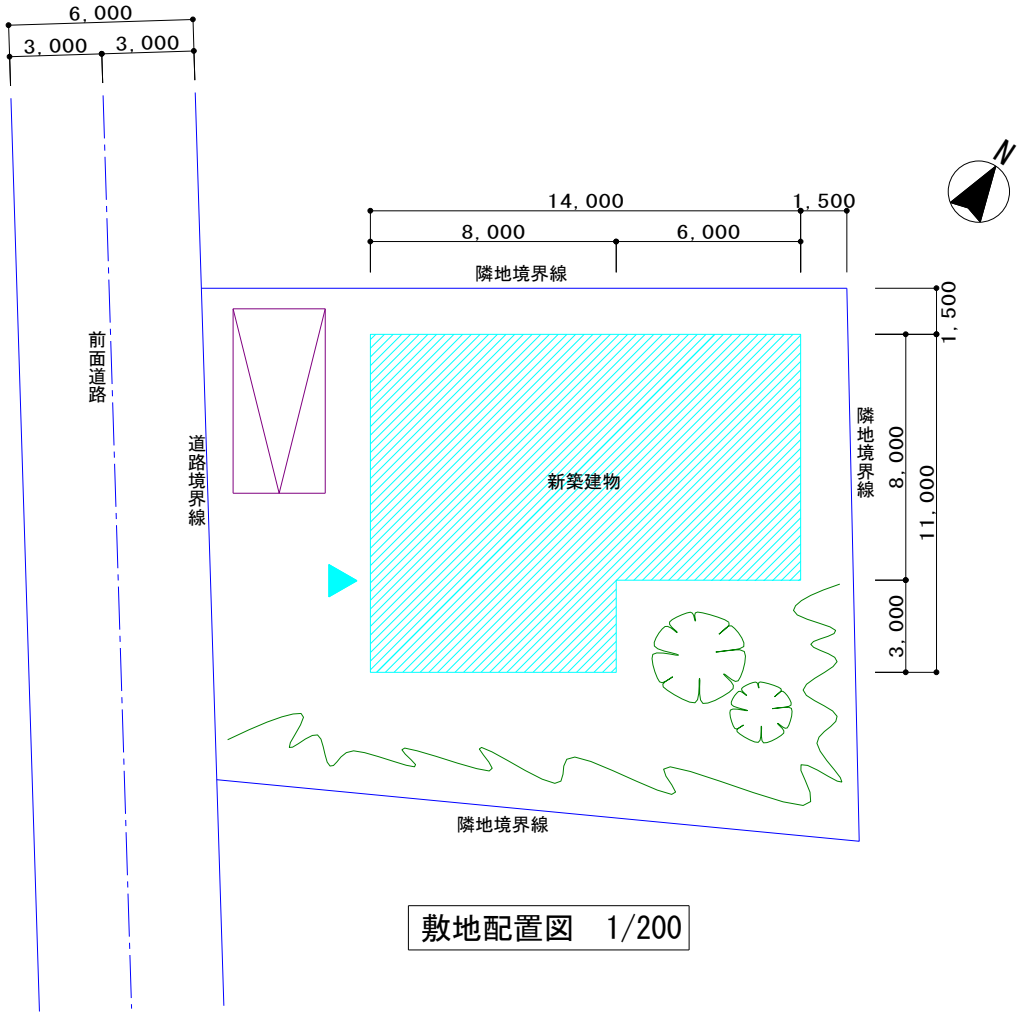
以上で、地図の作成は終了です。



# 3

## トレーニング：敷地配置図

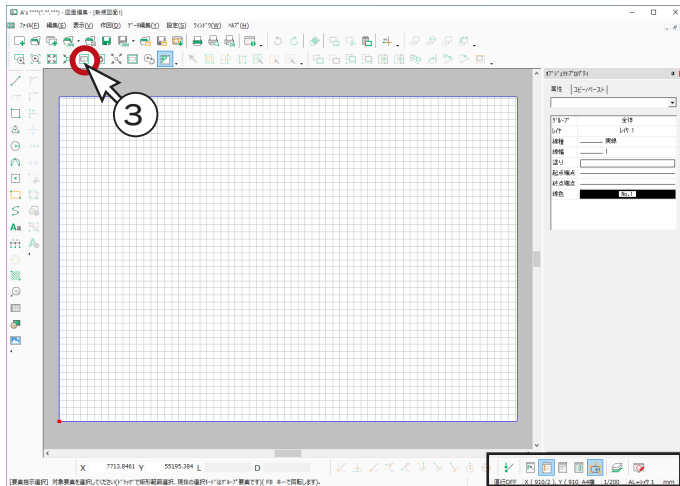
以下のような敷地配置図を作成してみましょう。




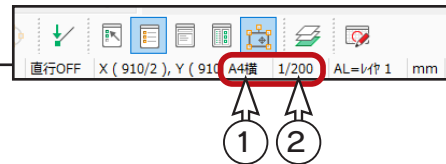
## 作図環境を設定する

図面編集を起動後、新規図面にて、以下のように作図環境を設定しましょう。

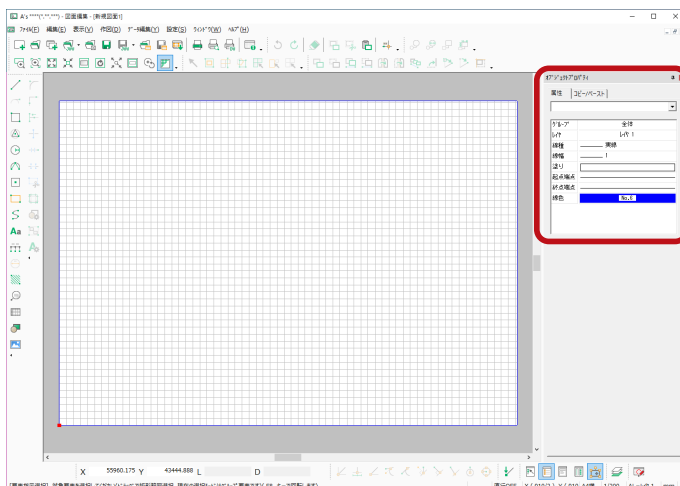
### ■ 用紙サイズ、スケール



- ①用紙サイズを「A4 横」に設定  
\* 画面右下の表示を確認し、異なる場合はクリックして変更してください。
- ②スケールを「1/200」に設定  
\* 画面右下の表示を確認し、異なる場合はクリックして変更してください。
- ③  (全体図) をクリック  
\* 用紙全体が表示されます。

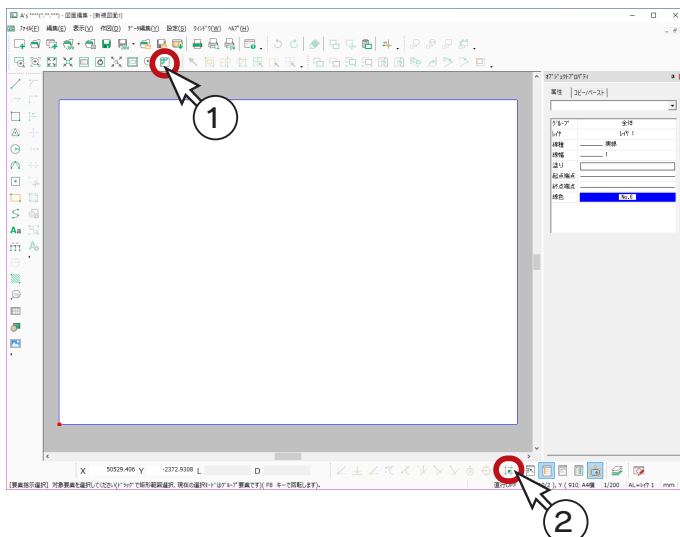


### ■ 線種、線幅、線色、塗り





- ①オブジェクトプロパティにて、以下のように設定  
線種 …… 実線  
線幅 …… 1  
塗り …… なし  
線色 …… 青 (No.6)

### ■ グリッド



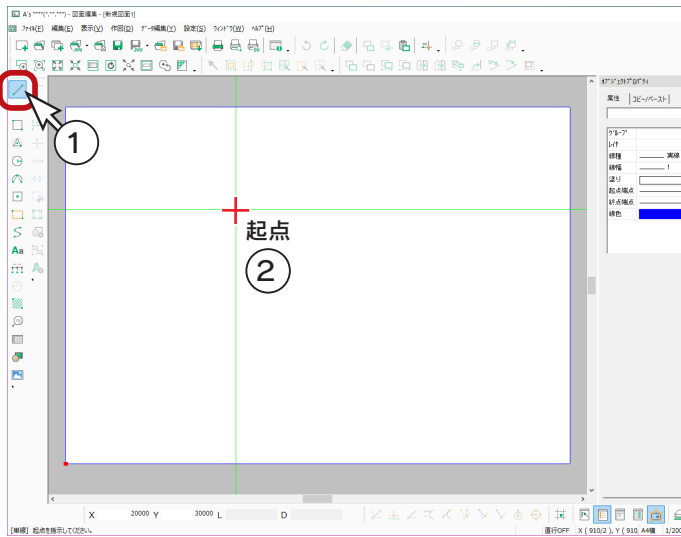
今回はグリッドを使用せず、フリーで入力していきますので、グリッドを非表示にしましょう。


- ①  (グリッド) をクリック  
\* グリッドが消えている場合は、クリックする必要はありません。
- ②ポイントモードのアイコンをクリックし、 (フリー) にする  
\* 初期表示では、ポイントモードは画面の右下にあり、クリックするたびに変わります。

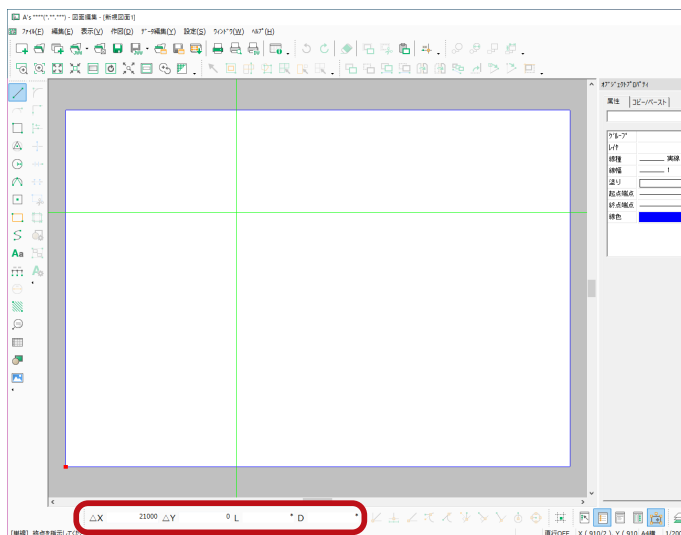
フリーモードでは、カーソルが自由に動き、任意の位置にポイントをセットできます。

## 敷地を描く

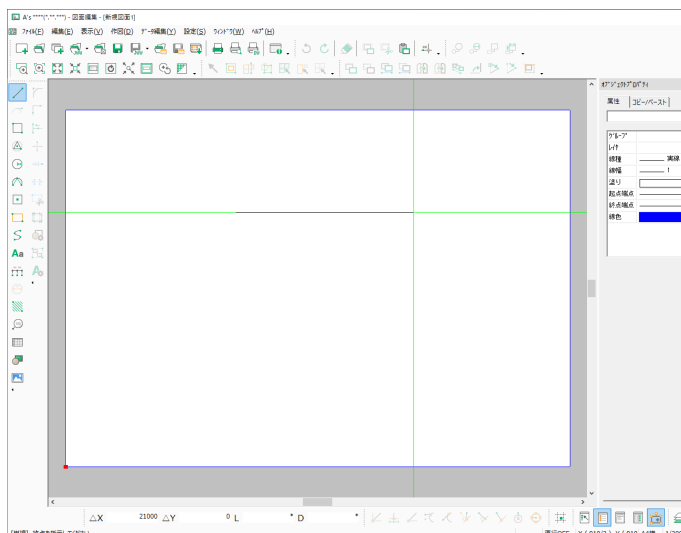
## 単線



- ①線アイコンの (単線) を選択
- ②左図のような位置に起点を設定



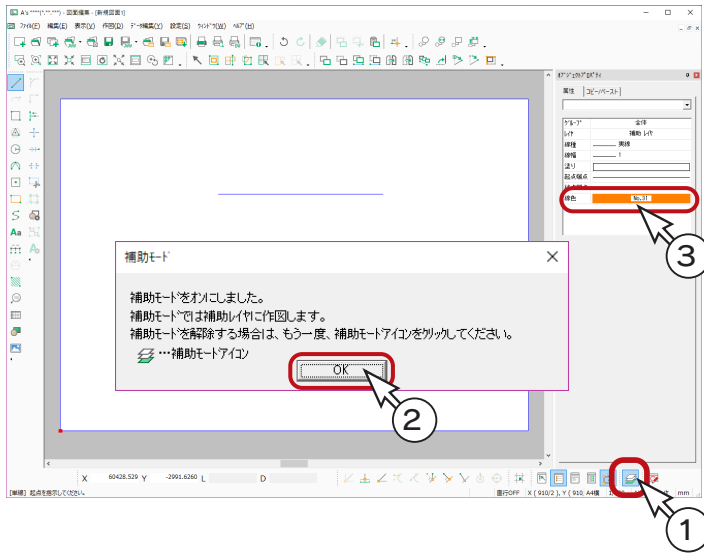
- ③ [Tab] キーを押す  
\* インフォバーが全て「\*」になり、 $\Delta X$ のボックスでカーソルが点滅します。
- ④  $\Delta X$ のボックスに「21000」を入力
- ⑤ [Tab] キーを1回押す  
\*  $\Delta Y$ のボックスにカーソルが移動します。
- ⑥  $\Delta Y$ のボックスに「0」を入力
- ⑦ [Enter] キーを押す




- \* 指定したXY座標の位置にカーソルが移動します。
- ⑧クリックで確定  
\* 単線が引かれます。


## 補助レイヤ

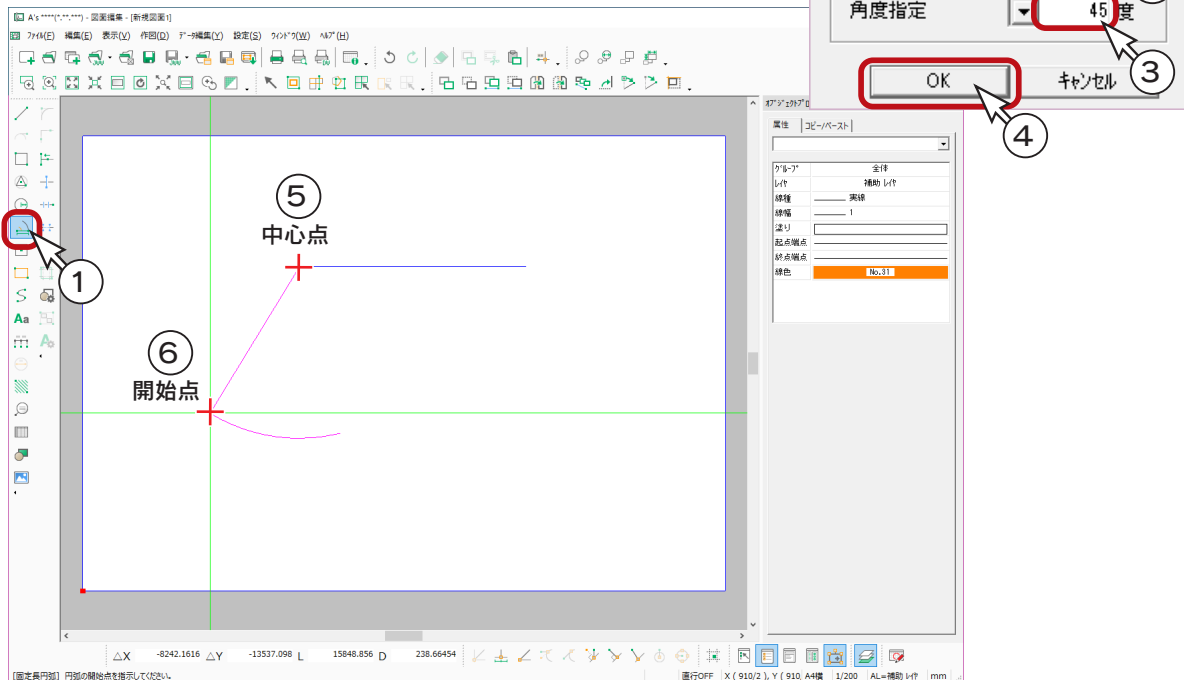
これから入力する円弧は、作図の補助として入力するので、補助レイヤにします。  
補助レイヤに入力したデータは、印刷やD X F出力で出力しない設定にすることができます。

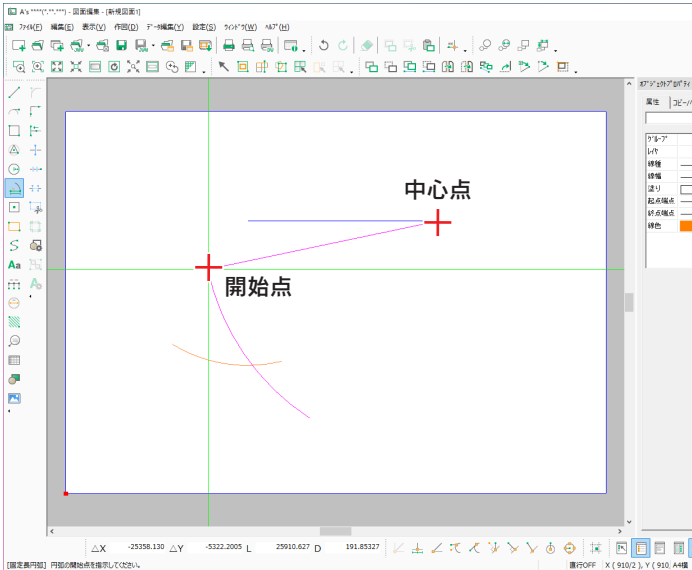


- ①  (補助モード) をクリック
  - \* アイコンは、初期の表示状態では、画面の右下にあります。
  - \* ダイアログが表示されます。
- ② 内容をご確認の上、「OK」をクリック
  - \* 画面右下のレイヤの表示が「AL= 補助レイヤ」になります。
- ③ 線色をオレンジ (No.31) に設定
  - \* 色でも補助データを見分けられるようにします。

## 固定長円弧

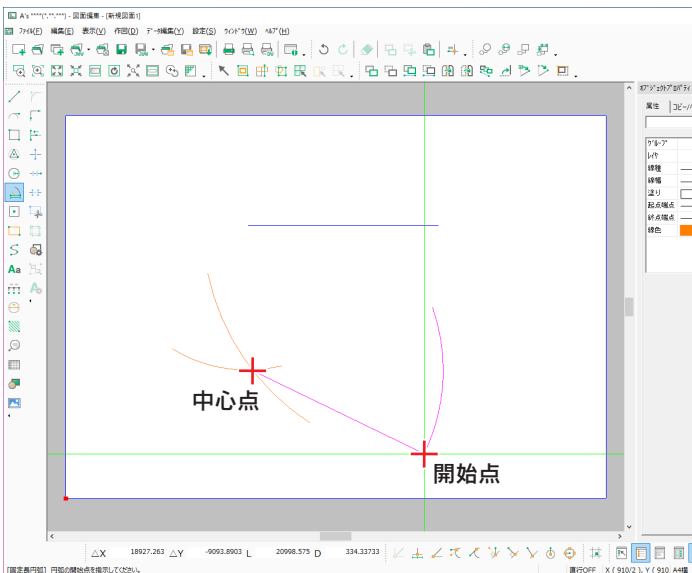
- ① 円弧アイコンの  (固定長円弧) を選択
  - \* ダイアログが表示されます。
- ② 半径指定にし、16000mm に設定
- ③ 角度を 45 度に設定
- ④ 「OK」をクリック
- ⑤ [Ctrl] キーを押しながら単線の端点にカーソルを合わせクリックし、中心点を設定
- ⑥ 図のように、開始点を設定





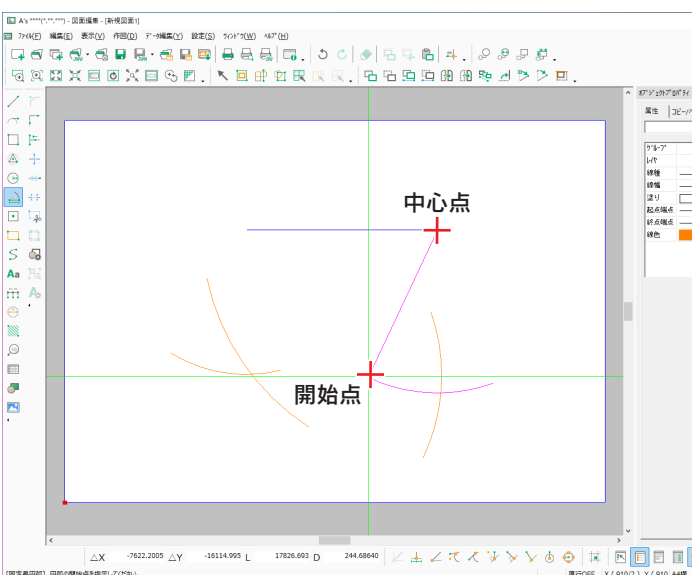
- ⑦右クリック  
\*ダイアログに戻ります。
- ⑧半径を 26000mm に変更し、「OK」をクリック

- ⑨図のように、中心点－開始点を設定  
\*中心点は、[Ctrl] キーを押しながら指示してください。  
\* 2つの円弧が交わるようになります。



- ⑩右クリックし、ダイアログに戻る
- ⑪半径を 21000mm に変更し、「OK」をクリック

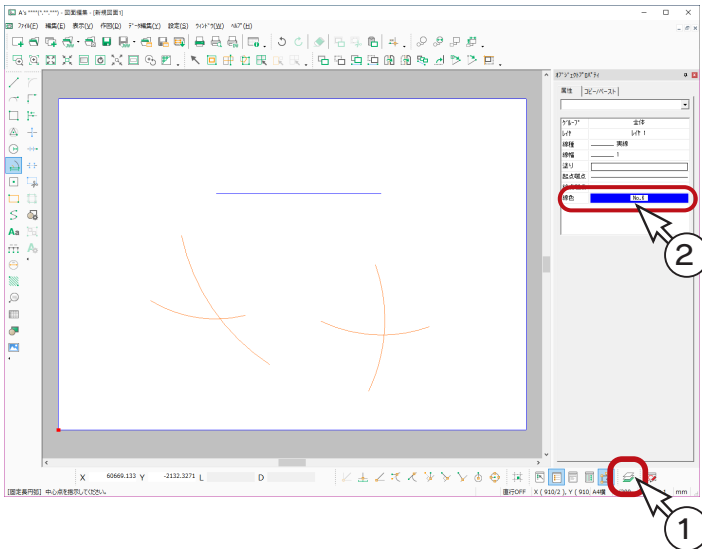
- ⑫図のように、中心点－開始点を設定  
\*中心点は、[Ctrl] キーを押しながら円弧の交点を指示してください。




- ⑬右クリックし、ダイアログに戻る
- ⑭半径を 18000mm に変更し、「OK」をクリック

- ⑮図のように、中心点－開始点を設定  
\*中心点は、[Ctrl] キーを押しながら指示してください。  
\*やはり円弧が交わるようになります。


## 補助レイヤを解除



- ①  (補助モード) をクリック  
\* 画面右下のレイヤの表示が「AL=レイヤ 1」になります。
- ② 線色も青 (No.6) に戻す

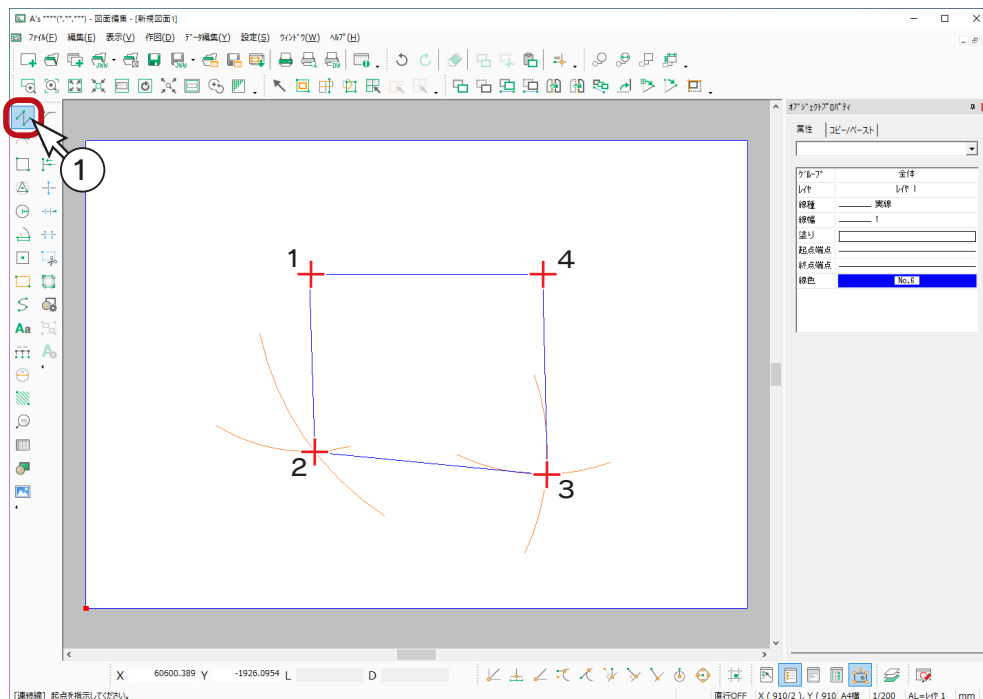
## 連続線

円弧の交点を利用して敷地線を描きます。

- ① 線アイコンの  (連続線) を選択
- ② 図の 1～4 の順に、[Ctrl] キーを押しながら指示
- ③ [スペース] キーを押す、またはダブルクリック

### [スペース] キーが働かない？

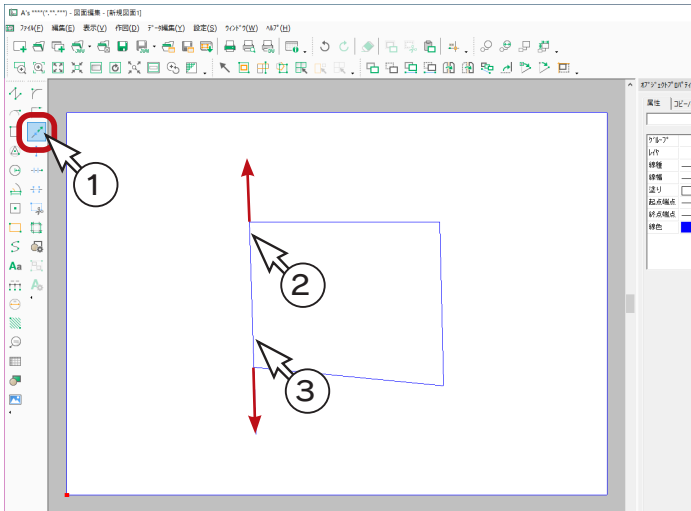
日本語入力状態では、[スペース] キーによる確定は利用できません。日本語入力を解除するか、ダブルクリックをご利用ください。




以後の説明図では、円弧を表示していませんが、補助レイヤに描いたデータは、印刷時に出力しない設定にできるので、必ずしも削除する必要はありません。

# 道路を描く

## 伸縮

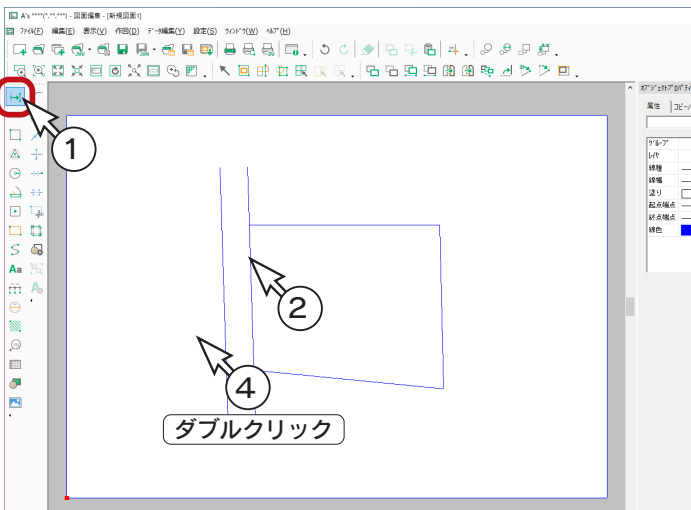



道路線入力のために、敷地線の左側の線を上下に少し伸ばします。

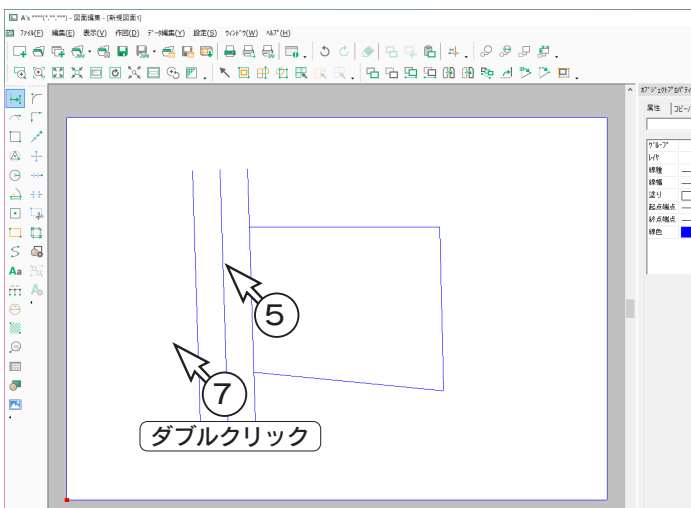
- ①延長・伸縮アイコンの  (伸縮) を選択
- ②伸ばす線の上側を指示し、上に伸ばしてクリック
- ③伸ばす線の下側を指示し、下に伸ばしてクリック

伸縮する端点の近くをクリックしてから伸縮します。

## 平行線



- ①線アイコンの  (平行線) を選択
- ②伸ばした敷地線を指示  
\*ダイアログが表示されます。
- ③平行間隔を 3000mm に設定し、「OK」をクリック
- ④操作②で指示した線の左側でダブルクリック  
\*ダブルクリックすることによって、同一長の線が引かれます。




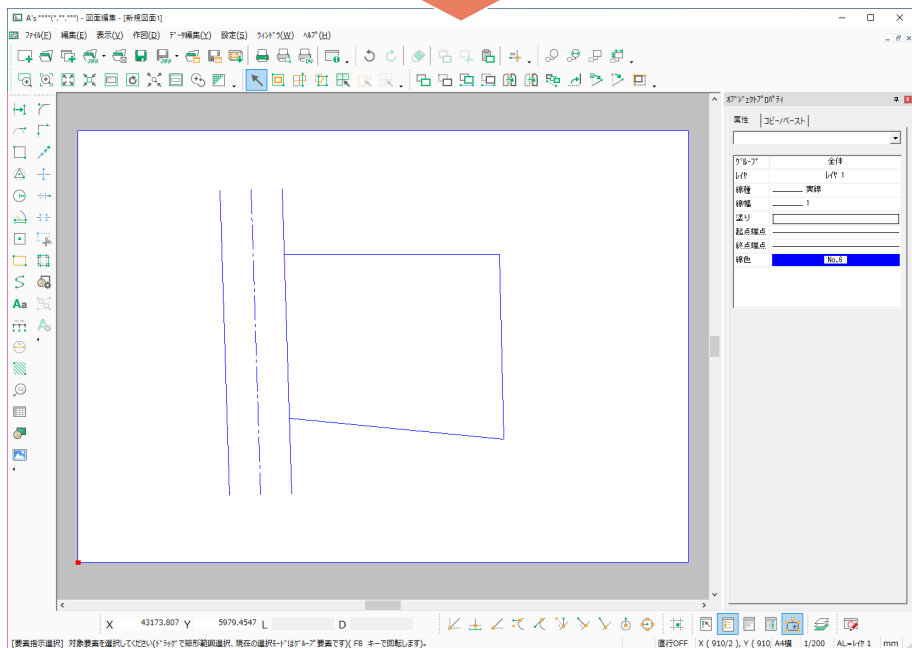
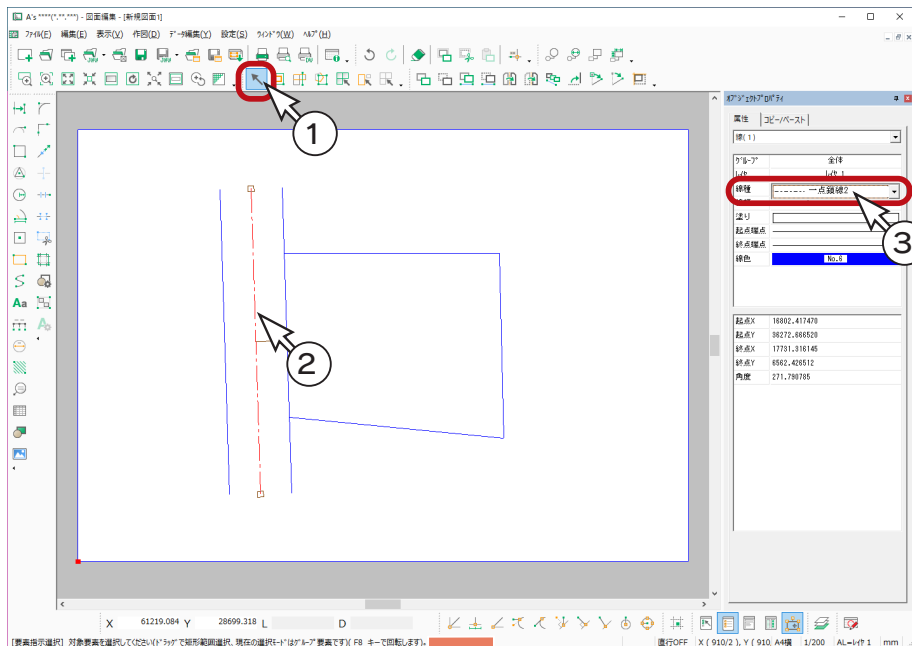
- ⑤入力された平行線を指示  
\*ダイアログが表示されます。
- ⑥平行間隔 3000mm のまま、「OK」をクリック
- ⑦操作⑤で指示した線の左側でダブルクリック



## 属性変更

道路の中心線を一点鎖線に変更します。

- ①  (要素指示) をクリック
  - \* 押された状態の場合は再度押す必要はありません。
- ② 道路の中心線を指示
  - \* 中心線の属性がオブジェクトプロパティに表示されます。
- ③ 線種を「一点鎖線 2」に設定






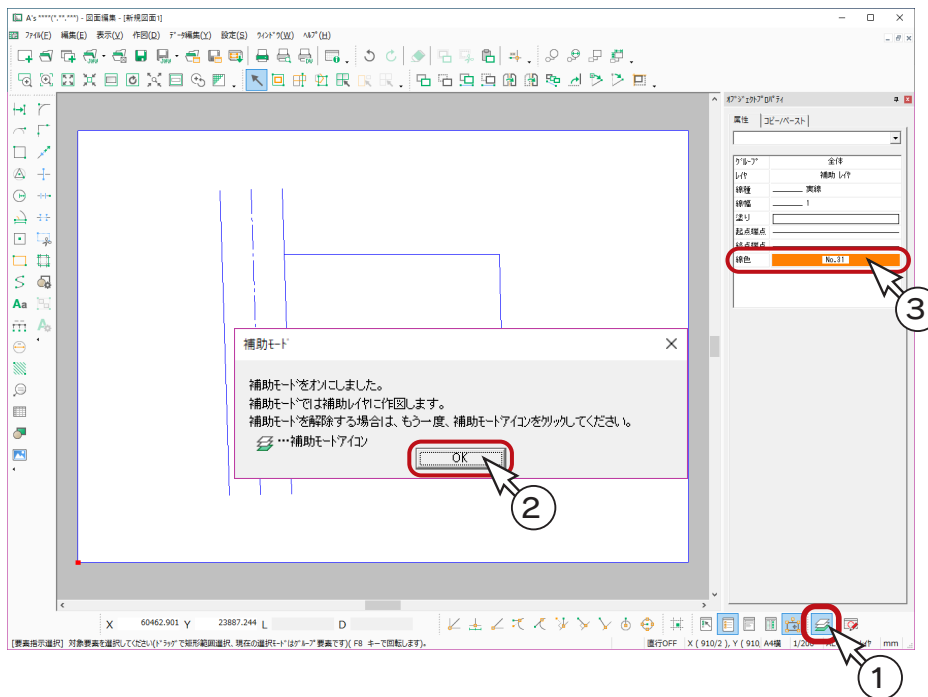
## 建物を描く

建物は、寸法を指定した矩形を合わせて形状を作成してから、全体を塗ります。

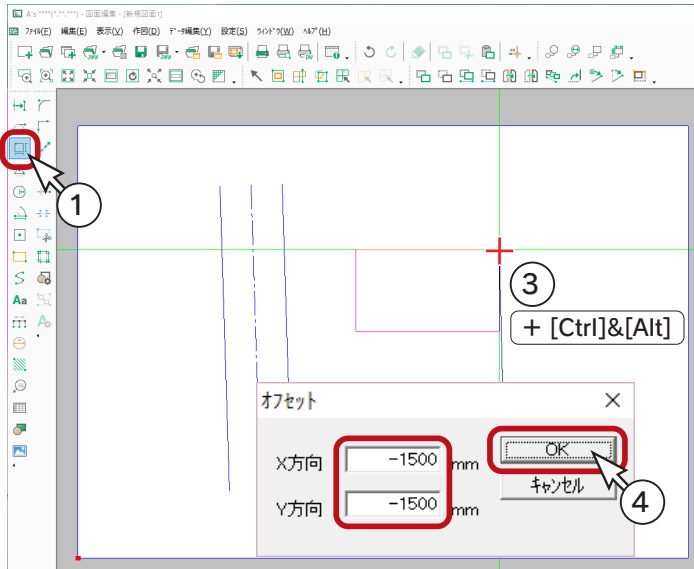
### 補助レイヤ

これから入力する矩形は、敷地入力の円弧と同様に、作図の補助として入力するので、補助レイヤにします。

- ①  (補助モード) をクリック
  - \*ダイアログが表示されます。
- ② 内容をご確認の上、「OK」をクリック
  - \*画面右下のレイヤの表示が「AL= 補助レイヤ」になります。
- ③ 線色をオレンジ (No.31) に設定
  - \*色でも補助データを見分けられるようにします。



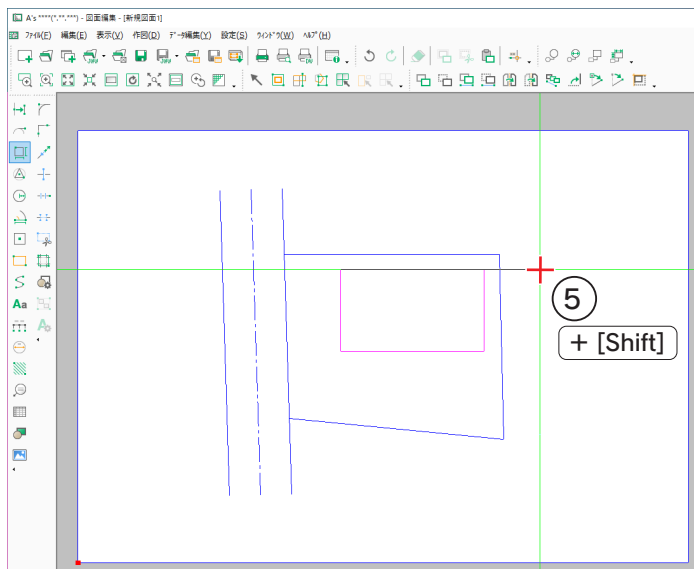
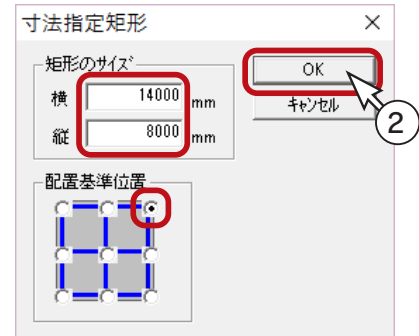
## 寸法指定矩形



① 矩形アイコンの [寸法指定矩形] を選択

\* ダイアログが表示されます。

② 以下のように設定し、「OK」をクリック  
横：14000mm、縦：8000mm  
配置基準位置：右上



③ [Ctrl] キーと [Alt] キーを押した状態で、敷地線の  
右上角をクリック

\* ダイアログが表示されます。

④ X、Y 方向ともに [-1500] に設定し、「OK」をクリッ  
ク

\* 配置の起点がセットされます。

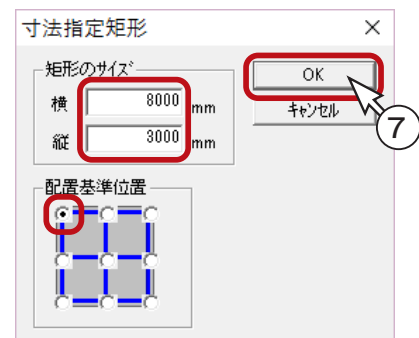
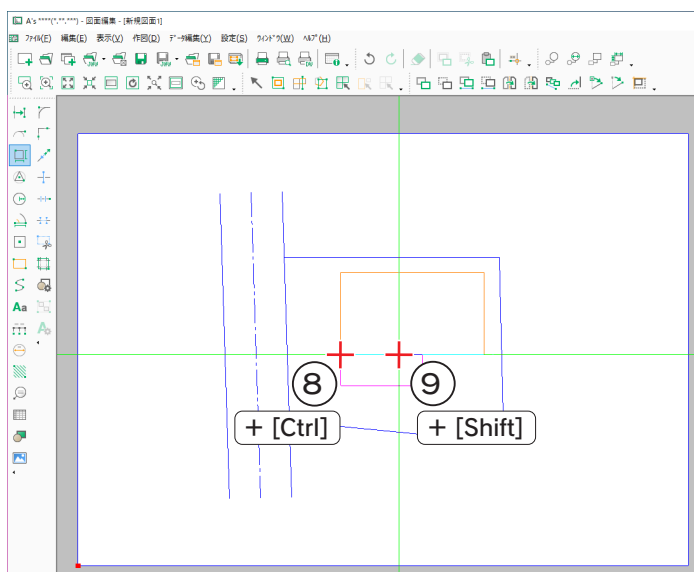
⑤ 右にまっすぐ伸ばしてクリック

\* カーソルが斜めになる場合は、[Shift] キーを  
押しながら伸ばします。

⑥ 右クリックし、寸法指定矩形のダイアログに戻る

⑦ 以下のように設定し、「OK」をクリック

横：8000mm、縦：3000mm  
配置基準位置：左上





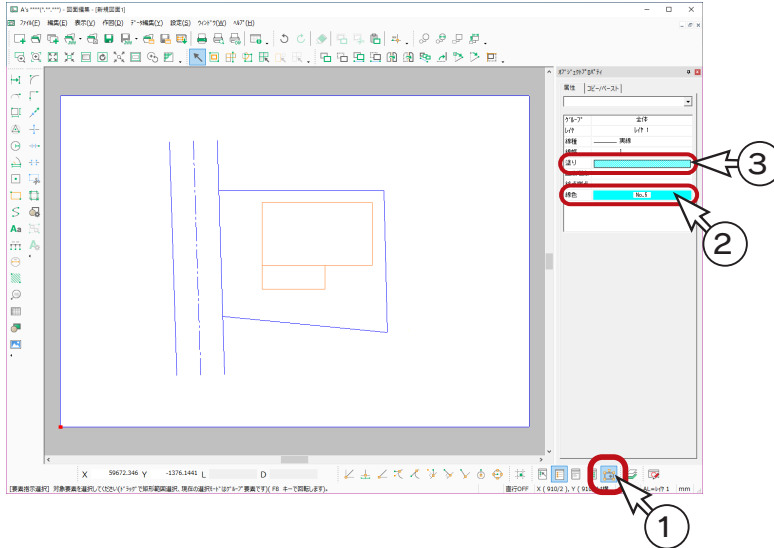
⑧ 前の矩形の左下に、[Ctrl] キーを押して合わせ、ク  
リック

⑨ 右にまっすぐ伸ばしてクリック


\* カーソルが斜めになる場合は、[Shift] キーを  
押しながら伸ばします。

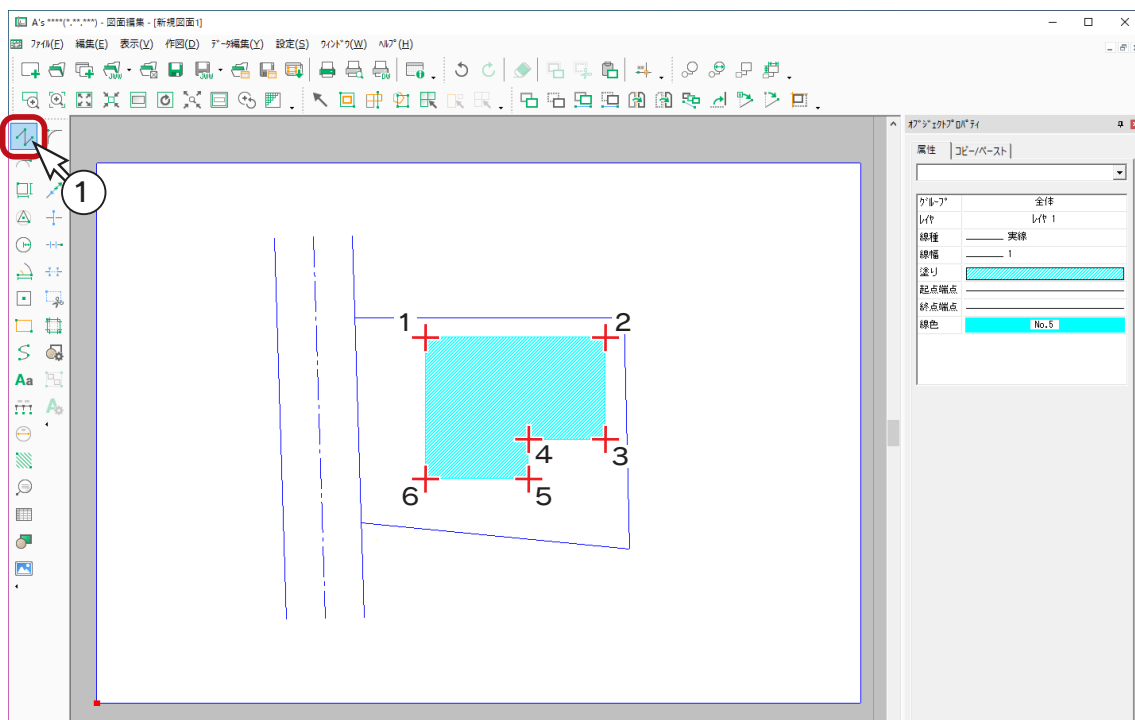
## 補助レイヤを解除

- ①  (補助モード) をクリック  
\*画面右下のレイヤの表示が「AL= レイヤ 1」になります。
- ② 線色を水色 (No.5) に設定
- ③ 塗りを  に設定



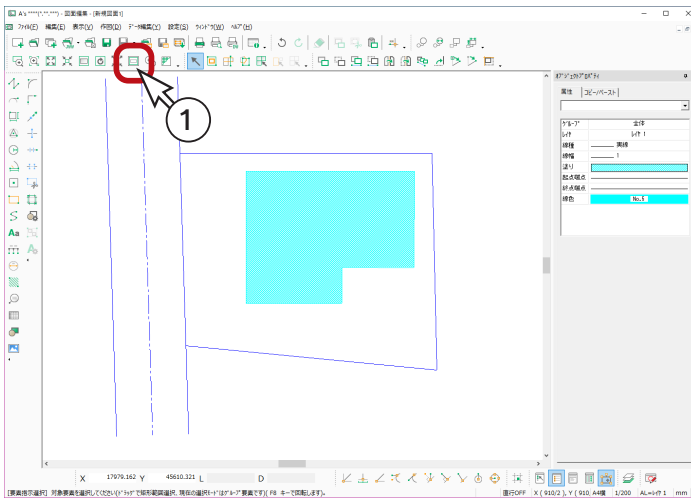
## 連続線 (塗り有り)

- ① 線アイコンの  (連続線) を選択  
\*「作図 (D)」の「連続線 (R)」を選択してもかまいません。
- ② 図のように、1～6の順に、[Ctrl] キーを押しながら指示
- ③ 再度 1 を指示
- ④ [スペース] キーを押す、またはダブルクリック  
\*塗り模様が入力されます。




# 玄関マーク



## 最適表示

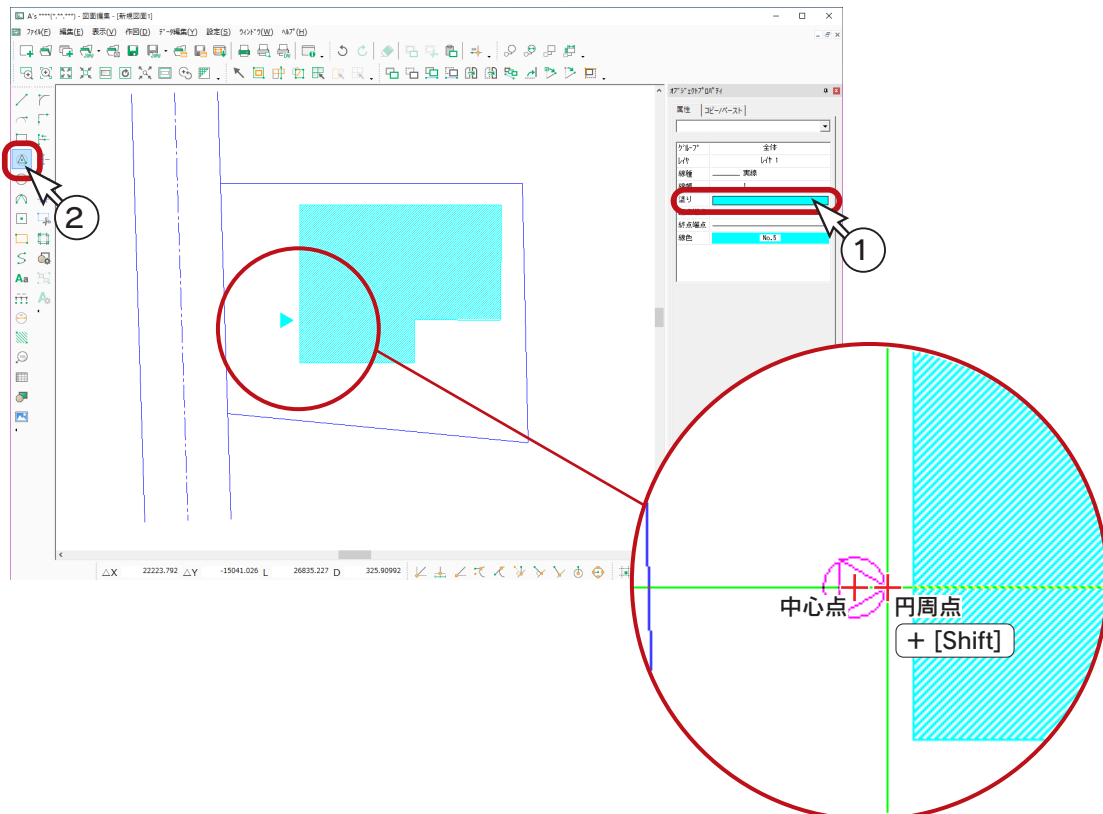
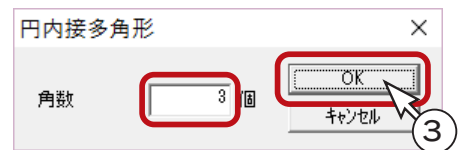


最適表示とは、現在入力されているデータの全体が表示されるように自動調整する機能です。

①  (最適表示) をクリック

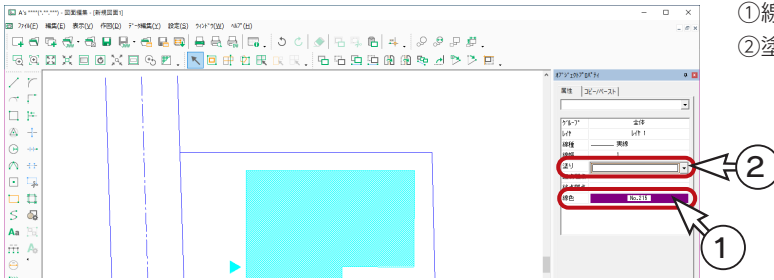
## 円内接多角形 (塗り有り)

- ① 塗りを  に設定
- ② 多角形アイコンの  (円内接多角形) を選択  
\* ダイアログが表示されます。
- ③ 角数を3に設定し、「OK」をクリック
- ④ 図のように、中心点・円周点を指示  
\* 円周点は、[Shift] キーを押しながら右にまっすぐ伸ばしてから指示します。



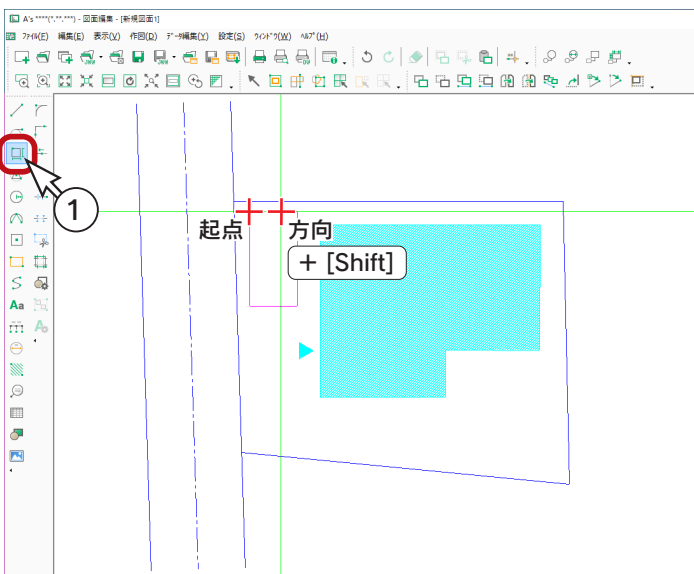
# 車


## ■線色・塗り

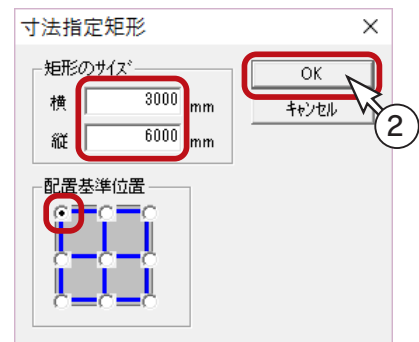


- ①線色を紫 (No.215) に設定
- ②塗りを  に設定

## ■寸法指定矩形

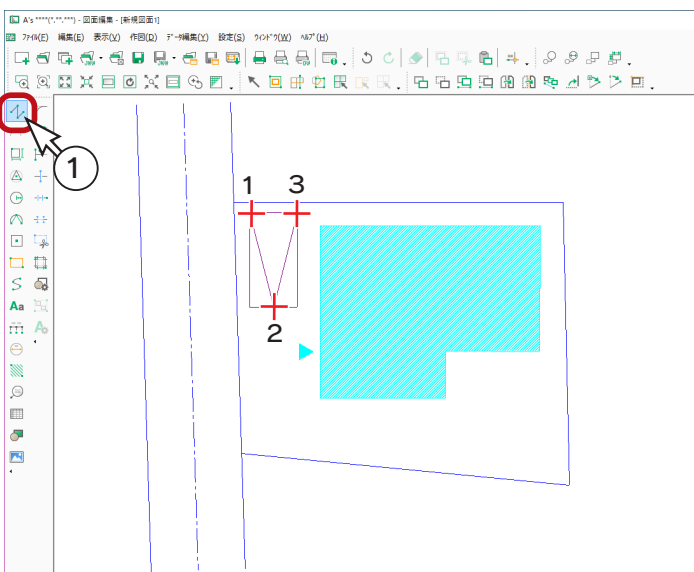



- ①矩形アイコンの  (寸法指定矩形) を選択  
\*ダイアログが表示されます。
- ②以下のように設定し、「OK」をクリック  
横：3000mm、縦：6000mm  
配置基準位置：左上



- ③図のように、起点→方向を指示  
\*方向は、カーソルが斜めになる場合は、[Shift] キーを押しながら伸ばします。

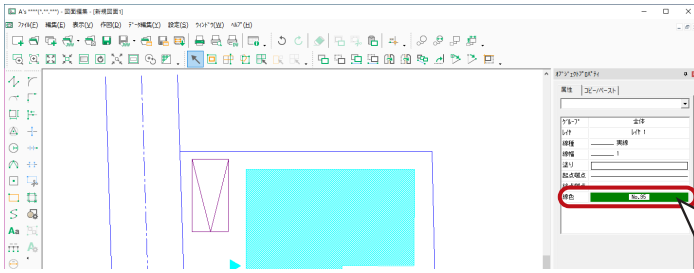
## ■連続線



- ①線アイコンの  (連続線) をクリック
- ②図のように、1～3の順に、[Ctrl] キーを押しながら指示  
\* 2 は中点になります。
- ③ [スペース] キーを押す、またはダブルクリック

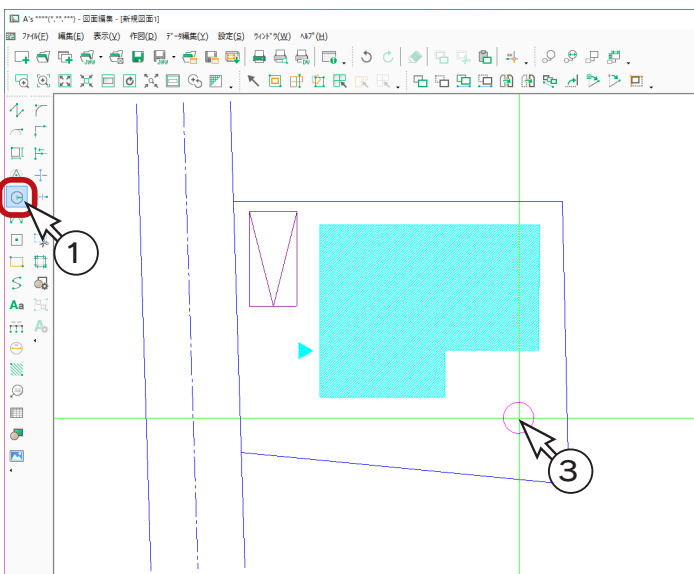
# 樹木


## ■線色



①線色を緑 (No.95) に設定

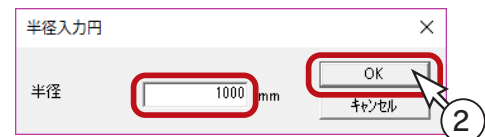
## ■半径入力円




①円アイコンの  (半径入力円) を選択

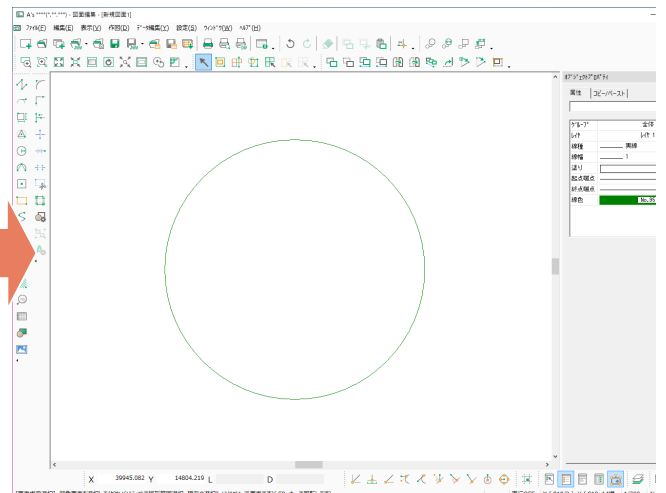
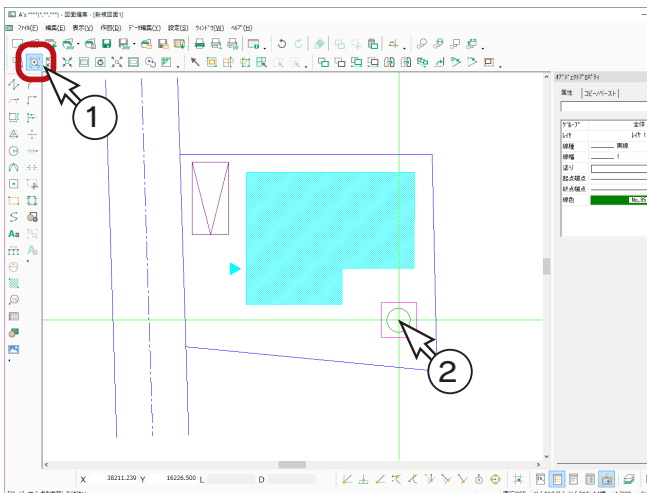
\*ダイアログが表示されます。

②半径を 1000mm に設定し、「OK」をクリック  
③図のように、円を配置

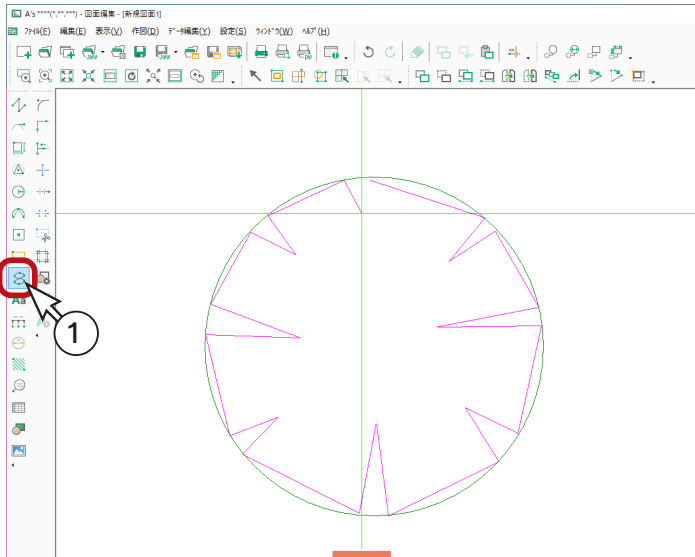



## ■ズーム

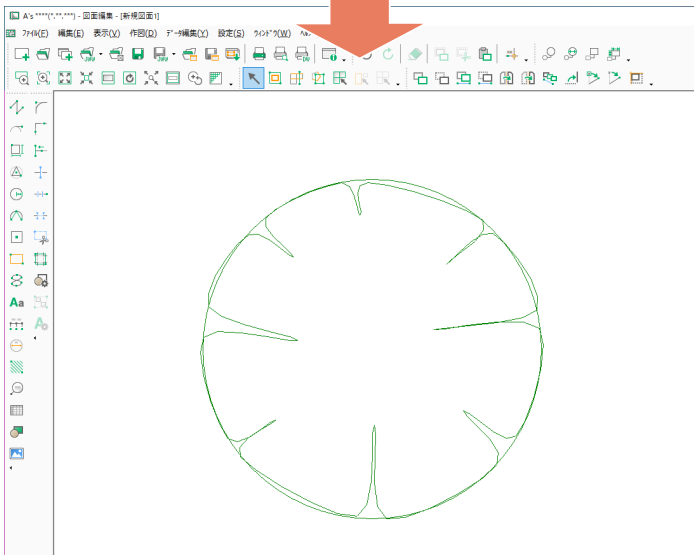
- ①  (ズーム) をクリック
- ② 円の部分を囲むように指示  
\* 拡大表示します。



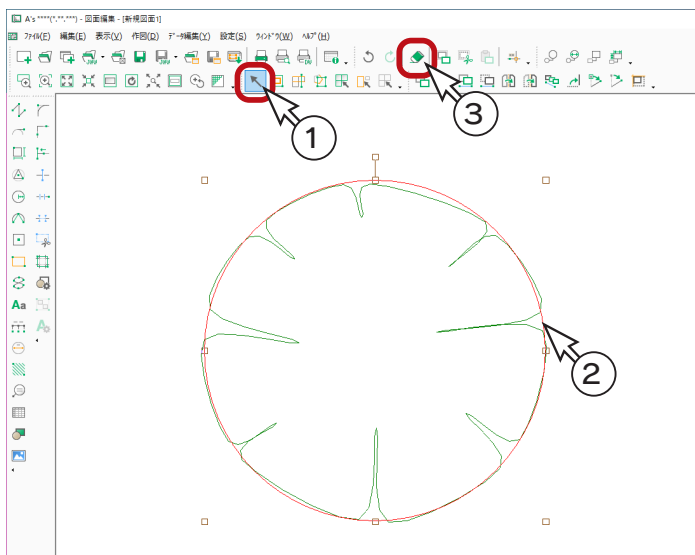
## 閉曲線





- ① 曲線アイコンの  (閉曲線) を選択
- ② 図のように、連続線の要領で、円を利用してポイントを指示
- ③ [スペース] キーを押す  
\* 曲線が描画されます。



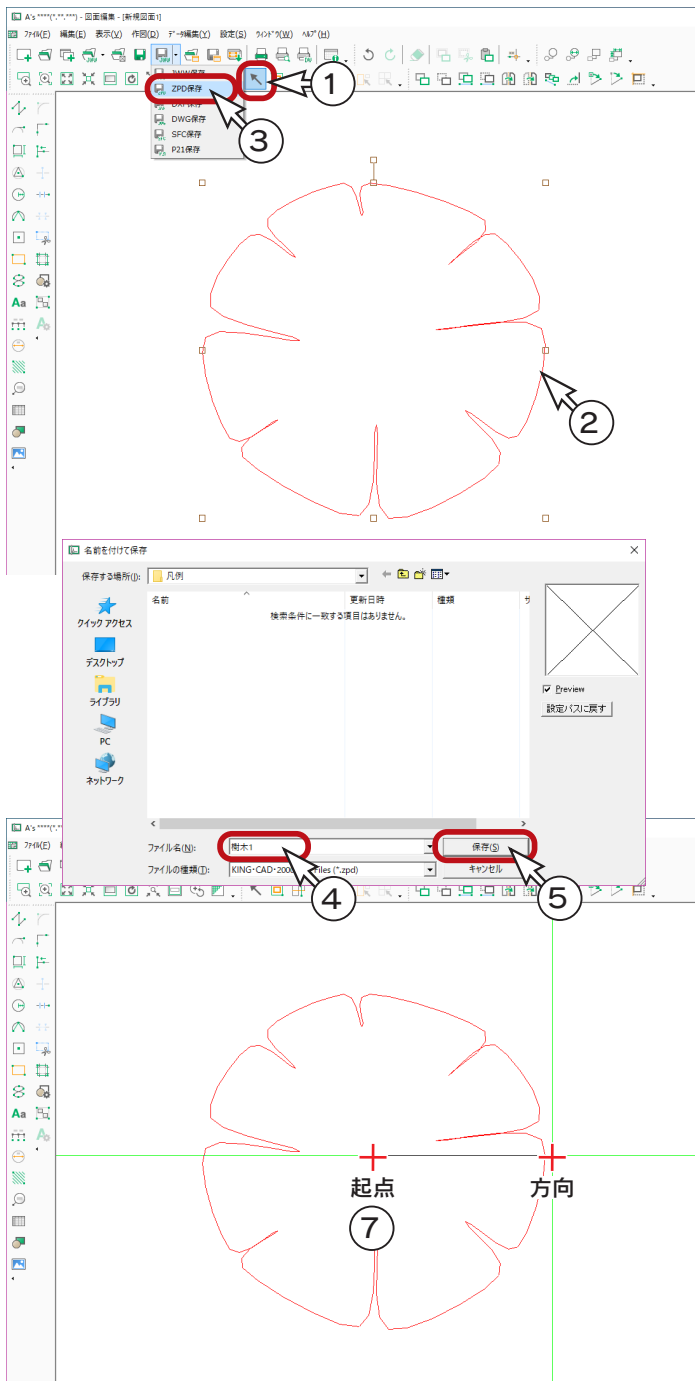
## 円を削除



- ①  (要素指示) を選択
- ② 円を指示  
\* 曲線が選択された場合は、[Tab] キーを押すと円が選択されます。
- ③ 円が選択されたら、 (削除) をクリック  
\* [Del] キーを押してもかまいません。

## 部品登録

できあがった樹木を部品に登録します。



- ① (要素指示) を選択  
\* 押された状態の場合は再度押す必要はありません。

- ② 樹木をクリック

選択モードがグループ要素、または最小グループ要素であれば、ワンクリックで選択できますが、単独要素になっている場合は、一部しか選択できませんので、選択モードを変更するか、ドラッグで囲んで選択してください。  
選択モードは [スペース] キーで変更できます。

- ③ 保存のプルダウンメニューから、「ZPD 保存」を選択

\* 初期は  (JWW 保存) になっています。

\* ダイアログが表示されます。

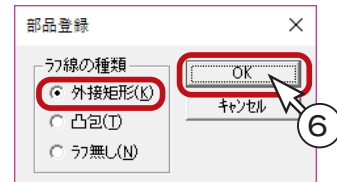
- ④ ファイル名を入力

\* 例えば「樹木 1」と入力します。

- ⑤ 「保存 (S)」をクリック

\* 部品登録のダイアログが表示されます。

- ⑥ 外接矩形であることを確認し、「OK」をクリック

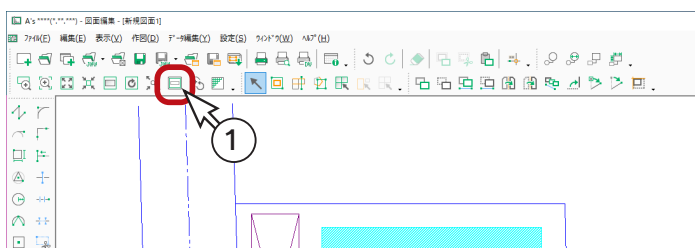


- ⑦ 図のように、基準線の起点-方向を設定

\* 部品配置の際に必要な基準線です。

\* 部品が登録されます。

## 最適表示



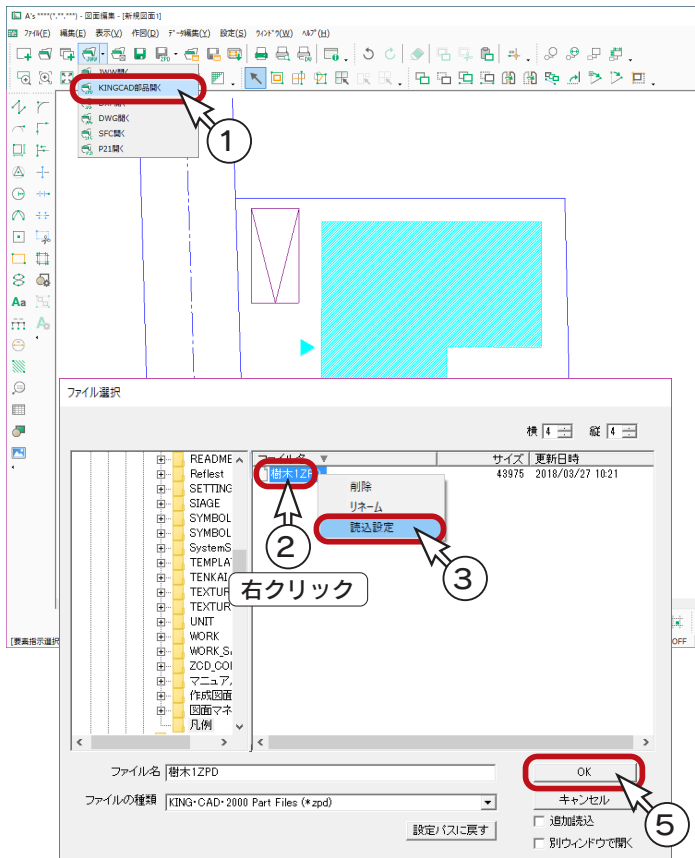
ズームの状態から最適表示にします。

- ① (最適表示) をクリック



## 部品読込

登録した部品を読み込みます。サイズを少し大きくして配置します。



①開くのプルダウンメニューから、「KINGCAD 部品  
開く」を選択

\*初期は  (JWW 開く) になっています。

\*ダイアログが表示されます。

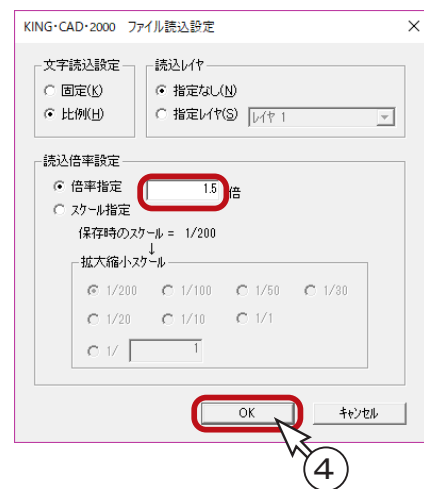
②「樹木1ZPD」を選択し、右クリック

③「読込設定」を選択

\*ダイアログが表示されます。

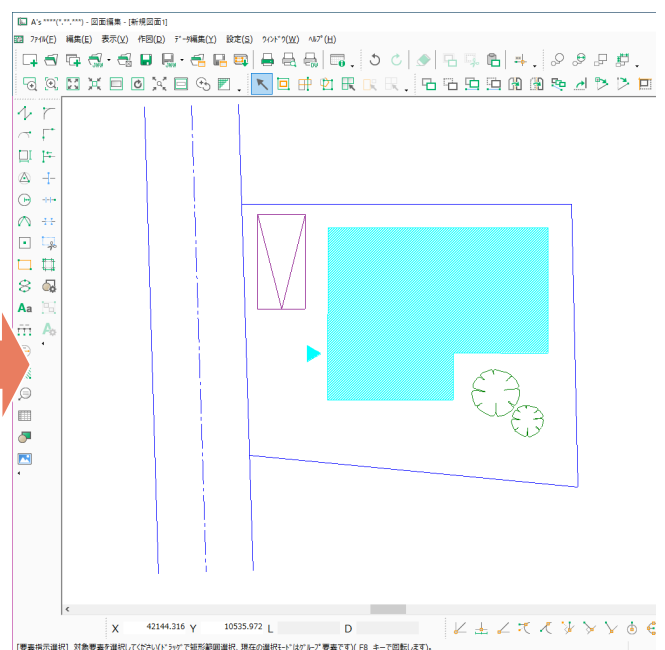
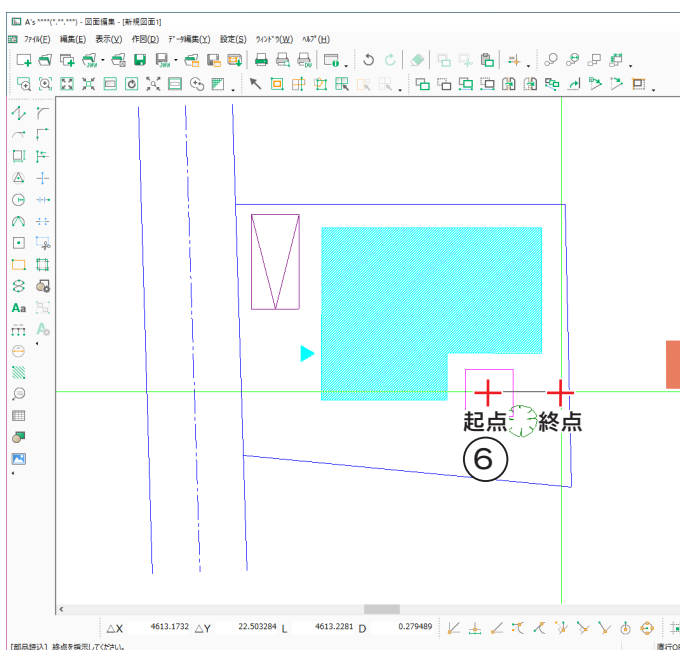
④読込倍率を1.5倍に設定し、「OK」をクリック

⑤ファイル選択に戻るので、「OK」をクリック



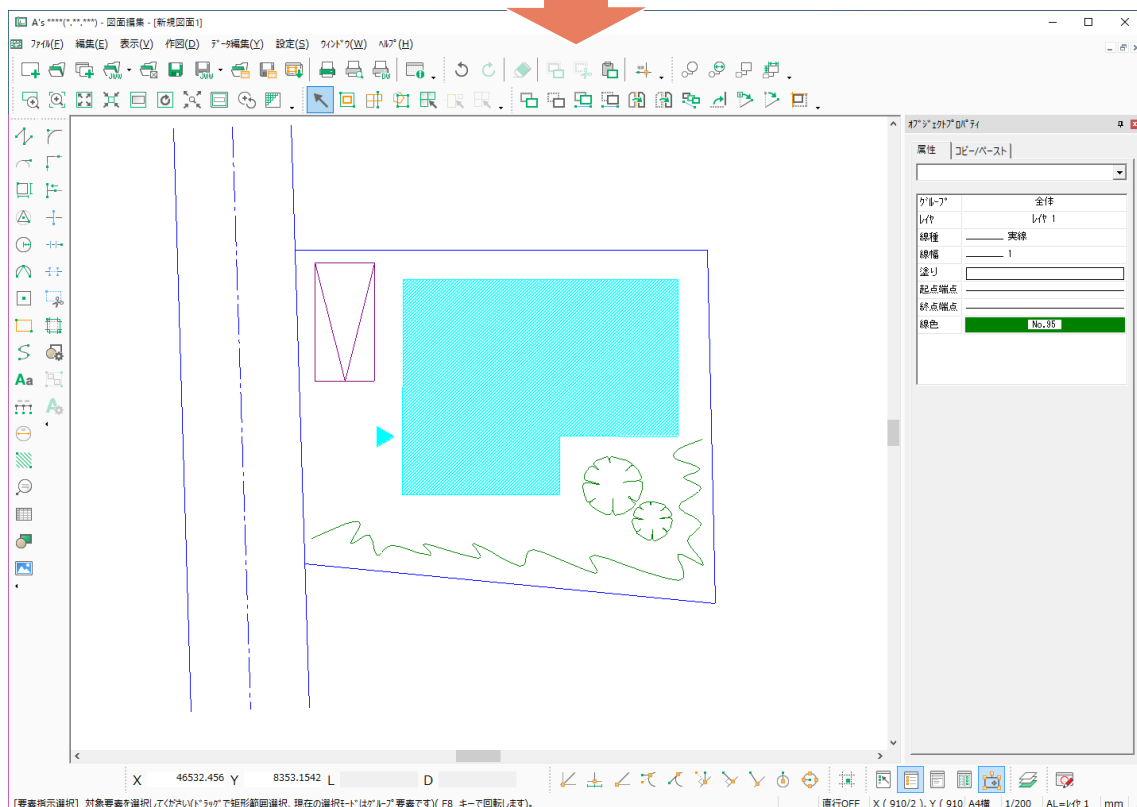
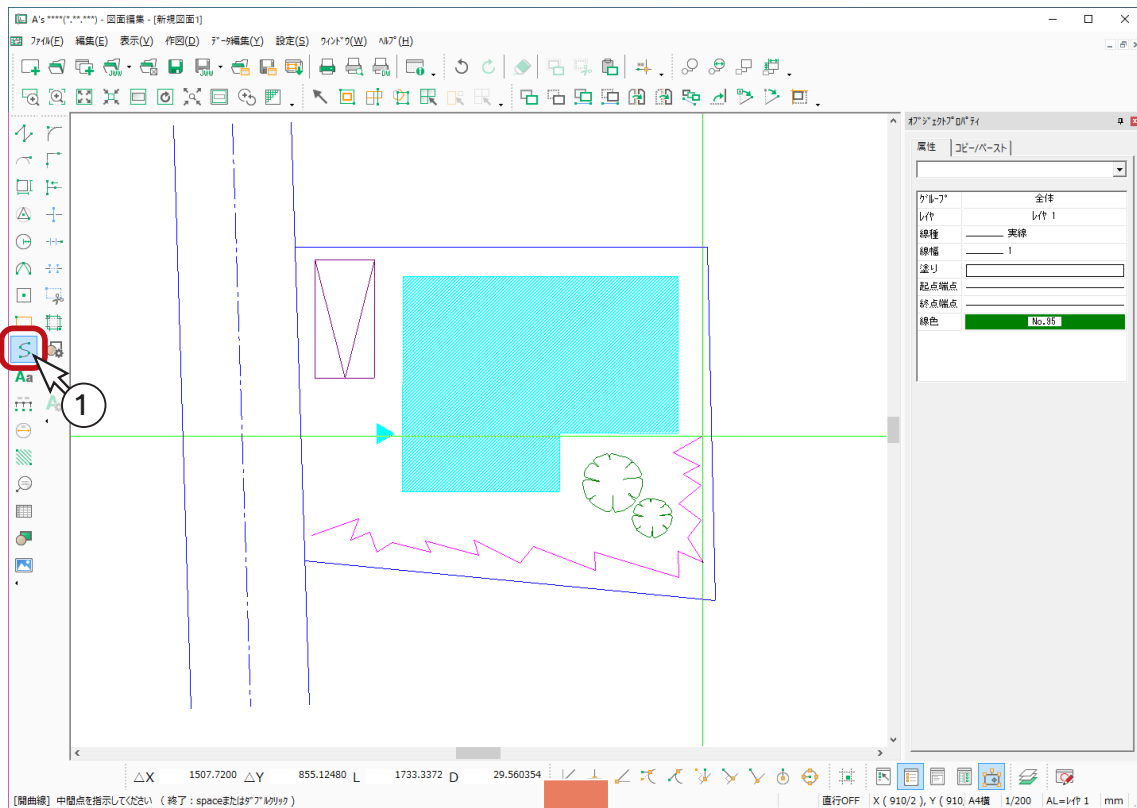
⑥図のように、起点-終点を指示

\*終点は方向指示だけのため、基準線の長さは登録時と異なってもかまいません。



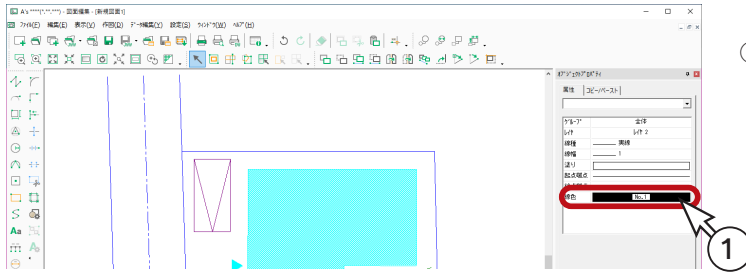
## 開曲線

- ① 曲線アイコンの中の **S** (開曲線) を選択
- ② 敷地の下のほうに、任意にポイントを指示  
\* 連続線と同じ要領で指示していきます。
- ③ [スペース] キーを押す、もしくはダブルクリック



# 寸法線

## ■線色

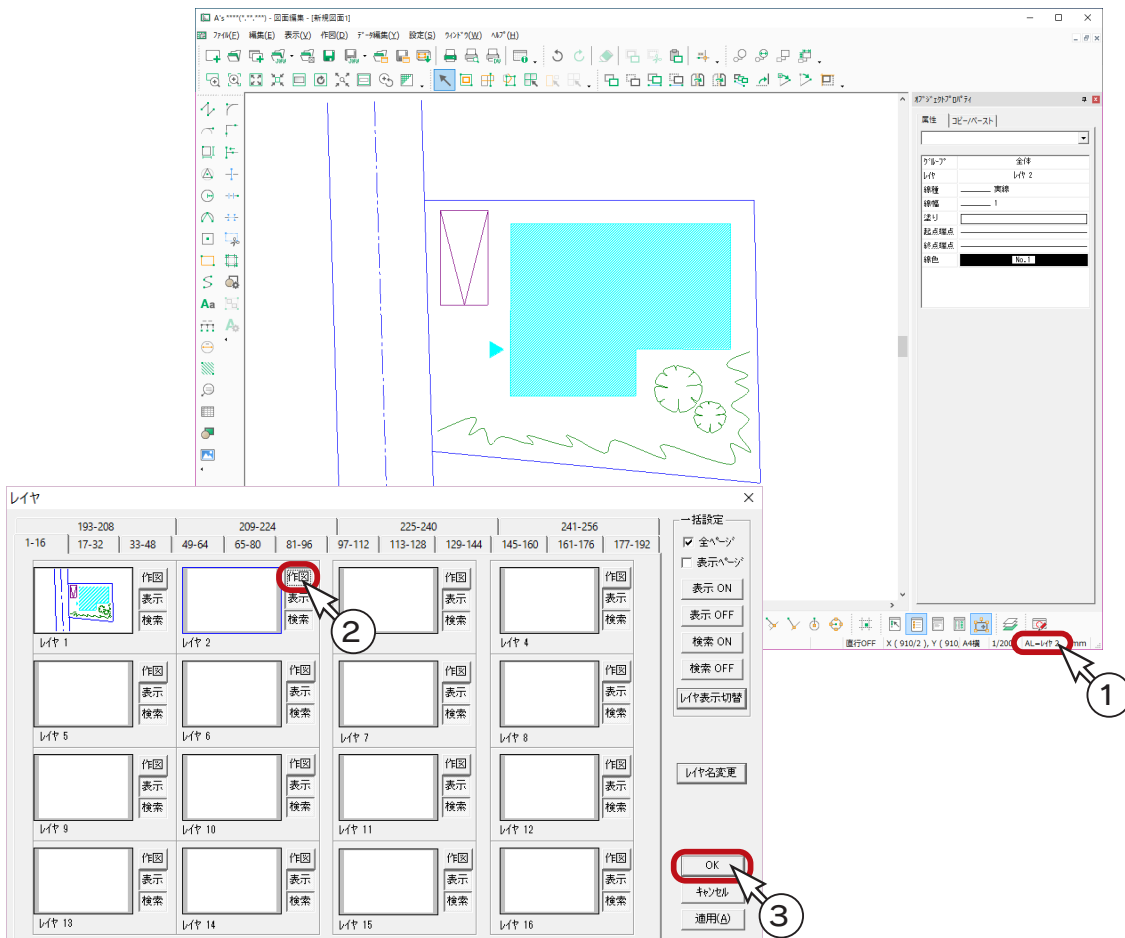


①線色を黒 (No.1) に設定

## レイヤ変更

寸法線は図面データとは別のレイヤに入力してみます。

- ①画面右下の「AL=レイヤ 1」をクリック  
\*ダイアログが表示されます。
- ②レイヤ2の「作図」をクリック
- ③「OK」をクリック  
\*これで作図対象はレイヤ2となり、画面右下の表示は「AL=レイヤ 2」となります。



## 寸法設定

① 「設定 (S)」 の「寸法 (D)...」 を選択

\*ダイアログが表示されます。

② タブを切り替えて、以下のように設定

【寸法値の文字】 …… 高さ：3mm、幅：2mm、文字間：0.1 mm、フォント：MSゴシック

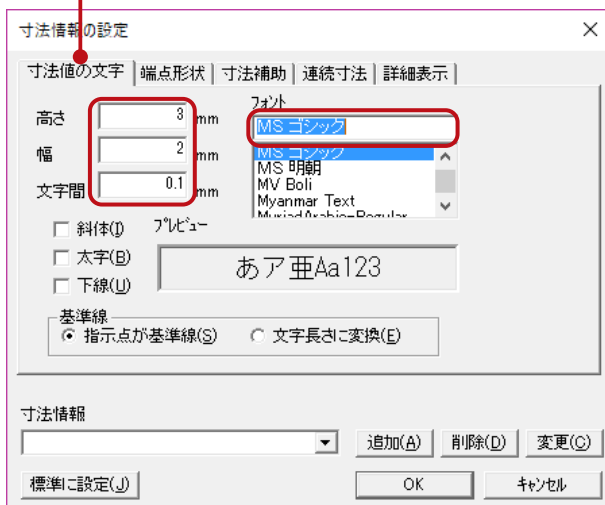
【端点形状】 …… 起点側の形状、終点側の形状：黒丸

【寸法補助】 …… 寸法浮き：0mm、補助出：0mm、補助浮き：2mm

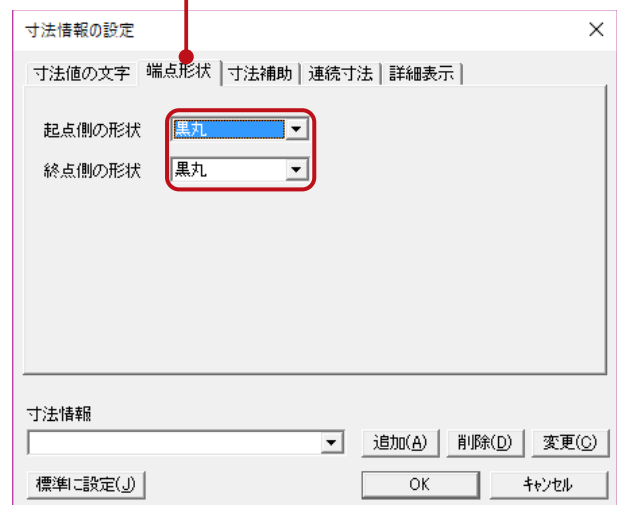
【連続寸法】 …… トータル寸法を表示する：ON、「法線の長さを固定する」：ON、ab：5mm

③ 設定が完了したら、「OK」 をクリック

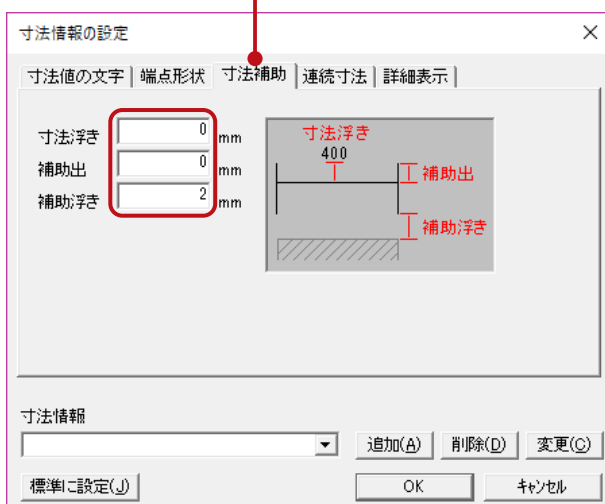
### 寸法値の文字



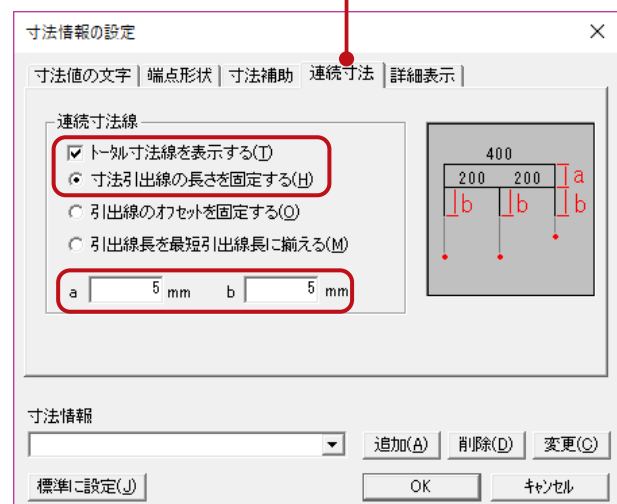
### 端点形状



### 寸法補助




### 連続寸法

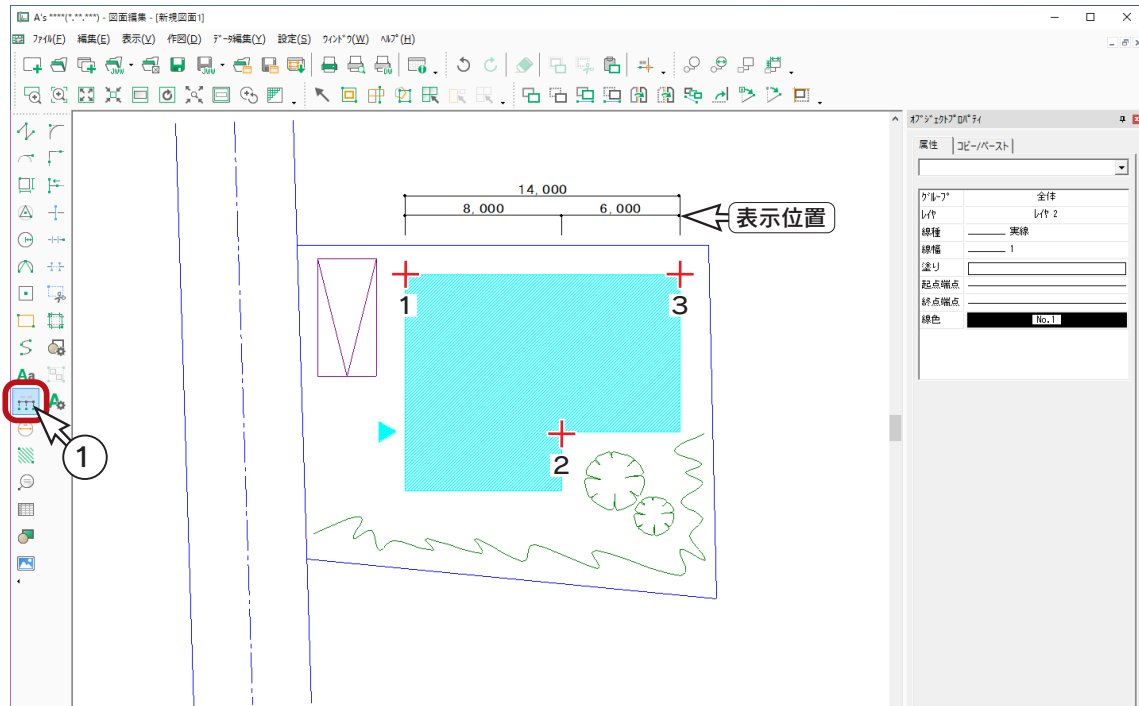


### 標準に設定

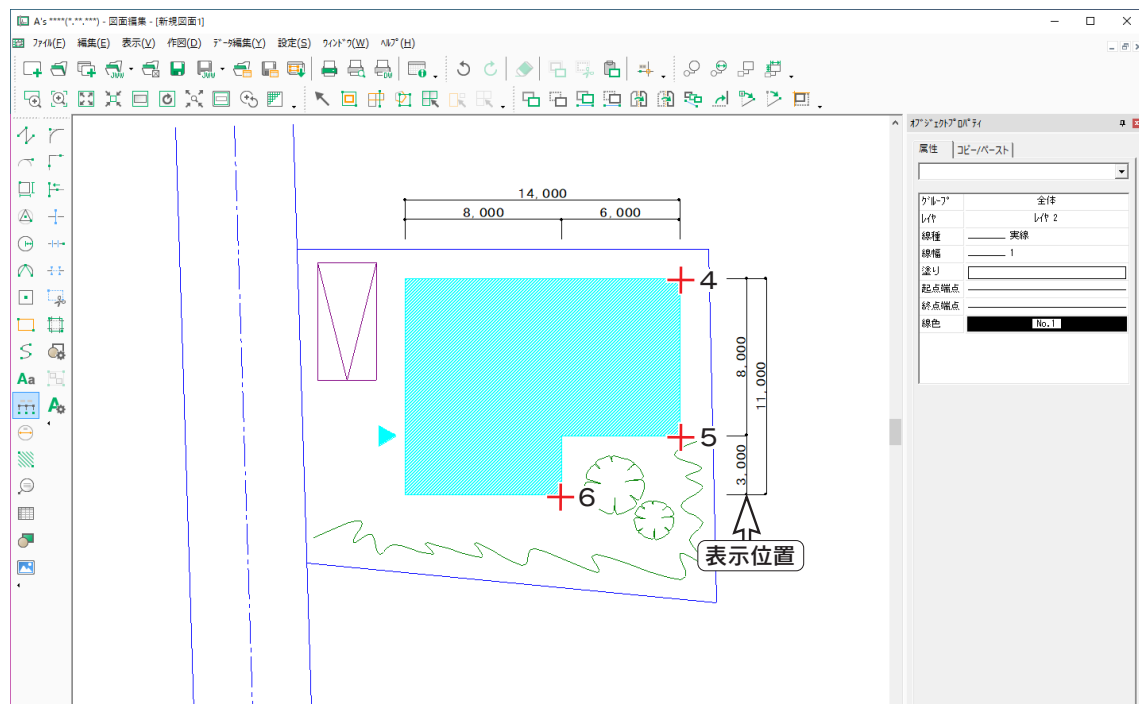
「標準に設定」 をクリックしておく、次回起動時この設定が有効になります。

## 連続寸法線—その1

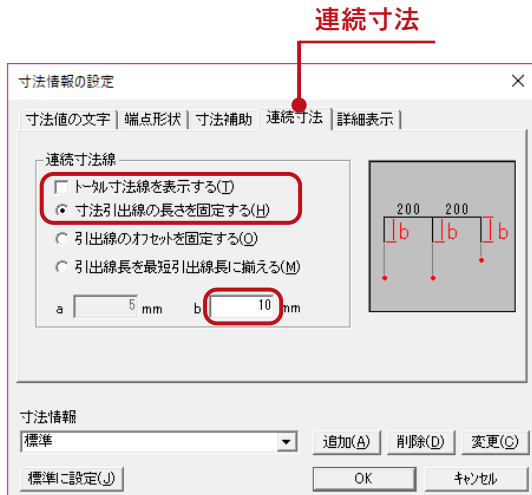
- ①寸法線アイコンの (連続寸法線) を選択
- ②図のように、1～3の順に、[Ctrl] キーを押しながら合わせてクリック
- ③ [スペース] キーを押す、もしくはダブルクリック
- ④図のように、表示位置を指示



- ⑤図のように、4～6の順に、[Ctrl] キーを押しながら合わせてクリック
- ⑥ [スペース] キーを押す、もしくはダブルクリック
- ⑦図のように、表示位置を指示

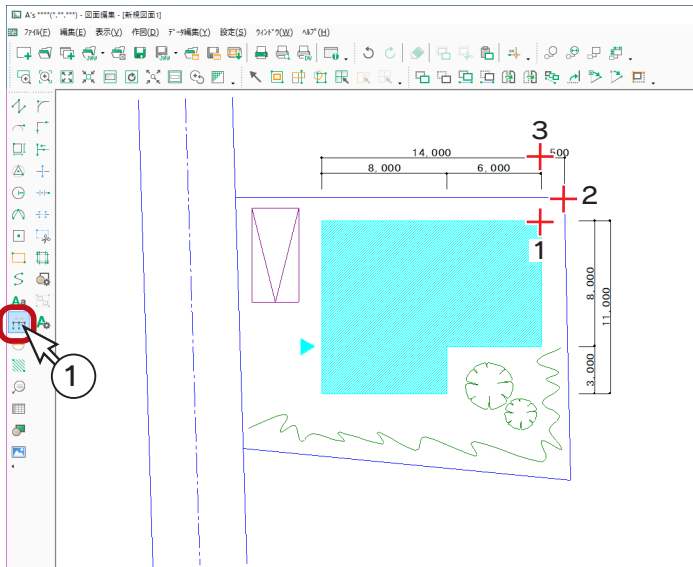



## 寸法設定の変更

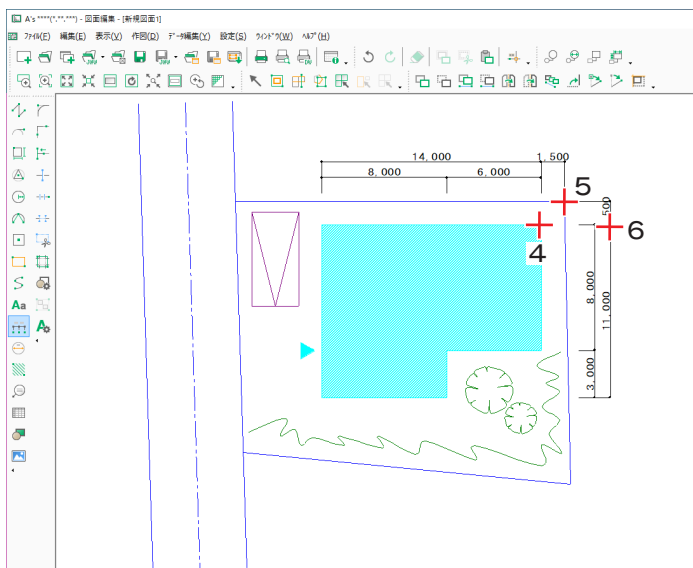


- ① 「設定 (S)」 の「寸法 (D)...」 を選択  
\*ダイアログが表示されます。
- ② 「連続寸法」 タブの設定を、以下のように変更  
トータル寸法を表示する：OFF  
寸法線の長さを固定する：ON  
b : 10mm
- ③ 「OK」 をクリック

## 連続寸法線—その2




- ① 寸法線アイコンの  (連続寸法線) を選択  
\* 選択状態の場合は、再度クリックする必要はありません。
- ② 図のように、1・2の順に、[Ctrl] キーを押しながら合わせてクリック
- ③ [スペース] キーを押す、もしくはダブルクリック
- ④ 水平方向のトータル寸法線の端 (3) に、[Ctrl] キーを押しながら合わせてクリック

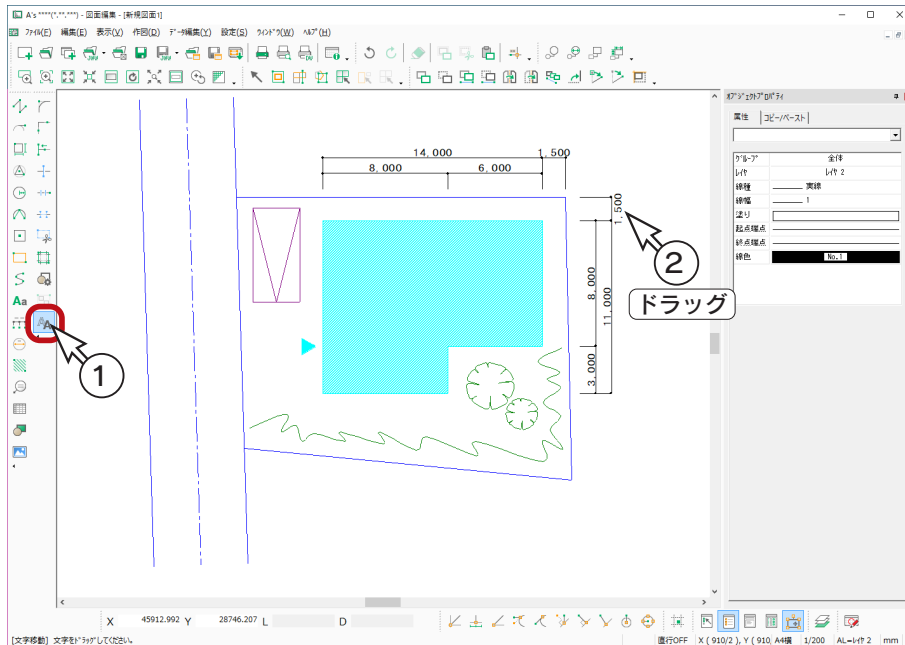


- ⑤ 再度、図のように、4・5の順に、[Ctrl] キーを押しながら合わせてクリック
- ⑥ [スペース] キーを押す、もしくはダブルクリック
- ⑦ 垂直方向のトータル寸法線の端 (6) に、[Ctrl] キーを押しながら合わせてクリック

## 文字移動


最後に入力した「1,500」が、寸法線と重なって見にくいので、移動します。

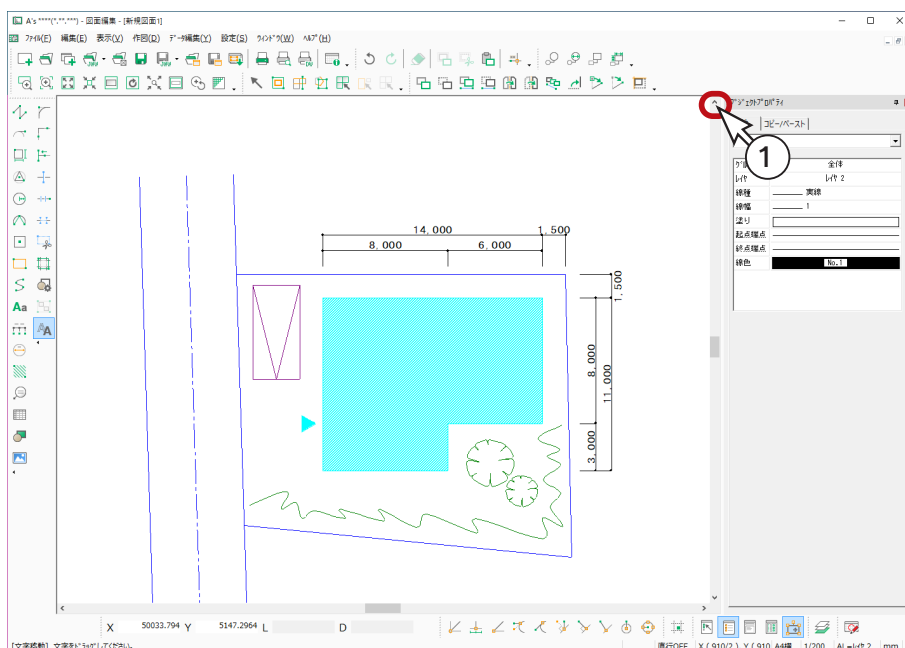
- ①文字編集アイコンの  (文字移動) を選択
- ②垂直方向の「1,500」を、図のようにドラッグして移動



## 画面表示調整

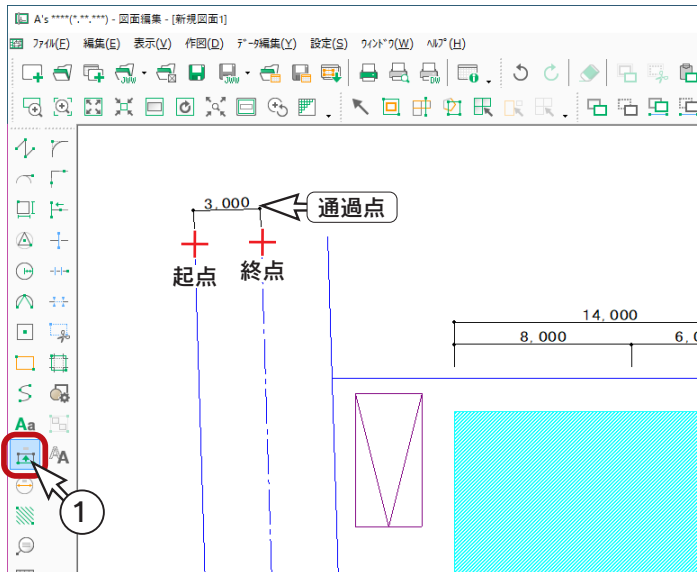
道路寸法の入力前に、画面表示を調整します。


- ①  (上にスクロール) をクリックして、図の上側を表示  
\* [↑] キーを押してもかまいません。以下のような表示になるように、調整してください。



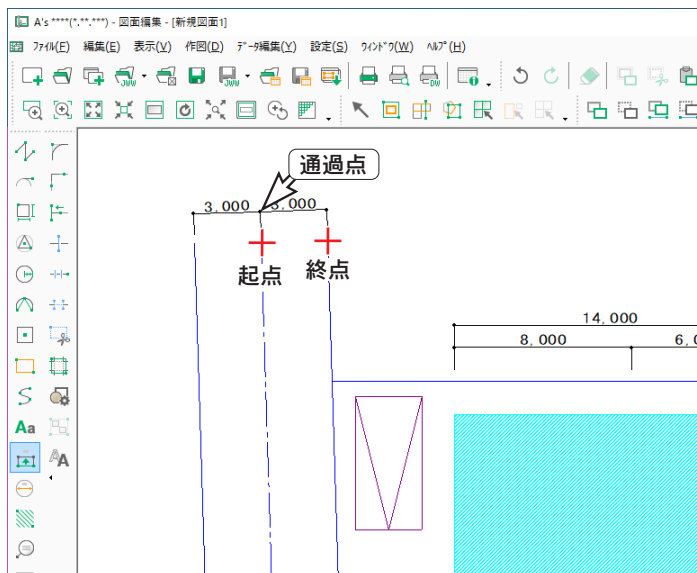
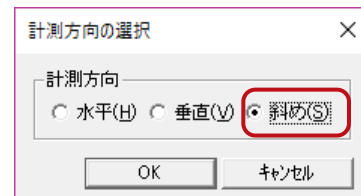
## 引出線有

道路は画面に対して少し斜めになっていますので、引出線有の寸法線で入力します。

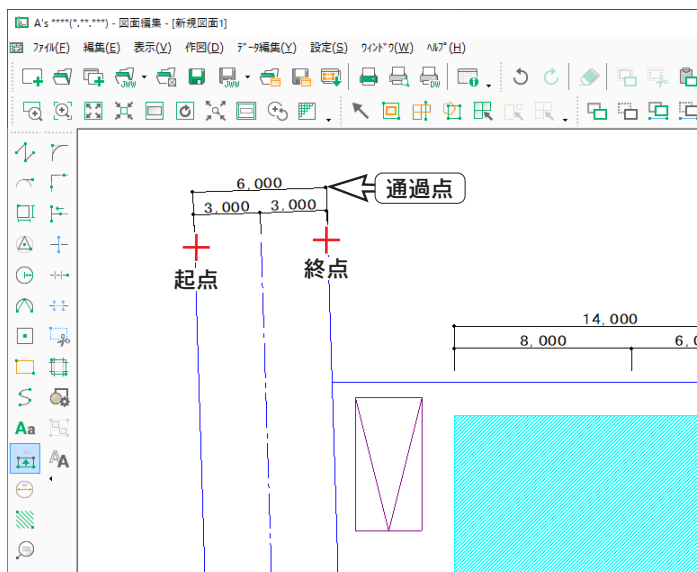


- ①寸法線アイコンの  (引出線有) を選択
- ②図のように、起点-終点を、[Ctrl] キーを押しながら指示  
\*計測方向の選択が表示されます。
- ③「斜め」を選択し、「OK」をクリック
- ④図のように、通過点を指示

## 計測方向の選択



- ⑤図のように、起点-終点を、[Ctrl] キーを押しながら指示  
\*計測方向の選択が表示されます。
- ⑥「斜め」を確認し、「OK」をクリック
- ⑦通過点は、直前に入力した寸法線の端点を [Ctrl] キーを押しながら指示

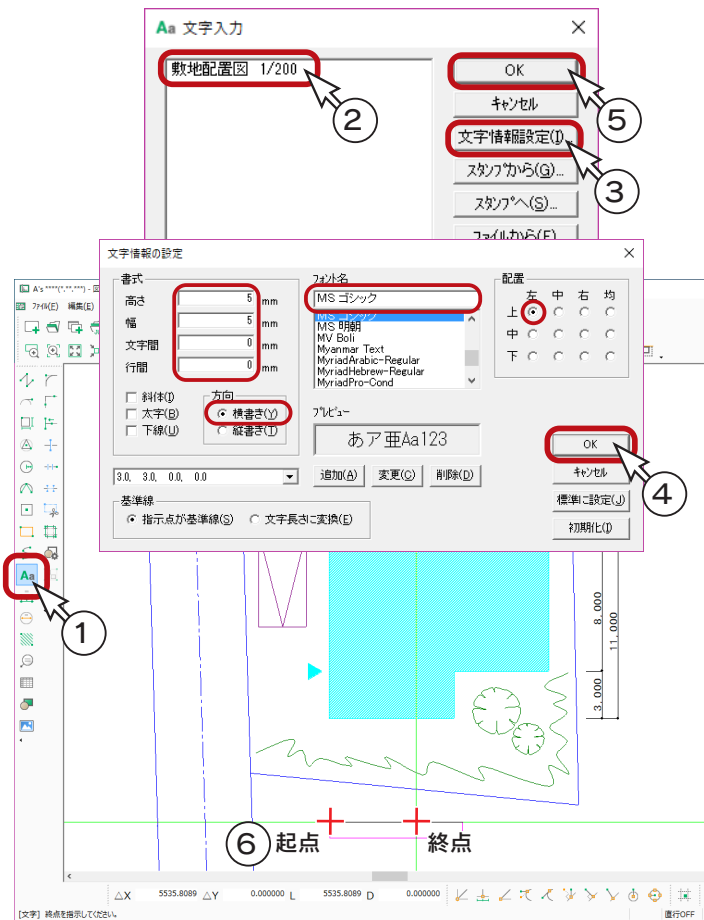


- ⑧図のように、起点-終点を、[Ctrl] キーを押しながら指示  
\*計測方向の選択が表示されます。
- ⑨「斜め」を確認し、「OK」をクリック
- ⑩図のように、通過点を指示



# 文字

## 図面のタイトル



① **Aa** (文字入力) をクリック

\* ダイアログが表示されます。

② 「敷地配置図 1/200」と入力

③ 「文字情報設定 (I)...」 をクリック

\* ダイアログが表示されます。

④ 以下のように設定し、「OK」 をクリック

高さ・幅 …………… 5mm

文字間・行間 …… 0mm

フォント名 …… MS ゴシック

配置 …………… 左寄せ、上寄せ

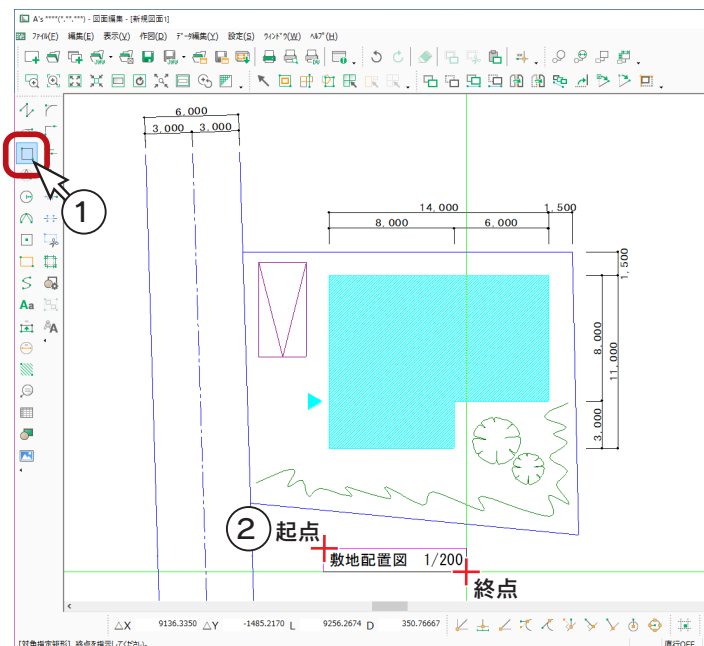
方向 …………… 横書き


⑤ 文字入力に戻るので、「OK」 をクリック

⑥ 図のように、起点-終点を指示

\* 終点は、[Shift] キーを押しながら、右にまっすぐ伸ばしてから指示します。

## 対角指定矩形

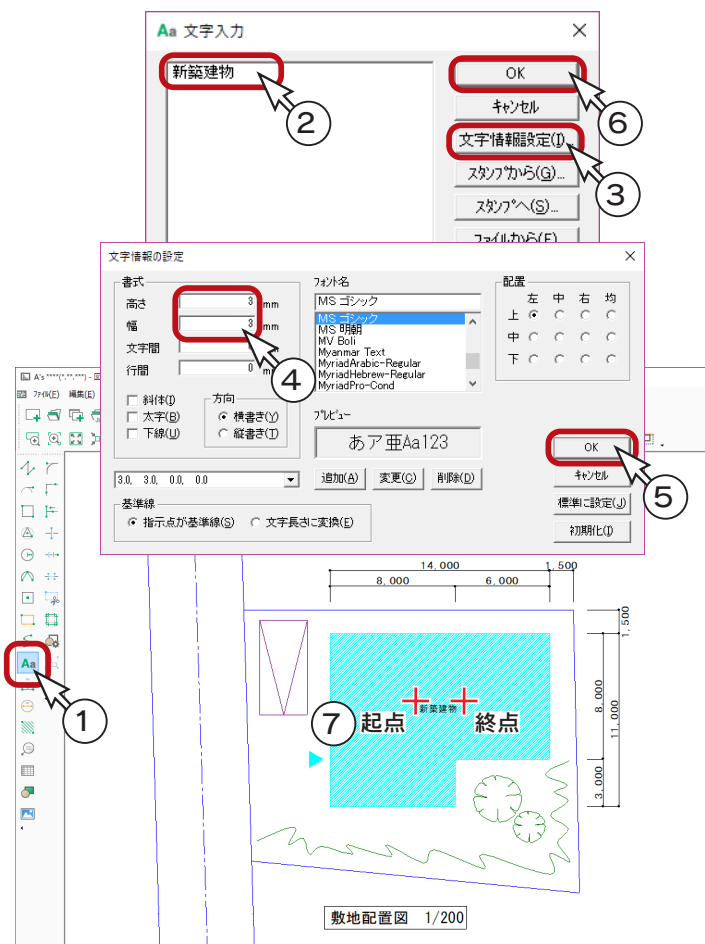


① 矩形アイコンの  (対角指定矩形) を選択

② 図のように、起点-終点を指示

\* 文字を囲むように指示します。

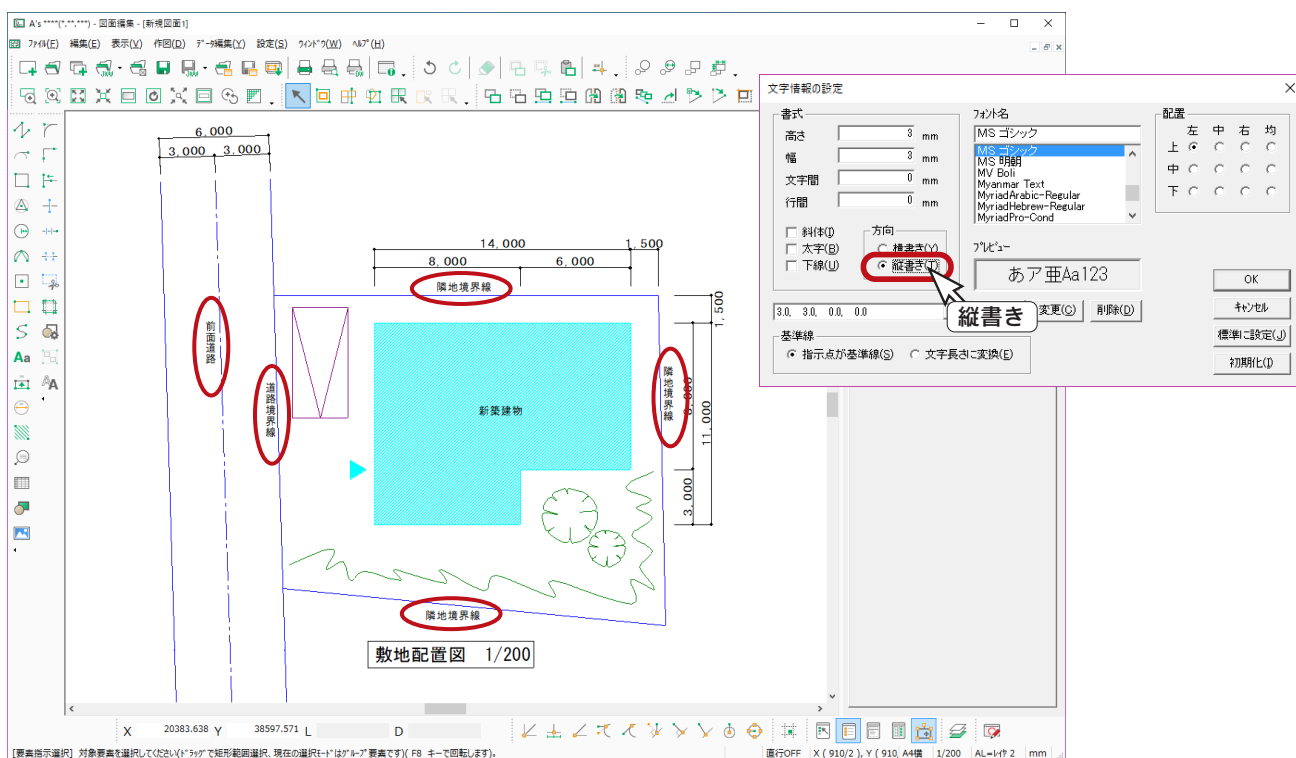
## その他の文字



- ① **Aa** (文字入力) をクリック  
\*ダイアログが表示されます。
- ② 「新築建物」と入力
- ③ 「文字情報設定 (I)...」 をクリック  
\*ダイアログが表示されます。
- ④ 高さ・幅ともに、3mm に変更
- ⑤ 「OK」 をクリック  
\*文字入力ダイアログに戻ります。
- ⑥ 「OK」 をクリック
- ⑦ 図のように、起点—終点を指示


⑧同じ要領で、図の 縦書き で示した文字も配置

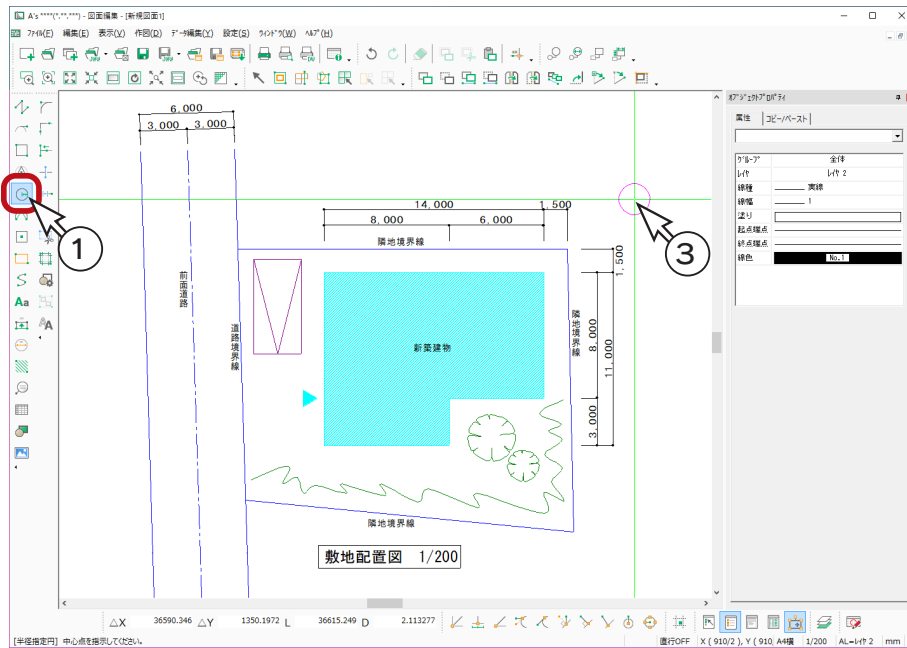
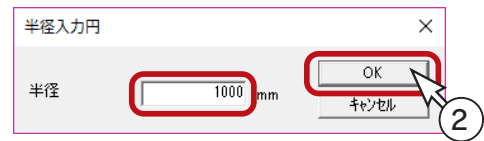
\*縦書きの文字は、「文字情報設定 (I)...」で、方向を縦書きに変更してから配置します。




# 真北マーク

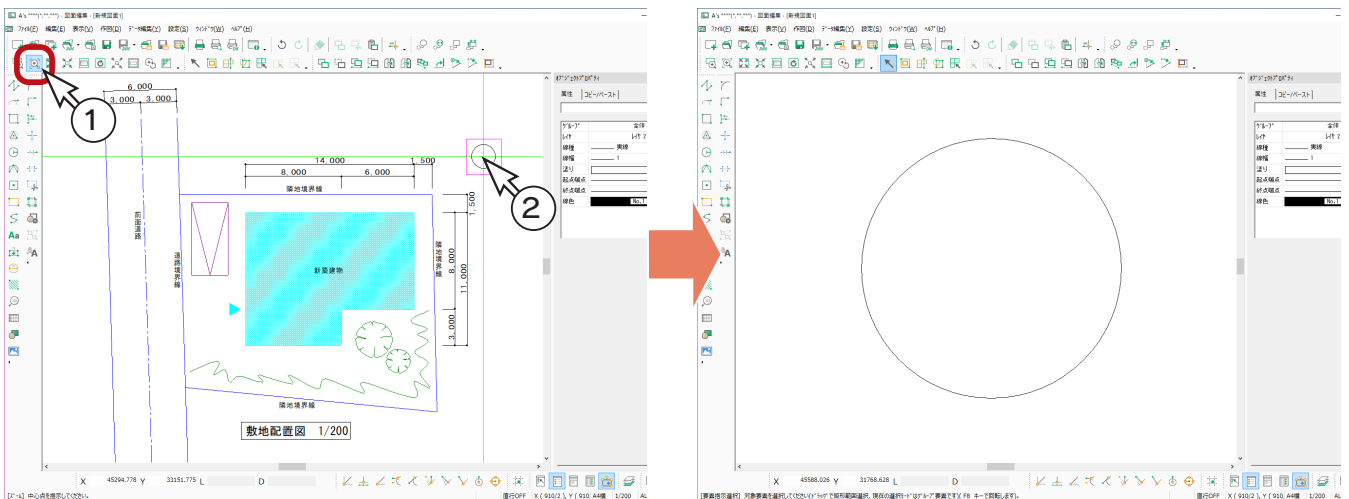
## 半径入力円

- ①円アイコンの  (半径入力円) を選択  
\*ダイアログが表示されます。
- ②半径を 1000mm に設定し、「OK」をクリック
- ③図のように、円を配置

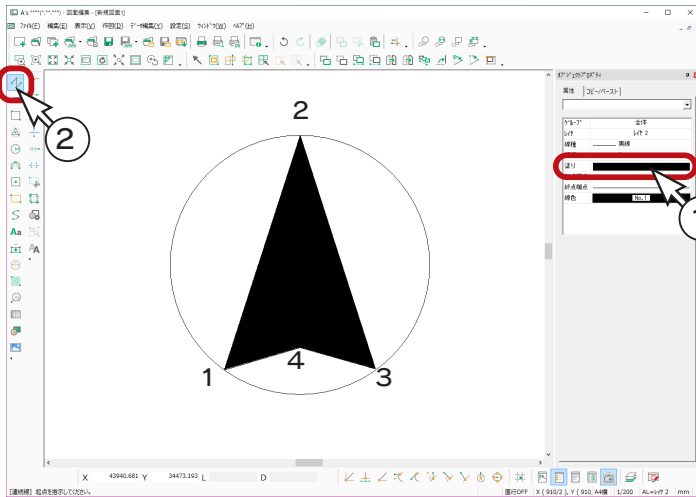



## ズーム

- ①  (ズーム) をクリック
- ②円の部分を囲むように指示  
\*拡大表示します。

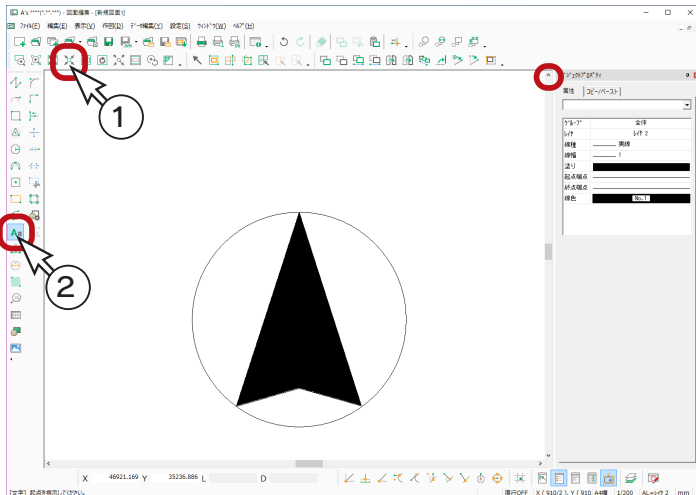





## 連続線 (塗り有り)

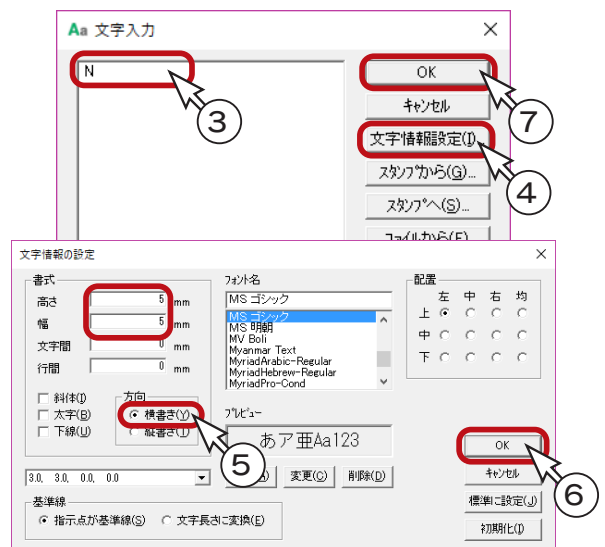
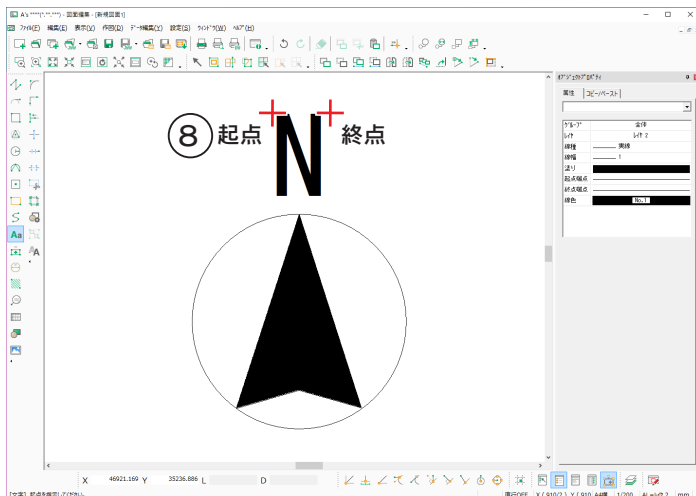


- ① 塗りを **塗り有り** に設定
- ② 線アイコンの  (連続線) を選択
- ③ 図のように、1～4の順に指示
- ④ [Ctrl] キーを押しながら 1 を指示
- ⑤ [スペース] キーを押す、またはダブルクリック

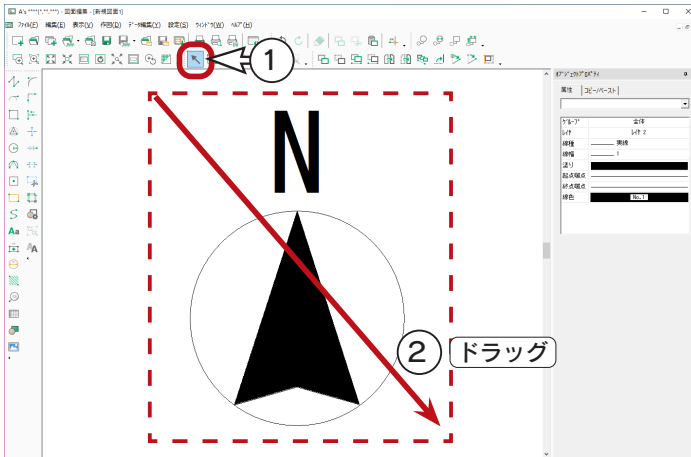
## 文字入力



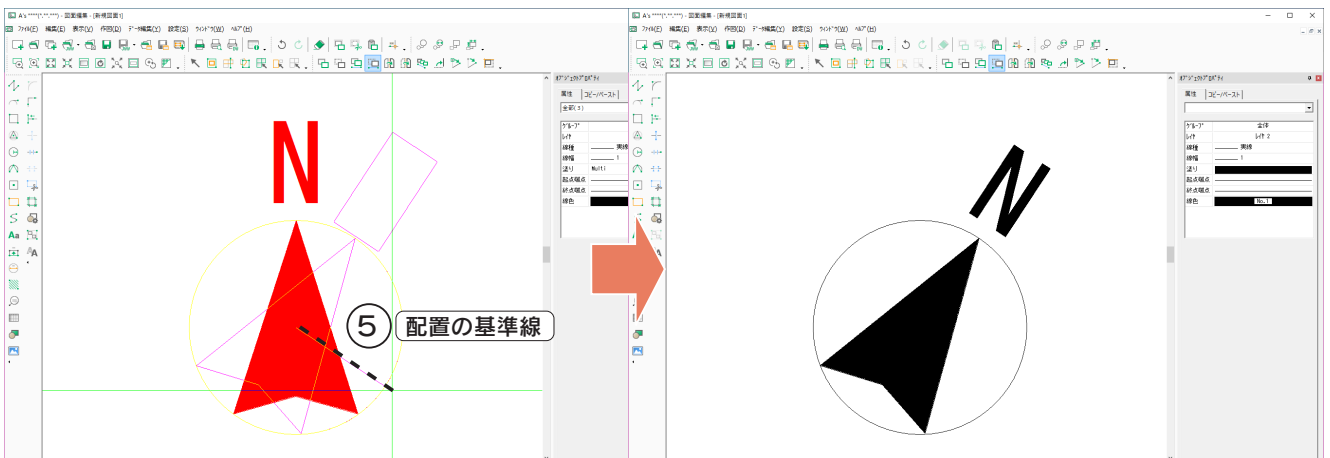
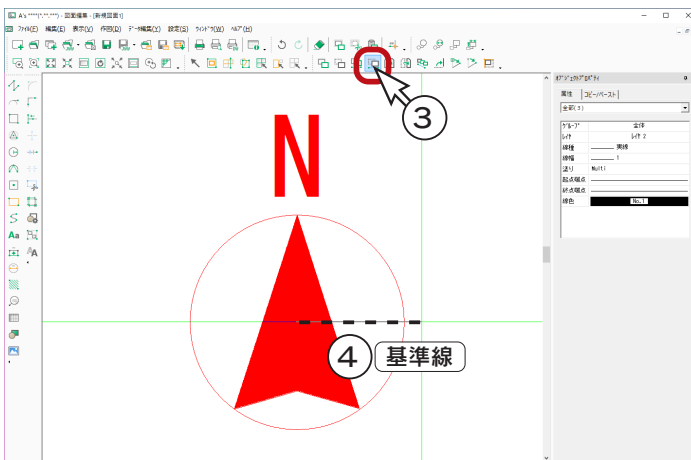
- ①  (表示縮小)、 (上にスクロール) をクリックして、図のように表示調整
- ②  (文字入力) をクリック  
\* ダイアログが表示されます。
- ③ 「N」と入力
- ④ 「文字情報設定 (I)...」をクリック  
\* ダイアログが表示されます。
- ⑤ 高さ、幅を 5mm に、方向を横書きに設定
- ⑥ 「OK」をクリック  
\* 文字入力ダイアログに戻ります。
- ⑦ 「OK」をクリック
- ⑧ 図のように、円の上に配置



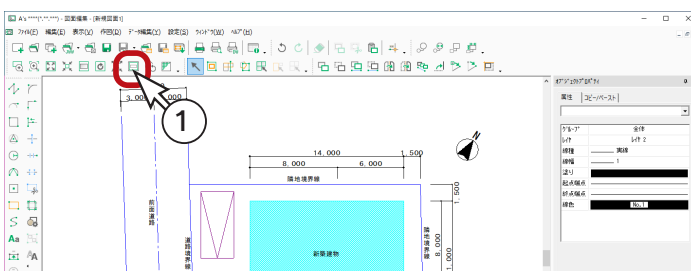
## 任意移動



- ① (要素指示) をクリック
- ② 真北マークをドラッグで囲む
- ③ (任意移動) をクリック
- ④ 基準線を、円の中央から右横に指定
- ⑤ 配置の基準線を、図のように少し傾けて指定
- ⑥ 右クリックで処理を解除  
\* 真北マークの色が黒色に戻るまで右クリックしてください。




## 最適表示



ズームの状態から最適表示にします。

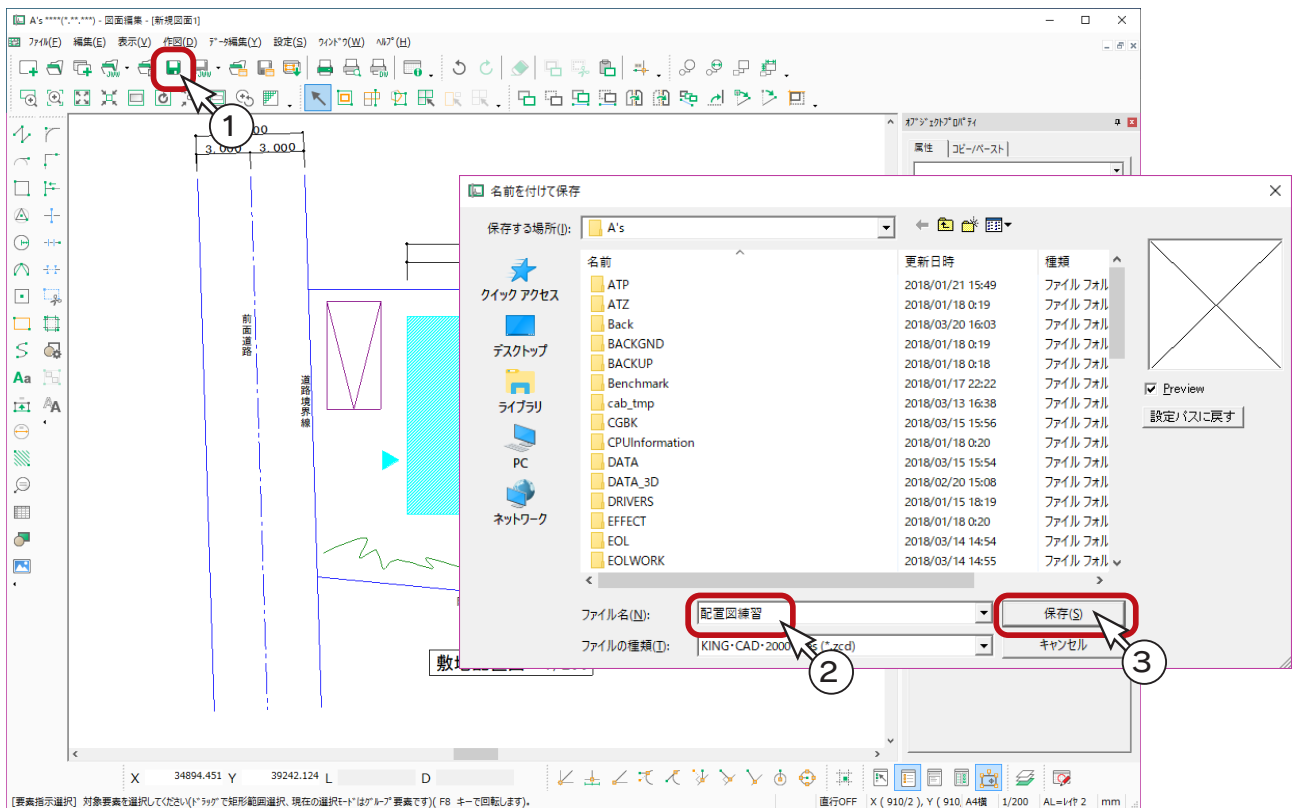
- ① (最適表示) をクリック

## 図面登録

- ①  (上書き保存) をクリック

\* 新規図面で一度も保存していない場合は、名前を付けて保存の処理になります。  
\* ダイアログが表示されます。

- ② ファイル名を入力  
\* 例えば、「配置図練習」と入力します。
- ③ 「保存(S)」をクリック



以上で、敷地配置図の作成は終了です。

- 1) 本書の内容の一部、または全部を株式会社シーピーユーの書面による許可なく複製、送信すること、及び他の言語に翻訳することを禁じます。
- 2) 本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 3) 本書は予告なく変更することがあります。
- 4) 本書とプログラムの動作が異なる場合は、プログラムが優先します。尚、README に最新情報が記載されていますのでご利用ください。
- 5) 表記上の固有商品は各社の商標または登録商標です。

## A's 2024 トレーニングマニュアル 図面編集編

---

2023年10月17日 第1版発行

発行所 株式会社シーピーユー  
〒921-8043 金沢市西泉 4-60  
[大代表] TEL (076) 241-0001  
FAX (076) 241-0002

---